

和歌山県立近代美術館年報

二〇〇八（平成20）年度



## 年報の刊行にあたって

2008(平成20)年度の年報を刊行いたします。

和歌山県立近代美術館は、1963(昭和38)年に旧和歌山城二の丸跡に開館した和歌山県立美術館を前身として、1970(昭和45)年、和歌山県民文化会館1階に開館しました。23年間の活動を続けたあと、1994(平成6)年7月、現在の場所に新築移転しました。

開館以来、当館は和歌山県にゆかりのある作家について調査と紹介を続ける一方、「和歌山版画ビエンナーレ」展や「関西の美術家シリーズ」など独自の展覧会を通じて、県民の皆さまに親しまれ、また日本国内外はもとより海外に向けても、個性的な文化の発信地としての役割を果たしてまいりました。

このような従来からの実績の上に立ち、近代美術の展示と収集の活動にとどまらず、今日の多様化する表現に対応し、幅広い美術の紹介に積極的に取り組んでいます。また、展覧会活動と収集活動に並行して教育普及活動も活発に展開しています。

当館の活動は、ご来館くださった方々をはじめ、多くの皆様のご支援とご協力によって成り立ってきたものです。ここに心から感謝申し上げるとともに、その成果をご報告し、さらに充実した美術館活動を進める基礎とするため本年報を刊行いたします。

2010(平成22)年3月

和歌山県立近代美術館  
館長 雪山 行二

## 目次

年報の刊行にあたって	1
沿革	2
展覧会事業	5
普及事業	44
協力事業	47
作品貸付	48
調査・研究・発表活動および対外協力活動	53
収集事業	54
保存事業	74
管理運営	75
関連法規	78
建築概要	83
案内	85

# 沿革

## ■和歌山県立美術館

1963(昭和38)年  
3月17日 旧和歌山城二の丸跡に開館  
7月 川口軌外展  
10月 第1回明治・大正・昭和名作美術展  
11月 第17回和歌山県美術展(1969年第23回展まで開催)  
1964(昭和39)年  
4月 紀州陶磁器展  
10月 第2回明治・大正・昭和名作美術展  
1965(昭和40)年  
3月 祇園南海展  
5月 長沢蘆雪名作展  
7月 日高昌克展  
10月 近代洋画名作展 特設・原勝四郎遺作展  
1966(昭和41)年  
3月 グリ・シャガール・ビュッフェ版画展  
6月 石垣栄太郎遺作展  
6月 日本伝統工芸秀作展  
7月 川端龍子展  
10月 松方コレクション展  
1967(昭和42)年  
10月 富岡鉄斎展  
1968(昭和43)年  
3月 桑山玉洲展  
9月 扇絵展  
10月 明治100年記念郷土作家回顧展  
1969(昭和44)年  
4月 保田龍門展  
1970(昭和45)年  
11月2日 廃館

## ■和歌山県立近代美術館

1970(昭和45)年  
11月2日 和歌山県民文化会館内に開館  
第24回和歌山県美術展(1993年第47回展まで開催)  
1971(昭和46)年  
3月 大夢・晩花展  
8月 紀州の風景画展  
1972(昭和47)年  
3月 原勝四郎展  
10月 アメリカにおける日本人作家回顧展  
—石垣栄太郎・国吉康雄・ヘンリー杉本  
1973(昭和48)年  
10月 川口軌外展  
1974(昭和49)年  
4月 吉田政次遺作展  
10月 稲伊之助展

1975(昭和50)年  
10月 木下孝則回顧展  
1976(昭和51)年  
2月 1910年代における京都日本画の新動向展  
10月 木下義謙作品展  
1977(昭和52)年  
2月 田中恭吉展  
10月 川端龍子展  
1978(昭和53)年  
10月 日高昌克展  
1979(昭和54)年  
2月 神中糸子と工部美術学校展  
5月 村井正誠展  
10月 高井貞二展  
1980(昭和55)年  
3月 川口軌外とその周辺  
—和歌山の初期独立展系作家たち展  
10月 開館10周年記念 1930年協会の作家たち展  
1981(昭和56)年  
3月 恩地孝四郎・田中恭吉・逸見享版画展  
10月 下村觀山—その人と芸術—  
1982(昭和57)年  
2月 建畠覚造展  
7月 イタリア美術の一世纪《1880-1990》展  
10月 椎田一穂展  
1983(昭和58)年  
7月 関西の美術家シリーズ1  
—津高和一・泉茂・吉原英雄展  
1984(昭和59)年  
2月 和歌山の作家と県内洋画壇展  
7月 関西の美術家シリーズ2—元永定正・白髮一雄展  
10月 紀州の風景を描いた作家たち展  
1985(昭和60)年  
3月 第1回和歌山版画ビエンナーレ展  
7月 関西の美術家シリーズ3 影刻の4人  
—清水九兵衛・山口牧生・森口宏一・福岡道雄展  
10月 開館15周年記念 近代洋画の展開  
—初期独立美術協会の作家たち展  
1986(昭和61)年  
7月 朝井闇右衛門の世界  
10月 琥珀とその周辺展  
1987(昭和62)年  
3月 第2回和歌山版画ビエンナーレ展  
7月 関西の美術家シリーズ4 日本画の4人  
—大野敏嵩・下村良之介・星野真吾・三上誠展  
9月 太平洋を越えた日本の画家たち展  
1988(昭和63)年  
3月 描かれた動物たち展  
7月 関西の美術家シリーズ5 版画の4人

—井田照一・木村光佑・黒崎彰・船井裕展  
10月 竹久夢二とその周辺展  
1989(昭和64・平成元)年  
3月 第3回和歌山版画ビエンナーレ展  
7月 関西の美術家シリーズ6 現代の造形  
—土と布と糸。荒木高子・前川強・濱谷明夫展  
10月 親と子で見る世界の名画展  
1990(平成2)年  
7月 関西の美術家シリーズ7 美術の現在  
—4つの試み 宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展  
10月 現代の陶芸1980-1990 関西の作家を中心として  
1991(平成3)年  
3月 第4回和歌山版画ビエンナーレ展  
7月 関西の美術家シリーズ8 美術の現在  
—彫刻の変容 小清水漸・北辻良央・川島慶樹展  
9月 ポスター芸術100年  
1992(平成3)年  
10月 版画芸術の饗宴  
—ケネス・タイラーと巨匠たち：1963-1992  
1993(平成4)年  
3月 第5回和歌山版画ビエンナーレ展

## ■新館計画

1988(昭和63)年  
2月 政策調整会議において、美術館及び博物館2館の建設を決定  
3月 新美術館の建設計画に係る基本的事項についての指導、助言を得るため「新美術館建設懇談会」を設置  
9月 新美術館に係る基本構想策定のため、「新美術館建設検討委員会」を設置  
1989(昭和64・平成元)年  
4月 「和歌山県美術品取得基金条例」を設置  
新美術館建設検討委員会より「和歌山県立新美術館の建設基本構想について」答申  
8月 美術館の美術作品収集基本方針及び開館展等の開催に関する事項を検討、協議するため、「新美術館専門会議」を設置  
美術館において収集する美術作品の選定に関し、審議するため「和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会」を設置  
9月 新美術館専門会議において「新美術館の美術作品収集方針について」承認  
1990(平成2)年  
3月 新美術館の設計を「黒川紀章建築都市設計事務所」に委託  
1991(平成3)年  
7月 和歌山県美術品取得基金によりジョージ・シーガル

《煉瓦の壁ぞいに歩く男》(1988)を購入  
10月 施設着工式を挙行  
11月 和歌山県美術品取得基金によりマーク・ロスコ  
《赤の上の黄褐色と黒》(1957)を購入  
1992(平成4)年  
8月 和歌山県美術品取得基金によりフランク・ステラ  
《ラッカIII》(1968)を購入  
1993(平成5)年  
9月 和歌山県美術品取得基金によりパプロ・ピカソ  
《ミノトーロマシー》(1935)、《泣く女》(1937)を購入  
1994(平成6)年  
2月 定礎式を挙行  
3月 工事完了  
4月 新美術館へ移転  
  

## ■和歌山県立近代美術館 新館

  
7月8日 新近代美術館開館  
開館記念展1 美術館へ行こう  
10月 開館記念展2 大正のまなざし  
—若き保田龍門とその時代—  
11月 ルオーの「ミゼレーレ」  
1995(平成7)年  
1月 恩地孝四郎—色と形の詩人—  
2月 和歌山ゆかりの作家たち  
4月 1994年度新収蔵作品展  
4月 ヴィクトリア&アルバート美術館展  
—イギリス絵画の350年  
7月 村井正誠展 色とかたちと心—人間の詩—  
8月 美術館を行ったよ！—風景ってなあに—  
9月 保田春彦展  
10月 野田裕示近作展  
1996(平成8)年  
1月 線画の世界—かたりの表現—  
2月 ひかる・うごく・おとがする  
4月 「絵画」というしきみ  
6月 紀伊半島を歩いて  
—ロジャー・アックリング&ハミッシュ・フルトン  
8月 モスクワ、プーシキン美術館名作展—室内への視線—  
9月 ホックニーのグリム童話  
11月 日本のグラフィックデザイン  
1997(平成9)年  
1月 和歌山の版画家10人  
3月 新しい関西の美術家たち ものとあらわれ  
4月 美術館へ行ったよ！ コレクションに見る東京  
5月 美術館へ行ったよ！ コレクションに見るパリ  
7月 アルザスとフランス近代美術の歩み  
—ストラスブール近代美術館展  
8月 版画の技法・表現の手法

## 展覧会事業

10月	マリノ・マリーニ展
11月	アメリカの中の日本—石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち
1998(平成10)年	
1月	心のかたち
2月	泉茂 初期版画作品を中心に
4月	世紀末の華 オーブリー・ビアズリー展
5月	日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト1
6月	日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト2
8月	静けさの中から 星の贈りもの
9月	和歌山の日本画 コレクション・ダイジェスト3
10月	意味とイメージ
12月	フランス現代美術展 眼と精神
1999(平成11)年	
2月	関西の戦後美術 1950's~1990's
4月	めいさく根据葉掘 アートと知り合い!
6月	デモクラート1951-1957
7月	日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト4
8月	熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展
9月	サンフランシスコ近代美術館展
11月	川口軌外展 ある洋画家の軌跡
12月	越境する想像力 素材との出会い
2000(平成12)年	
2月	芸術と社会
4月	田中恭吉展
5月	定規とコンパス?幾何学图形と美術の表現
7月	印象派の巨匠 シスレー展 —イル・ド・フランスの光を愛して
9月	東欧絵本の世界展—国境を越える子どものためのアート
11月	現代版画の軌跡 ゆめとめざめ
12月	日本の近代版画4 コレクション・ダイジェスト
2001(平成13)年	
2月	版画今昔
4月	夢の世界のおくりもの—アンデルセン童話・絵本原画展
5月	うごけば、かわる。
8月	宇佐美圭司・絵画宇宙
9月	浜口陽三へのオマージュ
10月	マックス・エルンスト展
12月	一期一会 であう めでる つたえる —コレクションによる全館展示
2002(平成14)年	
4月	あたらしい画面をもとめて 関西の半世紀 「生活」を「芸術」として 西村伊作の世界
7月	アンジェ美術館展
9月	山本容子の美術遊園地
11月	美術百科 「この人のこの一点」の巻 —コレクションによる全館展示
2003(平成15)年	
4月	はじめての美術・絵本原画の世界展
6月	チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド展

## 2008(平成20)年度 展覧会一覧

### 1. 特別企画展

- 1. ルオーの〈ミセレーレ〉 人間へのまなざし ..... 6  
7月20日(日)~8月31日(日)
- 2. 点と面の詩情—上前智祐・山中嘉一・坪田政彦 ..... 10  
9月13日(土)~10月26日(日)

### 2. 企画展

- 1. 叙情の様式 ..... 13  
4月19日(土)~5月25日(日)
- 2. 共作×共鳴×共感 ともにつくられた作品たち ..... 18  
6月3日(火)~7月13日(日)
- 3. 彼岸の美術 ..... 22  
11月2日(日)~12月14日(日)
- 4. 美術百科「この人はだれ」の巻 コレクションによる全館展示 ..... 26  
12月23日(火・祝)~2009(平成21)年4月12日(日)  
前期: 12月23日(火・祝)~2009(平成21)年2月5日(日)  
後期: 2009(平成21)年2月24日(火)~4月12日(日)

### 3. 常設展

- 1. コレクション展 2008-春 ..... 35  
4月15日(火)~6月29日(日)
- 2. コレクション展 2008-夏 ..... 38  
7月8日(火)~9月23日(火・祝)
- 3. コレクション展 2008-秋 ..... 41  
10月4日(月・祝)~12月7日(日)

## 1-1. ルオーの「ミセレーレ」人間へのまなざし

会期：2008(平成19)年7月20日(日)～8月31日(日)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

主催：和歌山県立近代美術館

会場：展示室C(2階)

入場料金：一般500円(400円)、大学生300円(250円) ( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料

内容：20世紀を代表する画家、ジョルジュ・ルオー(1871-1958)。フランス・パリで生まれ、育ち、亡くなったこの画家は、宗教画家とも呼ばれ、人間的かつ宗教的な主題を油彩画や版画で表現した。なかでも58点の大型の銅版画を組にした版画集「ミセレーレ」(ラテン語の「憐れみたまえ」)はルオーが生涯をかけて制作・刊行した代表作のひとつである。この展覧会では、当館所蔵の「ミセレーレ」58点すべてを一堂に展示し、その内容を丹念に追うとともに、ルオーの魅力的な油彩画やその他の版画、「ミセレーレ」の刊行を手がけたアンプロワーズ・ヴォラールが携わったオディロン・ルドンやモーリス・ドニ、パブロ・ピカソらのフランス近代版画の名作を展示し、「ミセレーレ」成立の背景を紹介した。

成果と課題：修復家の指導監修のもと、版画集「ミセレーレ」全作品の額装作業を進め、作品の保存と展示効果の両面において、改善を図ることができた。所蔵品以外の、ルオーの油彩画・版画、ピカソなどの版画もあわせて展示し、ワークショップや講演会を通じて、ルオーの試みた表現や同時代の版画について、観衆のより一層の興味を喚起することができた。展覧会を見に来た学校関係者から、もっと広報してほしいという声が聞かれた。

担当学芸員：井上芳子、寺口淳治

関連事業：・講演会「ルオーとフランス近代の創作版画」8月3日(日)

講師：杉野秀樹氏(富山県立近代美術館)

・ミュージアムトーク(展覧会解説) 7月21日(月・祝)、8月10日(日) 井上芳子

・ワークショップ「ルオーに挑戦!」7月26日(土)、27日(日)

講師：北野裕之氏(京都精華大学版画コース講師)ほか

協力：京都精華大学メディア造形学科版画コース

内容：小学5年生から中学3年生を対象に、樹脂板を用いた写真製版法によって凹版画を作り、ルオーの表現に挑戦した。

印刷物：・ポスター(B2判)

・案内はがき

・出品目録(A4判8頁)

関連記事：・『イベントカレンダー』ルオーの「ミセレーレ」人間へのまなざし(和歌山県立近代美術館)

『ニュース和歌山増刊』2008年7月11日、4面

・「本格的凹版画作製 26、27日 近代美術館で」『わかやま新報』2008年7月20日、9面

・「愛と平和描いたルオー展 県立近代美術館」『朝日新聞』2008年7月23日、29面

・「『会と催し』ルオーの「ミセレーレ」人間へのまなざし」『中外日報』2008年7月29日、2面

・「ルオーの銅版画展 8月31日まで近代美術館」ボリマー版画に挑戦 子どものワークショップも

『わかやま新報』2008年7月30日、6面

・「紙上ミュージアム」108 ジョルジュ・ルオー《ミセレーレより 自分の顔をつくらぬ者があろうか?》

『わかやま新報』2008年7月30日、1面

・「ルオーの「ミセレーレ」展 31日まで 県立近代美術館で」『白浜新聞』2008年8月2日、2面

・「フランス絵画の巨匠に挑戦 近代美術館 ルオーの版画学ぶワークショップ」『ニュース和歌山』2008年8月6日、4面

・「WAKAYAMA "Rouault's "Miserere"」『THE JAPAN TIMES』2008年8月7日、18面

・「紙上ミュージアム」109 ジョルジュ・ルオー《サーカスの娘》『わかやま新報』2008年8月13日、1面

・「ルオーの大作一堂に 銅版画と近代版画 県立近代美術館で展覧会」『毎日新聞』2008年8月19日、22面

・「紙上ミュージアム」ジョルジュ・ルオー《ミセレーレより 死に至るまで、そして十字架上の死に至るまで従順なる》



ルオーの「ミセレーレ」人間へのまなざし 2008.7.20(日)-8.31(日)  
和歌山県立近代美術館

ポスター

『わかやま新報』2008年8月27日、1面

・「ルオーの「ミセレーレ」人間へのまなざし」

『JR西日本 電車＆ウォーク』2008年7月号、17頁

・「カルチャーインフォメーション

「ルオーの「ミセレーレ」人間へのまなざし」

『WACA-P』7・8月号Vol.20、2008年7月発行、8頁



案内はがき

### 「ルオーの「ミセレーレ」人間へのまなざし」出品目録

(所蔵先表記のない作品は当館蔵です)

No.	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
I. ルオーの「ミセレーレ」					
	ジョルジュ・ルオー『ミセレーレ』エトワール・フィラント(流れる星)出版協会、1948(昭和23)刊行 資料「ミセレーレ」の外箱、扉、印刷証、たとう				
1	神よ、われを憐れみたまえ、あなたの大きいなる慈しみによりて	1922(大正11)	銅版、紙	57.5×42	
2	イエスは辱められ…	1922(大正11)	銅版、紙	54.7×39.8	
3	たえまなく答うたれ…	1922(大正11)	銅版、紙	48.2×36.5	
4	不幸な乞食よ、お前の心の中に身を避ける	1922(大正11)	銅版、紙	48.2×36.7	
5	闇と惡意のこの世で、ただひとり	1923(大正12)	銅版、紙	57.8×41.6	
6	われらは苦役囚ではないのか?	1926(昭和元)	銅版、紙	59×43.6	
7	われら自らを王と思い	1923(大正12)	銅版、紙	58.8×41.7	
8	自分の顔を作らぬ者があろうか?	1923(大正12)	銅版、紙	56.4×42.9	
9	道の美しい時もある…	1922(大正11)	銅版、紙	37.1×50.6	
10	悩みの果てぬ古き場末で	1923(大正12)	銅版、紙	56.3×41.7	
11	明日は晴れるだろう、難破した者はそう言った	1922(大正11)	銅版、紙	50.3×35.3	
12	生きるとはつらい業…	1922(大正11)	銅版、紙	47.9×36	
13	でも愛することができたなら、なんと楽しいことだろう!	1923(大正12)	銅版、紙	57.4×40.9	
14	歡樂の娘と呼ばれるが	1922(大正11)	銅版、紙	50.8×36.5	
15	清らかだった唇に、苦い味	1922(大正11)	銅版、紙	50.6×35.4	
16	上流社会のご婦人は、天国で予約席に着けると信じている	1922(大正11)	銅版、紙	57.1×40.8	
17	解放された女は、もったいぶった口調で歌う	1923(大正12)	銅版、紙	55.5×42.7	
18	罪を宣告されたものは立ち去った…	1922(大正11)	銅版、紙	50.4×34.4	
19	弁護士は空ぞらしい言葉で、彼に悪意なしと主張する…	1922(大正11)	銅版、紙	53.4×40.7	
20	忘れ去られた十字架のイエスの下で	1926(昭和元)	銅版、紙	58×41.3	
21	「虐げられ苦しめられたれど、彼は口を開かざりき」	1923(大正12)	銅版、紙	57.9×41.1	
22	世はさまざまあれど、荒地に種まくは美しき仕事	1926(昭和元)	銅版、紙	58.8×42.9	
23	孤独者通り	1922(大正11)	銅版、紙	36.2×50.4	
24	「冬、大地の恋えぬ病」	1922(大正11)	銅版、紙	51.4×36.6	
25	ジャンニ・フランソワは決してハレルヤを歌わない…	1923(大正12)	銅版、紙	58.6×42.3	
26	渴きと恐れの国では…	1923(大正12)	銅版、紙	41.1×58.2	
27	世のことがらは涙を誘うものがある…	1926(昭和元)	銅版、紙	57.8×42.1	
28	「われを信ずるものは、死すとも生きん」	1923(大正12)	銅版、紙	57.6×43.4	
29	朝の祈りを歌え、陽はまた昇る	1922(大正11)	銅版、紙	50.8×36.4	
30	「われら…彼の死において洗礼を受けたり」	1923(大正12)	銅版、紙	54.4×41.9	
31	「汝ら、互いに愛し合うべし」	1923(大正12)	銅版、紙	58.8×42.5	
32	主よ、あなたです、わたしはあなたを認めます!	1927(昭和2)	銅版、紙	57×44.6	
33	そして柔らかな麻布を持ったヴェロニカは、今なお道を行く…	1922(大正11)	銅版、紙	43.4×42.7	
34	「廃墟すら滅びたり」	1926(昭和元)	銅版、紙	57.8×44.7	
35	「イエスは、世の終わりに至るまで苦しめたまわん…」	1922(大正11)	銅版、紙	58.5×41.2	
36	これが最後だよ、おやじさん!	1927(昭和2)	銅版、紙	59.2×43	
37	人は人にとりて狼なり	1926(昭和元)	銅版、紙	58×41.5	
38	中国人が火薬を発明し、われらに贈ってくれたという	1926(昭和元)	銅版、紙	57.1×40.5	
39	われわれはみな愚かも…	1922(大正11)	銅版、紙	56.7×41.3	
40	向かい合い	1926(昭和元)	銅版、紙	57×43.3	
41	占者たち…	1923(大正12)	銅版、紙	50.7×43.6	
42	母たちに忌み嫌われる戦争	1927(昭和2)	銅版、紙	58.5×44.1	
43	「われら死すべきもの、われらもわれらの仲間のすべても」	1922(大正11)	銅版、紙	51.5×36.3	
44	わがうるわしの国、どこへ行ったのだ?	1927(昭和2)	銅版、紙	42.1×59.4	
45	刺草の床から出たとたん、死は彼を襲った	1922(大正11)	銅版、紙	53.8×33.3	
46	正しい人は、白檀の木のごとくおのれを打つ斧に香を移す	1926(昭和元)	銅版、紙	58.3×41.8	



No.	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
47	深き淵より…	1927(昭和2)	銅版、紙	43.1×59.9	
48	酒槽にて、葡萄は潰された	1922(大正11)	銅版、紙	39.5×48.4	
49	「心高貴なれば、首こわばらず」	1926(昭和元)	銅版、紙	58.4×42.2	
50	「爪と嘴で」	1926(昭和元)	銅版、紙	56.4×44.3	
51	ランスの微笑からはほど遠く	1922(大正11)	銅版、紙	51.1×38.4	
52	法は苛酷、されど法	1926(昭和元)	銅版、紙	57.2×43.4	
53	七つの剣の悲しみを負う聖母	1926(昭和元)	銅版、紙	58.2×41	
54	「死者よ起て！」	1927(昭和2)	銅版、紙	58.9×44.4	
55	時には、目の見えるものを見えないものが慰めた	1926(昭和元)	銅版、紙	58.2×43.3	
56	高慢と無信仰のこの暗き時代に、地の果てより聖母は見守る	1927(昭和2)	銅版、紙	58.8×43.2	
57	「死に至るまで、そして十字架上の死に至るまで従順なる」	1926(昭和元)	銅版、紙	58.2×42.4	
58	「われらが憲されたるは、彼の受けたる傷によりてなり」	1922(大正11)	銅版、紙	57.6×47	
[ルオーの油彩画・グワッシュ]					
59	秋	1906(明治39)頃	油彩、グワッシュ	59×80	個人蔵
60	行け、年老いた母よ I	1909(明治42)	グワッシュ	24.4×19	個人蔵
61	ジュリエッタ	1930(昭和5)	パステル、グワッシュ、紙	48.3×29.7	個人蔵
62	サーカスの娘	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	9.2×9.3	
63	ピエロ	1929-39(昭和4-14)	油彩、キャンバス	32×20.5	個人蔵
64	サタン	制作年不詳	油彩、板	38.9×26	
2. アンブロワーズ・ヴォラール出版					
ジョルジュ・ルオー					
65~84	アンブロワーズ・ヴォラール『ユビュおやじの再生』1932(昭和7)刊行 資料『ユビュおやじの再生』より 印刷証と扉、本文、製本のための付記、版画目録				
65	<1> 口絵	1928(昭和3)	銅版、紙	29.4×19.8	個人蔵
66	<2> 困り者植民者	1928(昭和3)	銅版、紙	29.9×19.2	個人蔵
67	<3> 候補者さんびドウバダーピー	1928(昭和3)	銅版、紙	29.4×18.9	個人蔵
68	<4> 政治屋	1928(昭和3)	銅版、紙	29.7×19.7	個人蔵
69	<5> 選挙人さん	1928(昭和3)	銅版、紙	26.6×17.5	個人蔵
70	<6> 聖歌隊員ユビュおやじ	1928(昭和3)	銅版、紙	30×19	個人蔵
71	<7> 横顔	1928(昭和3)	銅版、紙	29.4×19.4	個人蔵
72	<8> 解放された黒人	1928(昭和3)	銅版、紙	21.3×30	個人蔵
73	<9> 植民地行政官	1928(昭和3)	銅版、紙	26.5×16.7	個人蔵
74	<12> 裸婦	1928(昭和3)	銅版、紙	26.3×16.6	個人蔵
75	<13> 熱帯の風景	1928(昭和3)	銅版、紙	29.6×18.7	個人蔵
76	<14> 水晶	1928(昭和3)	銅版、紙	31.2×20	個人蔵
77	<15> イルマ嬢	1928(昭和3)	銅版、紙	29.6×17.8	個人蔵
78	<16> 飛ぶ魚	1928(昭和3)	銅版、紙	21.3×30.9	個人蔵
79	<17> 結婚	1928(昭和3)	銅版、紙	30.9×22.2	個人蔵
80	<18> ふたりの奥様	1928(昭和3)	銅版、紙	26.8×18.8	個人蔵
81	<19> サント・ニトゥーシュ	1928(昭和3)	銅版、紙	25×16.4	個人蔵
82	<20> 劇場支配人	1928(昭和3)	銅版、紙	29.4×19.5	個人蔵
83	<21> 坐る裸婦	1928(昭和3)	銅版、紙	26.6×16.8	個人蔵
84	<22> 大きな帽子の娼婦	1928(昭和3)	銅版、紙	29.5×20	個人蔵
85	政治屋	1928(昭和3)	銅版、紙(和紙刷り)	30.2×19.4	個人蔵
[ルオーのリトグラフ]					
86	ヒンデンブルク	1928(昭和3)	リトグラフ、紙	44.8×33.2	個人蔵
[ルオーの多色銅版画]					
87	女曲芸師	1930(昭和5)	銅版、紙	29.4×22.4	個人蔵
88	秋	1938(昭和13)頃	銅版、紙	50.3×65.2	個人蔵

No.	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
89	ピエール＝オーギュスト・ルノワール 花飾りのついた帽子	1898(明治31)刊行	リトグラフ、紙	61×50	個人蔵
90	アンリ・ファンタン＝ラトゥール 水浴する女たち『6つのリトグラフシリーズ』より	1898(明治31)	リトグラフ、紙	30.8×39.4	個人蔵
91	神々の黄昏：ジークフリートとラインの乙女『6つのリトグラフシリーズ』より	1897(明治30)	リトグラフ、紙	30.8×39.4	個人蔵
オディロン・ルドン ギュスター・フローベール『聖アントワーヌの誘惑』第3集より、1896(明治29)刊行					
28	聖アントワーヌ：主よ！助けてまえ！	1896(明治29)	リトグラフ、紙	13.2×22.7	
29	…わたしは孤独のうちに沈んだ。わたしはうしろの木に住んでいたのだ	1896(明治29)	リトグラフ、紙	22.6×30	
30	大智はわがものとなった！私は仏陀になった！	1896(明治29)	リトグラフ、紙	22×32	
31	アントワーヌ：これらすべての目的は何だろう？悪魔：目的などはないのだ！	1896(明治29)	リトグラフ、紙	25×31	
32	ついに太陽が現われる…そしてまるい 太陽のただなかに、イエス・キリストの顔が光りかがやく	1896(明治29)	リトグラフ、紙	20×27.5	
モーリス・ドニ トマスニケンビス『キリストに倣いて』					
33	トマスニケンビス『キリストに倣いて』	1903(明治36)刊行	木版、紙(冊子)	30.6×25.5×5.8	個人蔵
34	ポール・ヴェルレーヌ『叡智』	1911(明治44)刊行	木版、紙(冊子)	29.5×23.8×1.5	個人蔵
35	フランシス・トンプソン『詩集』	1942(昭和17)刊行			
1	口絵	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	22.4×18.6	個人蔵
2	翡翠	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	25×17.5	個人蔵
3	オリヴィアに	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	23.8×17.1	個人蔵
4	一封の歌 ふたりの姉妹に捧げて	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	24.2×18.2	個人蔵
5	彼女の若き日の肖像の前で	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	25×17.5	個人蔵
6	女流詩人が歌を取り戻すように	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	24×18	個人蔵
7	その足跡を追って	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	24.3×18.1	個人蔵
8	天国の獣犬	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	25.8×19.4	個人蔵
9	頌歌	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	24.2×18.2	個人蔵
10	その果てに	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	24.3×18.4	個人蔵
11	聖人は語る	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	24.1×18.2	個人蔵
12	行路への恩寵	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	24.7×18.5	個人蔵
13	聖モニカ	1942(昭和17)	リトグラフ、紙	25.4×19.1	個人蔵

パブロ・ピカソ 36 貧しき食事	1904(明治37)	銅版、紙(和紙刷り)	46.3×38	
37 貧しき食事	1904(明治37)	銅版、紙	46.3×38	
38 女の顔	1905(明治38)	銅版、紙	12×8.5	個人蔵
39 貧しい人々	1905(明治38)	銅版、紙	23.7×18	
40 男の胸像	1905(明治38)	銅版、紙	12×9	個人蔵
41 ふたりのサルタンバンク	1905(明治38)	銅版、紙	12×9	個人蔵
42 女の横顔	1905(明治38)	銅版、紙	29.1×25	個人蔵
43 サルタンバンクたち	1905(明治38)	銅版、紙	28.8×32.8	個人蔵
44 水無い場	1905(明治38)	銅版、紙	12×18.8	個人蔵
45 サーカス	1905(明治38)	銅版、紙	22×14	個人蔵
46 休息するサルタンバンク	1905(明治38)	銅版、紙	11.7×8.3	個人蔵
47 湯浴み	1905(明治38)	銅版、紙	34.2×28.7	個人蔵
48 母親の化粧	1905(明治38)	銅版、紙	23.4×17.8	個人蔵
49 サロメ	1904(明治37)	銅版、紙	40×34.7	個人蔵
50 ダンス	1904(明治37)	銅版、紙	18.5×23.2	個人蔵
[ピカソの名作と刷師ラクリエール]				
51 ミノトーロマシー	1935(昭和10)	銅版、紙	49.5×69	



## 1-2. 点と面の詩情ー上前智祐・山中嘉一・坪田政彦

会期：2008(平成19)年9月13日(土)～10月26日(日)

主催：和歌山県立近代美術館

会場：展示室C(2階)

入場料金：一般500円(400円)、大学生300円(250円) ( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料

内容：当館で継続して開催してきた、関西を中心に活動する現代美術作家を紹介する展覧会

である。上前智祐、山中嘉一、坪田政彦という三作家を選び、点と面という限られた造形要素が生み出す作品世界の広がりを眺めた。上前智祐は1920(大正9)年、京都府に生まれ、具体美術協会のメンバーとして活躍した。山中嘉一は1928(昭和3)年、大阪市に生まれ、デモクラート美術家協会に参加し、版画による制作を展開した。坪田政彦は1947(昭和22)年、姫路市に生まれ、大阪芸術大学に学んだ後、精力的に作品を発表している。個性をもたないと思われる点や線といった抽象的な形が、この三人の作品においてそれぞれ独特的詩情をかもし出す様を紹介した。

成果と課題：時流に反して大きな注目を集めることは少ないながら、着実に価値ある制作を続ける作家を取り上げ、その創作の足取りを紹介した。

小学校の研究授業の課題に取り上げられるなどもしたが、一般的な認知は低かった。また講演会などの記録を残し、公開することが課題である。

担当学芸員：奥村泰彦

関連事業：「出品作家によるお話の会」9月13日(土) 上前智祐、山中嘉一、坪田政彦

・ミュージアムトーク(展覧会解説) 9月15日(月・祝)、9月23日(火・祝)、10月13日(月・祝)、10月26日(日) 奥村泰彦

印刷物：・ポスター(B2判)

・ちらし(A4判)

・案内はがき

・パンフレット(A4判24頁)

上前智祐(テキスト、図版)

山中嘉一(テキスト、図版)

坪田政彦(テキスト、図版)

奥村泰彦「点と面、そして詩情」

・出品目録(B5判4頁)

関連記事：・『ミュージアムガイド』点と面の詩情 上前智祐・山中嘉一・

坪田政彦展』『紀州浪漫』秋号、2008年9月1日発行、20頁

・『『会と催し』点と面の詩情 上前智祐・山中嘉一・坪田政彦展』

『中外日報』2008年9月9日、2面

・『点と面の詩情』13日から県立近代美術館』『ニュース和歌山』

2008年9月10日、6面

・『紙上ミュージアム』111 上前智祐《作品(赤・黒い木枠)》

『わかやま新報』2008年9月10日、1面

・『豊かな個性異なる表現楽しんで 点と面の詩情 上前智祐・

山中嘉一・坪田政彦展』『毎日新聞』2008年9月11日、22面

・『点と面の詩情 きょうから近代美術館』『わかやま新報』

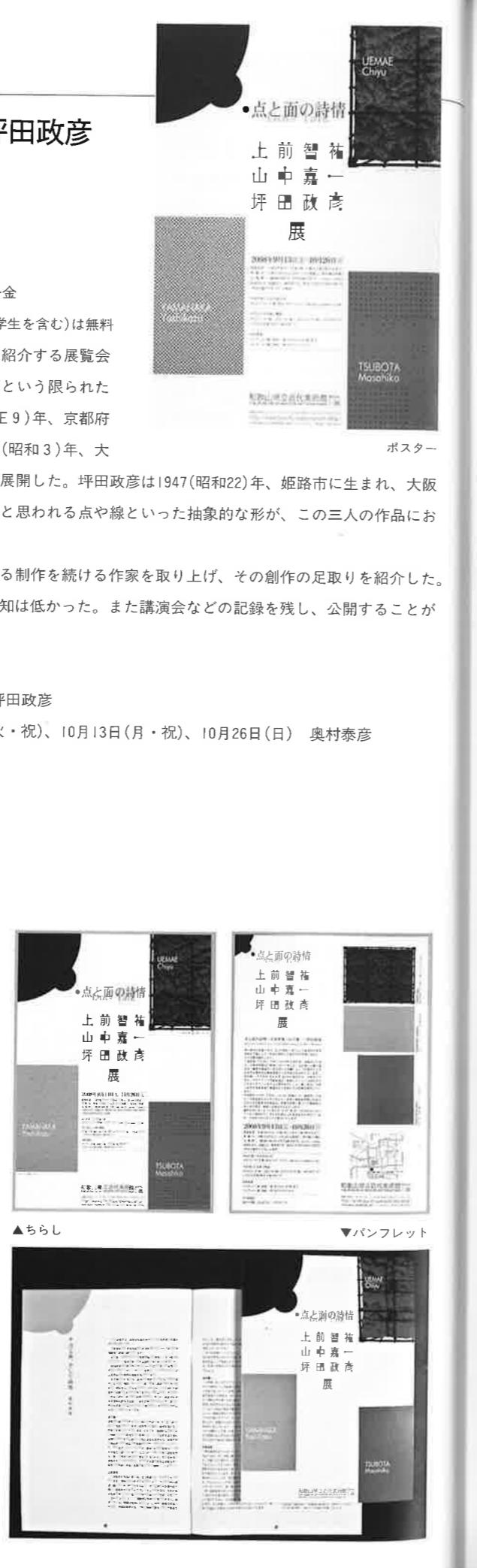
2008年9月13日、7面

・『上年智祐・山中嘉一・坪田政彦』展 近代美術館 点と面の詩情』

『白浜新聞』2008年9月13日、2面

・『『展覧会ピックアップ』点と面の詩情 上前智祐・山中嘉一・

坪田政彦展』『びあ関西版』656、2008年9月25日発行、116頁



・「点と面 3作家の詩情」『朝日新聞』2008年9月26日、29面

・『カルチャーインフォメーション』点と面の詩情 上前智祐・

山中嘉一・坪田政彦展』『WACA-P』9・10月号Vol.21、2008年9月発行

・『紙上ミュージアム』112 山中嘉一《Drop-77-10》

『わかやま新報』2008年10月1日、1面

・「点と面の詩情 上前智祐・山中嘉一・坪田政彦展 形の最小要素

県立近代美術館で10月26日まで』『黒潮タイムス』2008年10月5日、

2面

・『紙上ミュージアム』113 坪田政彦《描・点・境・R》『わかやま新報』

2008年10月22日、1面

・『イベントカレンダー』点と面の詩情 上前智祐・山中嘉一・坪田政彦展』『博物館研究』43-10、2008年10月号、29頁

・『Art』点と面の詩情 上前智祐・山中嘉一・坪田政彦展』『南海沿線ガイド9・10月号』



案内はがき

### 「点と面の詩情ー上前智祐・山中嘉一・坪田政彦ー展」出品目録

(所蔵先表記のない作品は当館蔵です)

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
1	坪田政彦	玄・彩 - A	1994(平成6)	エッチング、アクアチント、紙	65.5×50.5	個人蔵
2	坪田政彦	境・点・描 - G	2008(平成20)	油彩、キャンバス	259×194	個人蔵
3	坪田政彦	玄・刻 - B	1995(平成7)	エッチング、ドライポイント、紙	41×31	個人蔵
4	坪田政彦	PENETRATION - 3	1989(平成元)	シルクスクリーン、パンチ、紙	50.5×65.5	個人蔵
5	坪田政彦	PENETRATION - 6	1989(平成元)	シルクスクリーン、エッチング、パンチ、紙	50.5×65.5	個人蔵
6	坪田政彦	PENETRATION - 7	1989(平成元)	シルクスクリーン、パンチ、紙	50.5×65.5	個人蔵
7	坪田政彦	PENETRATION - 9	1989(平成元)	シルクスクリーン、パンチ、紙	50.5×65.5	個人蔵
8	坪田政彦	Penetration - 21	1990(平成2)	シルクスクリーン、紙	75.5×106	個人蔵
9	坪田政彦	線・玄	1991(平成3)	エッチング、アクアチント、紙	50.5×65.5	個人蔵
10	坪田政彦	彩・質・境	1993(平成5)	油彩、パンチ、紙	45×60	個人蔵
11	坪田政彦	描・線・彩 - B	1994(平成6)	油彩、パンチ、紙	45×60	個人蔵
12	坪田政彦	玄・境・質 - C	1998(平成10)	油彩、パンチ、紙	50×60	個人蔵
13	坪田政彦	描・彩・線 - D	2003(平成15)	リトグラフ、パンチ、紙	57×73	個人蔵
14	坪田政彦	玄・点・線	1999(平成11)	鉛筆、油彩、キャンバス	145.5×224.2	個人蔵
15	坪田政彦	彩・境・彩 - 13	1992(平成4)	油彩、パンチ、紙	106×75.5	個人蔵
16	坪田政彦	境・線・彩	1993(平成5)	油彩、パンチ、紙	106×75.5	個人蔵
17	坪田政彦	描・線・彩 - A	1996(平成8)	油彩、パンチ、紙	121.5×80	個人蔵
18	坪田政彦	描・蒼・境	1996(平成8)	油彩、キャンバス	162.1×130.3	個人蔵
19	坪田政彦	描・描・点	2002(平成14)	油彩、キャンバス	100×80.3	個人蔵
20	坪田政彦	彩・描・境 - B	2002(平成14)	油彩、キャンバス	100×80.3	個人蔵
21	坪田政彦	描・点・境 - R	2008(平成20)	油彩、キャンバス	100×80.3	個人蔵
22	坪田政彦	描・点・境 - S	2008(平成20)	油彩、キャンバス	100×80.3	個人蔵
23	山中嘉一	Work - 162	2002(平成14)	水彩、絲布	50×41.5	個人蔵
24	山中嘉一	Work - 163	2002(平成14)	水彩、絲布	70×52.5	個人蔵
25	山中嘉一	Drop - 77 - 1 - A	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙	55×73	個人蔵
26	山中嘉一	Drop - 77 - 2	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙	51.5×72.8	個人蔵
27	山中嘉一	Drop - 77 - 1 - B	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙	55×73	個人蔵
28	山中嘉一	Drop - 77 - 6	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙	55×73	個人蔵
29	山中嘉一	Drop - 77 - 13	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙	55×73	個人蔵
30	山中嘉一	Drop - 77 - 7	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙	55×73	個人蔵
31	山中嘉一	Drop - 77 - 8	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙	55×73	個人蔵
32	山中嘉一	Drop - 77 - 9	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙	55×73	個人蔵
33	山中嘉一	Drop - 77 - 10	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙	55×73	個人蔵
34	山中嘉一	Work - 156 モランディに	2002(平成14)	油彩、絲布、木	72.5×48.5	個人蔵
35	山中嘉一	Work - 161 ベギー・グッゲンハイム	2002(平成14)	油彩、絲布、木	90×30	個人蔵
36	山中嘉一	Work - 141	2001(平成13)	アクリルカラー、帆布	126×68	個人蔵
37	山中嘉一	Work - 137	2001(平成13)	アクリルカラー、油彩、キャンバス	72.7×181.8	個人蔵
38	山中嘉一	Mono - Print - 1325	1996(平成8)	スクリーンプリント、紙	70×70	個人蔵
39	山中嘉一	Mono - Print - 1335	1995(平成7)	スクリーンプリント、紙	70×70	個人蔵
40	山中嘉一	Mono - Print - 1386	1997(平成9)	スクリーンプリント、糸、紙	70×70	個人蔵
41	山中嘉一	Mono - Print - 1381	1997(平成9)	スクリーンプリント、紙	70×70	個人蔵
42	山中嘉一	Mono - Print - 1387	1997(平成9)	スクリーンプリント、紙	70×70	個人蔵



No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
43	山中嘉一	Mono - Print - 1480	2000(平成12)	スクリーンプリント、コラージュ、紙	70×70	個人蔵
44	山中嘉一	Drop - 35	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	65.2×53	個人蔵
45	山中嘉一	Work - 342	2008(平成20)	ミクストメディア、紙	72.7×60.6	個人蔵
46	山中嘉一	Drop - 30	1973(昭和48)	シルクスクリーン、紙	72.8×51.5	個人蔵
47	山中嘉一	Work - 358	2008(平成20)	ミクストメディア、綿布	65×53	個人蔵
48	山中嘉一	Work - 360 ボローニャ	2008(平成20)	ミクストメディア、綿布	80.3×60.5	個人蔵
49	山中嘉一	Work - 356	2008(平成20)	ミクストメディア、綿布	65×53	個人蔵
50	山中嘉一	Work - 362	2008(平成20)	ミクストメディア、綿布	72.5×50	個人蔵
51	山中嘉一	Work - 334	2008(平成20)	ミクストメディア、綿布	80.3×53	個人蔵
52	山中嘉一	Work - 348 アッシジ	2008(平成20)	ミクストメディア、綿布	65.0×45.5	個人蔵
53	山中嘉一	Work - 322 - 1	2008(平成20)	油彩、綿布	71×51	個人蔵
54	山中嘉一	Work - 325	2008(平成20)	ミクストメディア、綿布	91×73	個人蔵
55	山中嘉一	Work - 361	2008(平成20)	ミクストメディア、綿布	65×53	個人蔵
56	上前智祐	作品	1954(昭和29)	油彩、キャンバス	31.8×41	個人蔵
57	上前智祐	作品	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	53×65.1	個人蔵
58	上前智祐	作品	1964-66(昭和39-41)	油彩、板	163.5×93.5	個人蔵
59	上前智祐	作品	1964-66(昭和39-41)	油彩、板	163.5×93.5	個人蔵
60	上前智祐	作品	1963-92(昭和38-平成4)	油彩、キャンバス	185×130	個人蔵
61	上前智祐	作品	1971(昭和46)	油彩、キャンバス	183×258	個人蔵
62	上前智祐	作品	1970(昭和45)	油彩、キャンバス	202×140	個人蔵
63	上前智祐	作品	1985(昭和60)	油彩、キャンバス	107×91	個人蔵
64	上前智祐	縫 97-17	1997(平成9)	布、糸	31×34	個人蔵
65	上前智祐	縫立体 11	1985(昭和60)	糸	25×25×25	個人蔵
66	上前智祐	作品(赤・黒い木枠)	1971-82(昭和46-57)	油彩、マッチの軸、木	145×167×26	個人蔵
67	上前智祐	作品	1983(昭和58)	布、糸	215×173	個人蔵
68	上前智祐	縫	1980(昭和55)	布、糸	270×347	個人蔵
69	上前智祐	縫 7	1987(昭和62)	糸、布	328×244	個人蔵
70	上前智祐	縫 1	1986(昭和61)	糸、布	248×166	個人蔵
71	上前智祐	縫 25	1989-92(平成元-4)	糸、布	182×128	個人蔵
72	上前智祐	縫 2	1987(昭和62)	糸、布	258×183	個人蔵
73	上前智祐	縫 26	1989-92(平成元-4)	糸、布	180×122	個人蔵
74	上前智祐	作品 00-27	2000(平成12)	油彩、金属、板	92×92	個人蔵



## 2-1. 叙情の様式

会期：2008(平成19)年4月19日(土)～5月25日(日)

催：和歌山県立近代美術館

場：展示室C(2階)

入場料金：一般500円(400円)、大学生300円(250円) ( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料

内容：叙情とは、感情をのべあらわすこと。さまざまな表現のスタイルが登場する中でも、

自己の純粋な感動や情緒を主観的に述べることは、表現の大きな原動力であった。眼

にみえるものの忠実な再現にその思いを託すことから離れて内面と直接に繋がりのある

表現を目指すようになったときに、抽象美術は生まれた。この視点から、抽象美術

を温かく血の通った心の表現として見なおし、和歌山ゆかりの二人の作家、恩地孝四郎(1891-1955)と村井正誠(1905-99)の作品を中心

に、叙情の様式としての抽象表現の成立を紹介する。

成果と課題：抽象絵画に漠然と冷たさや疎外された感じを持っていたが、親しみをもって作品に向かうことができるようになったという感想を得たことが、収穫だった。作家ごとの紹介を、パネルと出品目録の両方で行い、キャプションにふりがなを付けるなど丁寧な情報の提供を試みたことも予想以上に好評であった。和歌山にゆかりのある作家は、コレクション展でつねに紹介されているが、それぞれの作家の仕事をまとめて見ること、位置づけをすることによって再評価していく大切さを改めて感じた。

担当学芸員：植野比佐見

関連事業：ミュージアムトーク(展覧会解説) 5月4日(日・祝)、5月5日(月・祝)、5月6日(火・振替休日) 植野比佐見

印刷物：・ポスター(B2判)

・案内はがき

・出品目録(A4判10頁)

関連記事：・「心を表現した抽象画 県立近代美術館 企画展「叙情の様式」」『紀伊民報』2008年4月12日、9面

・「『お祭り・イベント』叙情の様式」『まっぴる』2008年4月17日

・「ゆかりの恩地孝四郎、村井正誠ら200点 抽象画展覧会「叙情の様式」」『毎日新聞』2008年4月18日、22面

・「叙情の様式」展 抽象表現の世界』『有田タイムス』2008年4月19日

・「抽象画じっくり 県立近代美術館 村井正誠らの200点」『朝日新聞』2008年4月20日、28面

・「紙上ミュージアム」101 恩地孝四郎《リリック No. 8 春》『わかやま新報』2008年4月23日、1面

・「抽象表現の成立と展開 県立近代美術館で特別展始まる」『わかやま新報』2008年4月25日、6面

・「『会と催し』叙情の様式」『中外日報』2008年5月1日、2面

・「紙上ミュージアム」102 村井正誠《ロンバルディア》『わかやま新報』2008年5月14日、1面

・「紙上ミュージアム」103 バウル・クレー《情熱の園》

『わかやま新報』2008年5月21日、1面

・「『ART』 “抽象美術は心の風景そのもの” そんな思いを表現した画家たち」

『びあ関西版』645、2008年4月24日発行、121頁

・「『イベントカレンダー』 和歌山県立近代美術館 叙情の様式」『博物館研究』

43-5、39頁

・「『各地のコンサート・イベント情報』 叙情の様式」『いととく』2008年5月号、

6頁

・「『カルチャーインフォメーション』 和歌山県立近代美術館 企画展「叙情の様式」」

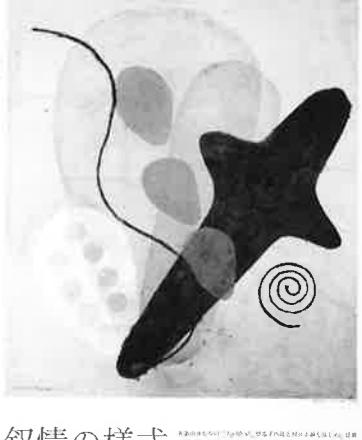
『WACA-P』2008年5月号、8頁

・「『展覧会ピックアップ』 叙情の様式」『びあ関西版』646、2008年5月8日発行、

122頁

・「Art 和歌山県立近代美術館 叙情の様式」『南海沿線ガイド』5・6月号

案内はがき  
叙情の様式



「抒情の様式」出品目録

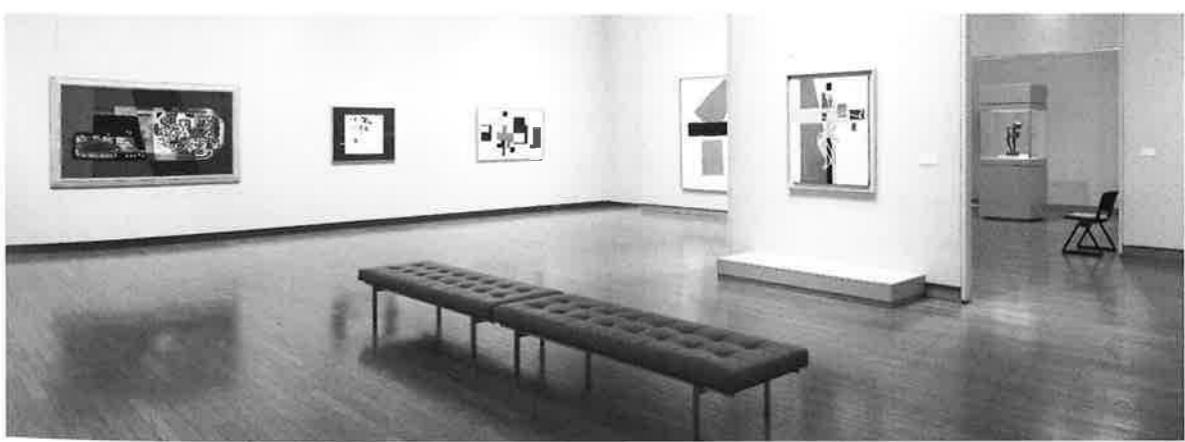
(所蔵先表記のない作品は当館蔵です)

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)
1. はじめに					
1	カンディンスキー、ワシリー	『響き』抒情的	1911(明治44)[1913(大正2)刊]	木版、紙	14.8×21.9(冊子: 28.5×28×1.5)
2	クレー、パウル	情熱の園	1913(大正2)	銅版、紙	9.3×14.2
3	クレー、パウル	小さな世界	1914(大正3)	銅版、紙	14.5×9.7
4	クレー、パウル	高い、高い!	1928(昭和3)	銅版、紙	23×22.8
2. 恩地孝四郎の「抒情」					
5	恩地孝四郎	『DER STURM 木版画展覧会目録』	1914(大正3)	冊子	18.8×12.8×0.1
6	恩地孝四郎	裸形のくるしみ I (私輯『月映』V(推定))	1914(大正3)	木版、紙	19.8×8
7	恩地孝四郎	裸形のくるしみ III (私輯『月映』V(推定))	1914(大正3)	木版、紙	20×7.9
8	恩地孝四郎	裸形のくるしみ IV (私輯『月映』V(推定))	1914(大正3)	木版、紙	20×7.9
9	恩地孝四郎	よりそふもの(私輯『月映』IV)	1914(大正3)	木版、紙	19×13.7
10	恩地孝四郎	[失題]	1914(大正3)	木版、紙	22.9×16.6
11	恩地孝四郎	彼女いま屋上を過ぐ(私輯『月映』V(推定))	1914(大正3)	木版、紙	15×15
12	恩地孝四郎	抒情 くるしみのうち懐に入るるものあり	1915(大正4)頃	木版、紙	13.3×13.5
13	恩地孝四郎	一つの貌	1915(大正4)	木版、紙	15.2×11.2
14	恩地孝四郎	公刊『月映』ポスター	1914(大正3)	木版、紙	34.7×33.7
15	恩地孝四郎	抒情 I	1914(大正3)	木版、紙	13.5×11
16	恩地孝四郎	公刊『月映』II ポスター	1914(大正3)	木版、紙	37.5×25.8
17	恩地孝四郎	抒情 II (公刊『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙	20.5×14.2
18	恩地孝四郎	底のくるしみ(公刊『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙	13.4×13.5
19	恩地孝四郎	抒情 VIII(われいかる)(公刊『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙	19.4×13.6
20	恩地孝四郎	抒情 IX(のぞみすてす)(公刊『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙	19.6×13.4
21	恩地孝四郎	公刊『月映』IV ポスター	1915(大正4)	木版、紙	50×23.5
22	恩地孝四郎	死によりてあげらるる生	1915(大正4)	木版、紙	12.5×10.5
23	恩地孝四郎	おさむるものと地の哀傷(公刊『月映』IV)	1915(大正4)	木版、紙	14.4×12.5
24	恩地孝四郎	とぶもの・つけるもの(公刊『月映』IV)	1915(大正4)	木版、紙	16.5×12.7
25	恩地孝四郎	そらよりくだるかけ(公刊『月映』V)	1915(大正4)	木版、紙	12.4×10.7
26	恩地孝四郎	悔恨と水 第二作	1915(大正4)	ペン、紙	14.3×10.9
27	恩地孝四郎	失題	1915(大正4)	ペン、紙	11.5×9.8
28	恩地孝四郎	抒情 太陽顔に照る(公刊『月映』V)	1915(大正4)	木版、紙	14.3×12.5
29	恩地孝四郎	抒情 生はさみし夜半目ざめて泪ながれながら(公刊『月映』V)	1915(大正4)	木版、紙	12.4×12.4
30	恩地孝四郎	抒情 くるしみのうち懐に入るるものあり(公刊『月映』V)	1915(大正4)	木版、紙	12.7×9.1
31	恩地孝四郎	抒情 「あかるい時」(公刊『月映』V)	1915(大正4)	木版、紙	13.6×9.8
32	恩地孝四郎	抒情 苦惱のうちに光る(公刊『月映』V)	1915(大正4)	木版、紙	13.6×8.3
33	恩地孝四郎	公刊『月映』VI 表紙	1915(大正4)	木版、紙(冊子)	27.3×20×0.4
34	恩地孝四郎	公刊『月映』VII 表紙	1915(大正4)	木版、紙(冊子)	26.4×20.2×0.4
35	恩地孝四郎	公刊『月映』VI ポスター	1915(大正4)	木版、紙	40×26
36	恩地孝四郎	抒情 いとなみ祝福せらる	1915(大正4)	木版、紙	13.6×9.7
37	恩地孝四郎	抒情 相信するこころ(公刊『月映』VI)	1915(大正4)	木版、紙	13.4×9.7
38	恩地孝四郎	抒情 いとなみ祝福せらる(公刊『月映』VI)	1915(大正4)	木版、紙	13.8×9.7
39	恩地孝四郎	抒情 慈に泪す(公刊『月映』VI)	1915(大正4)	木版、紙	13.8×9.5
40	恩地孝四郎	抒情 蹤る(公刊『月映』VI)	1915(大正4)	木版、紙	13.2×9.7
41	恩地孝四郎	抒情 蹤る	1915(大正4)	木版、紙	13.3×9.7
42	恩地孝四郎	告別(公刊『月映』VII)	1915(大正4)	木版、紙	10.5×9.7
43	恩地孝四郎	「抒情」五種一わかれとのぞみとー [1] (公刊『月映』VII)	1915(大正4)	木版、紙	15.1×12.1
44	恩地孝四郎	「抒情」五種一わかれとのぞみとー [2] (公刊『月映』VII)	1915(大正4)	木版、紙	13.6×9.8
45	恩地孝四郎	「抒情」五種一わかれとのぞみとー [3] (公刊『月映』VII)	1915(大正4)	木版、紙	13.7×9.6
46	恩地孝四郎	「抒情」五種一わかれとのぞみとー [4] (公刊『月映』VII)	1915(大正4)	木版、紙	13.7×9.8
47	恩地孝四郎	「抒情」五種一わかれとのぞみとー [5] (公刊『月映』VII)	1915(大正4)	木版、紙	13.7×9.7
48	恩地孝四郎	白昼浴	1923(大正12)	木版、紙	19.7×13.6
49	恩地孝四郎	失題〔裸婦〕	1925(大正14)頃	木版、紙	28.9×24.1
50	恩地孝四郎	『感情』15 表紙絵(別刷)	1917(大正6)頃	木版、紙	7.8×10.4
51	恩地孝四郎	人貌	1929(昭和4)	木版、紙	17×23.6
52	恩地孝四郎	男の首・表紙『風』第1輯	1927(昭和2)年10月1日、『風』発行所刊	木版、紙	13×11.5 (23.7×16×0.7冊子)

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)
53	恩地孝四郎	人体考察 5 肩・表紙『風』再刊第1輯	1929(昭和4)年4月1日、『風』発行所刊	木版、紙	12.5×15.5 (25.7×19.2×0.9冊子)
54	恩地孝四郎	表紙『詩と版画』VIII	1924(大正13)年11月25日、詩と版画社刊	木版、紙	25.5×18.8×0.2
55	恩地孝四郎	あかるい時・表紙『風』第3輯	1928(昭和3)年3月5日、『風』発行所刊	木版、紙	13.4×9.8 (23.5×15.7×0.7冊子)
56	恩地孝四郎	5 烈しい沈黙 拡げられたキノ『海の童話』	1934(昭和9)年7月2日、版画社刊	木版、紙(冊子)	29×43.8
57	恩地孝四郎	表紙『蟲・魚・介』	1943(昭和18)年3月15日、アオイ書房刊	木版、紙(冊子)	27.3×21.3
58	恩地孝四郎	7 たなご『蟲・魚・介』	1943(昭和18)年3月15日、アオイ書房刊	木版、紙(冊子)	27.3×42.6
59	恩地孝四郎	8 蛭『蟲・魚・介』	1943(昭和18)年3月15日、アオイ書房刊	木版、紙(冊子)	27.3×42.6
60	恩地孝四郎	11 シャコ貝『蟲・魚・介』	1943(昭和18)年3月15日、アオイ書房刊	木版、紙(冊子)	27.3×42.6
61	恩地孝四郎	日本版画協会カレンダー 昭和15年8月	1940(昭和15)	木版、紙	25×1.2
62	恩地孝四郎	日本版画協会カレンダー 昭和16年12月	1941(昭和16)	木版、紙	24.8×12.6
63	恩地孝四郎	日本版画協会カレンダー 昭和17年5月	1942(昭和17)	木版、紙	24.8×12.7
64	恩地孝四郎	日本版画協会カレンダー 昭和18年10月	1943(昭和18)	木版、紙	25×12.8
65	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』1(1-1)	1935(昭和10)年4月10日	冊子	23.5×16.2×0.6
66	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』2(1-2)	1935(昭和10)年5月10日	冊子	23×15.8×0.6
67	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』3(1-3)	1935(昭和10)年6月1日	冊子	23.3×16.2×0.6
68	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』4(1-4)	1935(昭和10)年7月10日	冊子	23.5×16.1×0.6
69	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』5(1-5)	1935(昭和10)年8月10日	冊子	23.4×16.2×0.5
70	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』6(1-6)	1935(昭和10)年9月10日	冊子	23.4×16.3×0.5
71	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』7(2-1)	1935(昭和10)年10月10日	冊子	23.4×16.3×0.6
72	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』8(2-2)	1935(昭和10)年11月10日	冊子	23.5×16.4×0.5
73	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』9(2-3)	1935(昭和10)年12月18日	冊子	23.4×16.1×0.7
74	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』10(2-4)	1936(昭和11)年1月16日	冊子	23.4×16.2×0.5
75	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』11(2-5)	1936(昭和11)年3月11日	冊子	23.3×16.3×1
76	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』12(2-6)	1936(昭和11)年4月10日	冊子	23.2×16.7×0.5
77	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』13(3-1)	1936(昭和11)年5月19日	冊子	23.5×16.2×0.7
78	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』14(3-2)	1936(昭和11)年6月29日	冊子	23×16.2×0.4
79	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』15(3-3)	1936(昭和11)年8月5日	冊子	23×16.3×1
80	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』16(3-4)	1936(昭和11)年9月1日	冊子	23.2×16.2×0.5
81	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』17(3-5)	1936(昭和11)年11月3日	冊子	23.3×16.3×0.8
82	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』18(3-6)	1936(昭和11)年12月31日	冊子	23.3×16.1×0.5
83	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』20(4-2)	1937(昭和12)年3月15日	冊子	23.4×16.4×0.6
84	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』23(4-5) 紙の輯	1937(昭和12)年7月15日	冊子	23.2×16.2×0.9
85	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』23(4-5 附録) 紙の輯別冊附録 紙帖	1937(昭和12)年7月15日	冊子	23×15.7×0.6
86	恩地孝四郎編集・表丁	『書窓』25(5-1)	1937(昭和1		

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)
94	恩地孝四郎	イメージNo.5 生体トルソ	1947(昭和22)	木版、紙	84×54.5
95	恩地孝四郎	ポエム No.7 五月の風景	1947(昭和22)	木版、紙	84×54.5
96	恩地孝四郎	リリック No.8 春	1950(昭和25)頃	マルチブロック、紙	71.6×62.2
97	恩地孝四郎	失題	1950(昭和25)	紙版、紙	43.1×29.5
98	恩地孝四郎	若い世代	1951(昭和26)	木版、紙	23×16
99	恩地孝四郎	フォルム No.14 グロテスク(II)	1952(昭和27)	マルチブロック、紙	45.8×35.2
100	恩地孝四郎	コンポジション	1953(昭和28)	リトグラフ、紙	46×30.1
101	恩地孝四郎	ポエム No.22 葉っぱと雲	1953(昭和28)	マルチブロック、紙	43.5×34
102	恩地孝四郎	ポエム「白い花」	1953(昭和28)	リトグラフ、紙	45.5×29.7
3.	村井正誠の「心」				
103	村井正誠	ロンバルディア	1929(昭和4)頃	油彩、キャンバス	80.8×66
104	村井正誠	パンチュール No.2	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	100.2×80
105	村井正誠	月影	1962(昭和37)	リトグラフ、紙	46.3×38.5
106	村井正誠	風	1962(昭和37)	リトグラフ、紙	64×52
107	村井正誠	黒い太陽	1962(昭和37)	リトグラフ、紙	56×40
108	村井正誠	天使	1963(昭和38)	木版、紙	66.6×45.8
109	村井正誠	三本の木	1962(昭和37)	リトグラフ、紙	69×48.5
110	村井正誠	太陽と鳥	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	65×45
111	村井正誠	[不詳]	1980(昭和55)	シルクスクリーン、紙	62.6×45.5
112	村井正誠	パンチュール No.3	1929-33(昭和4-8)	油彩、キャンバス	113.5×194.5
113	村井正誠	アラブの窓	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	80.9×196.5
114	村井正誠	ゴルフジュアンの朝	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	145.3×112.1
115	村井正誠	パンチュール(赤い帽子)	1931(昭和6)以降	油彩、キャンバス	72.5×90.9
116	村井正誠	URBAIN No.1	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	112.2×194.2
117	村井正誠	パンチュール	1939(昭和14)	油彩、板	81.4×99.8
118	村井正誠	形象 A	1939(昭和14)	油彩、板	89.4×145.8
119	村井正誠	母子像	1947(昭和22)頃	油彩、キャンバス	100×80.5
120	村井正誠	母子像	1951(昭和26)	油彩、キャンバス	146×113
121	村井正誠	紀州	1993(平成5)	油彩、キャンバス	193.9×258.8
122	村井正誠	自画像(太い線)	1974(昭和49)	油彩、キャンバス	162.2×130.6
123	村井正誠	風の中の除幕式	1968(昭和43)	油彩、キャンバス	194.5×259.8
124	村井正誠	黒い人II	1968(昭和43)	油彩、キャンバス	227.8×182.2
125	村井正誠	強そうな人	1968(昭和43)	油彩、キャンバス	227.4×182
4.	戦後の抽象表現				
126	植木茂	モードス	1949(昭和24)	木	57×27×20
127	瑛九	人魚の恋	1953(昭和28)	銅版、紙	23.6×31
128	瑛九	フォトデッサン	制作年不詳	フォトデッサン、印画紙	20.2×25.2
129	瑛九	顔	制作年不詳	フォトデッサン、印画紙	27.8×22
130	難波田龍起	緑の空間	1960(昭和35)	油彩、キャンバス	91.4×117.2
131	浅野弥衛	無題	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	72.5×90.8
132	浅野弥衛	無題	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	72.8×91
133	津高和一	アシタハキノウニナル	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	193×129.8
134	津高和一	キム キム	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	91.3×117
135	内間安理	ロンド	1957(昭和32)	木版、紙	19.6×27.7
136	内間安理	相撲	1957(昭和32)	木版、紙	57.1×40.5

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)
137	品川工	転身	1959(昭和34)	木版、紙	55×40
138	吹田文明	開かれた世界	1967(昭和42)	木版、紙	60.2×90
139	山口源	ROUNDABOUT(迂)	1959(昭和34)	木版、紙	87.6×59
140	山口源	GERMINATION(萌芽期)	1959(昭和34)	木版、紙	87.6×59
141	高井貞二	故郷の風景	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	101.6×137
142	岡田謙三	入江	1959(昭和34)	油彩、キャンバス	189×155.5
143	吉田政次	静 No.28	1953(昭和28)	木版、紙	33.2×24.3
144	吉田政次	静 No.36	1953(昭和28)	木版、紙	37.1×26.3
145	吉田政次	静 No.70	1955(昭和30)	木版、紙	31.5×39.7
146	吉田政次	相対性絵画 No.5	1959(昭和34)	木版、紙	157×157×3.8
147	駒井哲郎	肖像(ジル・ド・レの肖像)	1948(昭和23)	銅版、紙	11.3×7.5
148	駒井哲郎	海底の祭	1954(昭和29)	銅版、紙	23.8×17.2
149	萩原英雄	白蛾	1959(昭和34)	木版、紙	66.6×40
150	萩原英雄	石の花(赤)	1960(昭和35)	木版、紙	87.2×58.3
151	萩原英雄	石の花(黒)	1960(昭和35)	木版、紙	87.7×58
152	萩原英雄	白の幻想(1)	1962(昭和37)	木版、紙	85.3×59.6
153	萩原英雄	お伽の国 No.1	1966(昭和41)	木版、紙	59.2×90.7
154	高橋力雄	祈り	1957(昭和32)	木版、紙	52×33
155	高橋力雄	Lyric(Spring)	1957(昭和32)	木版、紙	42×30
156	高橋力雄	Passing Nun(Buddhist)(行く尼)	1958(昭和33)	木版、紙	47.3×34.9
157	高橋力雄	Nostalgia of Kyoto	1960(昭和35)	木版、紙	88.6×56.4
158	高橋力雄	Lyric Kyoto No.2	1959(昭和34)	木版、紙	39.5×53
159	高橋力雄	Music(Noh Play B)(音楽(能B))	1960(昭和35)	木版、紙	57.8×42
160	高橋力雄	Noh Play	1963(昭和38)	木版、紙	81.4×54.8
161	高橋力雄	Ancient History / Face of Mexico	1964(昭和39)	木版、紙	49.2×42.3
162	高橋力雄	Riverside in Morning	1964(昭和39)	木版、紙	50.5×40.3
163	高橋力雄	Snow Garden	1977(昭和52)	木版、紙	46.3×61.8
164	高橋力雄	庭の韻	1994(平成6)	木版、紙	81.1×55
165	清水武次郎	[少女]	1948(昭和23)	孔版、紙	19.5×26.5
166	清水武次郎	夜	1957(昭和32)	孔版、紙	30.6×46
167	清水武次郎	夜の静物	1957(昭和32)	孔版、紙	27.5×42.1
168	清水武次郎	五月の詩	1959(昭和34)	孔版、紙	53.3×37.7
169	清水武次郎	牧歌	1960年代前半	孔版、紙	39.7×54.7
170	清水武次郎	海のうた	1965(昭和40)頃	孔版、紙	32.6×47.4
171	清水武次郎	[作品]	1970年代前半	孔版、紙	53.3×39.4
172	清水武次郎	[作品]	1967(昭和42)頃	孔版、紙	52.8×39.3
173	清水武次郎	[作品]	1970年代前半	孔版、紙	53.3×39.6
174	清水武次郎	作品 I	1963(昭和38)	孔版、紙	53.1×39.5
175	清水武次郎	[作品]	1970年代前半	孔版、紙	53.2×39.4
176	若山八十氏編集・発行	日本孔版研究所『孔版』18	1948(昭和23)年4月1日	孔版、紙(冊子)	20.8×14.9×0.2
177	若山八十氏編集・発行	日本孔版研究所『孔版』62	1949(昭和24)年12月1日	孔版、紙(冊子)	20.8×14.9×0.2
178	若山八十氏編集・発行	日本孔版研究所『孔版』73:詩作品特集	1950(昭和25)年11月1日	孔版、紙(冊子)	20.9×15.7×0.2
179	若山八十氏編集・発行	日本孔版研究所『孔版』76	1951(昭和26)年2月1日	孔版、紙(冊子)	21.2×14.9×0.2
180	若山八十氏編集・発行	日本孔版研究所『孔版』80	1951(昭和26)年6月1日	孔版、紙(冊子)	21×14.9×0.2
181	若山八十氏編集・発行	日本孔版研究所『孔版』81:八十氏旅日記	1951(昭和26)年7月1日	孔版、紙(冊子)	21×14.8×0.2
182	若山八十氏編集・発行	日本孔版研究所『孔版』88	1952(昭和27)年6月	孔版、紙(冊子)	20.9×14.9×0.2



## 2-2. 共作×共鳴×共感 ともにつくられた作品たち

会期：2008(平成19)年6月3日(火)～7月13日(日)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

会場：展示室C(2階)

入場料金：一般500円(400円)、大学生300円(250円) ( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料

内容：美術作品には複数の人間が関わって作られるものがあるという視点から、美術表現の多様なあり方を紹介することを試みた。「美術家たちの競演」「美術と文学の共演」「版画芸術の饗宴」という3つの章に分け、コレクションを中心に所蔵家からの借用品も合わせた近代から現代までのさまざまな作品世界を紹介した。

成果と課題：作品の芸術性を個人の才能のみに帰するのではない考え方や、複数の人間の関わりを提示することにより、多様な表現のあり方を考える機会を提供することができた。広報印刷物もこれまでにない形式で、魅力的なものになった。

担当学芸員：宮本久宣

関連事業：ミュージアムトーク(展覧会解説) 6月14日(土)、6月15日(日) 宮本久宣

印刷物：・ポスター(B2判変形)

・ちらし(B4判変形)

・出品目録(A4判10頁)

関連記事：・「共作×共鳴×共感－ともに作られた作品たち－県立近代美術館で開催」『白浜新聞』2008年5月24日、2面

・「響きあう創造 生まれる世界 近代美術館「共作×共鳴×共感」「ニュース和歌山」2008年6月4日、5面

・「作家同士が共感の作品 版画中心に180点展示 県立近代美術館で始まる」「産経新聞」2008年6月4日、25面

・「紙上ミュージアム」104 藤森静雄《若き日》『わかやま新報』2008年6月4日、1面

・「共作×共鳴×共感」180点 共同作品の表現美競う 県立近代美術館展覧会 来月13日まで 県ゆかりの画家 田中恭吉も紹介』『毎日新聞』2008年6月5日、22面

・「『展覧会ピックアップ』共作×共鳴×共感 ともに作られた作品たち」「ぴあ関西版」648、2008年6月5日発行、122頁

・「展覧会の紹介 県立近代美術館 共作×共鳴×共感・ともに作られた作品たち～7月13日(日)」

『黒潮タイムス』2008年6月5日、2面

・「多様な共作に共鳴、共感 県立近代美術館 版画など170点」「読売新聞」2008年6月15日、31面

・「紙上ミュージアム」105. 田中恭吉《失題》『わかやま新報』2008年6月18日、1面

・「『展覧会ピックアップ』共作×共鳴×共感 ともに作られた作品たち」

『ぴあ関西版』649、2008年6月19日発行、118頁

・「『会と催し』共作×共鳴×共感－ともに作られた作品たち」

『中外日報』2008年6月24日、9面

・「イベントカレンダー」和歌山県立近代美術館 共作×共鳴×共感

ともに作られた作品たち』『博物館研究』43-6、2008年6月号、29頁

・「毎日がアート日和！和歌山県立近代美術館 共作×共鳴×共感

ともに作られた作品たち』『旅こよみ』2008年6月号、15頁

・「和歌山県立近代美術館 共作×共鳴×共感 ともに作られた作品たち」

『JR西日本 電車＆ウォーク』2008年6月号、5頁

・「共作×共鳴×共感 ともに作られた作品たち」

『Lmagazine』400、2008年7月1日、126頁

・「紙上ミュージアム」106 ジェームズ・ティソ《海辺にて》

『わかやま新報』2008年7月2日、1面



## 共作×共鳴×共感 ともに作られた作品たち

2008年6月3日(火)～7月13日(日)  
和歌山県立近代美術館 THE MUSEUM OF MODERN ART, WASAYAMA

ポスター



・「共鳴する多彩な作品 県立近代美術館で展覧会」

『わかやま新報』2008年7月2日、6面

・「『展覧会ピックアップ』共作×共鳴×共感 ともに作られた作品たち」「ぴあ関西版」650、2008年7月3日発行、122頁

### 「共作×共鳴×共感 ともに作られた作品たち」出品目録

(所蔵先表記のない作品は当館蔵です)

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
1	田中恭吉	恩地孝四郎宛あて葉書(大正3年3月22日付)	1914(大正3)	インク、紙	14.1×9	
2	田中恭吉	恩地孝四郎宛あて葉書(大正3年3月23日付)	1914(大正3)	インク、紙	14.1×9	
3	田中恭吉	【失題】	1914(大正3)	木版、紙	19×13.3	
4	田中恭吉	【失題】	1914(大正3)	木版、紙	18.9×9.9	
5	田中恭吉	焦心(私輯『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙	20.9×10	
6	田中恭吉	生ふるもの去るもの(私輯『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙	26.3×19.1	
7	田中恭吉	太陽と花(私輯『月映』II [同版])	1914(大正3)	木版、紙	17.8×11.7	
8	田中恭吉	病児(私輯『月映』IV)	1914(大正3)	木版、紙	11.7×15.7	
9	田中恭吉	死の支配者の微笑(私輯『月映』I [推定])	1914(大正3)	木版、紙	22.8×15.5	
10	田中恭吉	別れ(私輯『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙	15.2×11.1	
11	田中恭吉	五月の咲(私輯『月映』IV)	1914(大正3)	木版、紙	15.7×10.7	
12	田中恭吉	月映マーク	1915(大正4)	インク、紙	4.4×4.5	
13	田中恭吉	恩地孝四郎宛あて書簡(大正4年2月11日付)	1915(大正4)	インク、紙	18.8×27.3	
14	恩地孝四郎	【失題】	1914(大正3)	木版、紙	24.1×17.4	
15	恩地孝四郎	キリストとマリア(私輯『月映』III [推定])	1914(大正3)	木版、紙	23.9×17.5	
16	恩地孝四郎	徂春(私輯『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙	13.0×11	
17	恩地孝四郎	望と怖(私輯『月映』IV [推定])	1914(大正3)	木版、紙	15.1×11	
18	恩地孝四郎	うかむ種子	1914(大正3)	木版、紙	19.2×12	
19	藤森静雄	春(私輯『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙	12×17.8	
20	藤森静雄	よる(私輯『月映』III [推定])	1914(大正3)	木版、紙	18×12.8	
21	藤森静雄	夜のピアノ	1914(大正3)	木版、紙	22.7×15.6	
22	藤森静雄	灯のまえ	1914(大正3)	木版、紙	23.7×15.9	
23	藤森静雄	二の心(私輯『月映』IV)	1914(大正3)	木版、紙	24.8×13.2	
24	藤森静雄	さみしき生のうた(私輯『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙	16.5×11.1	
25	藤森静雄	妹は病みぬ(公刊『月映』II)	1914(大正3)	木版、紙	19.6×9	
26	藤森静雄	若き日	1914(大正3)頃	木版、紙	17.9×12	
27	藤森静雄	人類(私輯『月映』VI)	1914(大正3)	木版、紙	14.9×15	
28	藤森静雄	私輯『月映』I(たとう)	1914(大正3)		30.5×24.2	
29	藤森静雄	私輯『月映』II(たとう、目次)	1914(大正3)		30.5×24.4(たとう)/26.5×19.7(目次)	
30	藤森静雄	公刊『月映』創刊チラシ	1914(大正3)		15.7×22	
31	藤森静雄	公刊『月映』I	1914(大正3)年9月18日発行	冊子	25.8×19	
32	藤森静雄	公刊『月映』IV 死によりて挙げらるる生	1915(大正4)年1月28日発行	冊子	26.3×19	
33~48	ダイン、ジム、フリードランダー、リー	《同じ家で生まれた作品》写真と銅版画の作品集	1969(昭和44)	写真、エッチング、紙	各46×76(16点)	
49	前川藤四郎	『新日本百景』白浜(和歌山県)	1940(昭和15)	木版、紙	25.3×32.7	
50	前川千帆	『新日本百景』諱八丁(和歌山県)	1938(昭和13)	木版、紙	22.8×30.7	
51	武田新太郎	『新日本百景』保津峡(京都府)	1939(昭和14)	木版、紙	23×30.3	
52	旭泰宏	『新日本百景』三条大橋の雨(京都市)	1939(昭和14)	木版、紙	22.8×30.2	
53	麻田耕次	『新日本百景』琵琶湖(滋賀県)	1939(昭和14)	木版、紙	22.6×30.3	
39	川西英	『新日本百景』神戸港(兵庫県)	1940(昭和15)	木版、紙	22.8×30	
40~51	『インダミタブル・スピリット(ボートフォリオII)』1991(平成3)刊行					
40	ホルツァー、ジェニー	サバイバルシリーズ(1983-85)より	1990(平成2)	クロス貼、箔押(たとう)	65.2×54.6	
41	バーニー、ティナ	息子	1987(昭和62)	カラープリント	50.8×60.9	
42	チャールズワース、サラ	エゴ	1991(平成3)	チバクロームプリント	59.4×48.8	
43	ジャール、アルフレッド	無題	1990(平成2)	トランスペレンシー、蛍光灯ライトボックス	61×50.8	
44	マジョール、フランク	ポピー	1989(平成元)	チバクロームプリント	61×50.8	
45	マクダーモット&マッゴウ	キリスト 1898	1991(平成3)	パラシウムプリント	39.9×30.2	
46	ルフ、トマス	星座	1990(平成2)	Cプリント	58.8×61	
47	セラーノ、アンドレ	血と精液V	1990(平成2)	チバクロームプリント	50.8×61	
48	シンプソン、ローナ	仕切りと時間	1991(平成3)	ゼラチンシルバープリント	50.9×61.1	
49	ウォール、ジェフ	感情の爆発	1989(平成元)	チバクロームプリント	45.9×61.5	
50	ウェリング、ジェイムス	無題	1981(昭和56)	プラチナパラジウムプリント	31.8×26.8	
51	ウイトン、ジョエル・ピーター	愚者たちの饗宴	1991(平成3)	フォトグラビューエッチング	28.1×34.2	
52	ボイル、マーク	黒いふち石の研究	1980-81(昭和55-56)	彩色、ファイバーグラス	182.4×183.2	
53	ブラック、ジョルジュ	コンポジション(静物I)	1911(明治44)/1950(昭和25)刷り	銅版、紙	34.7×21.8	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
54	ニコルソン, ベン	無題	1965(昭和40)	インク、紙・油彩、板	63×46	個人蔵
55	ニコルソン, ベン	2つのトルコ風な形のあいだのトルコ風の日時計	1967(昭和42)	銅版、紙	34.5×25.2	
56	ヘップワース, バーバラ	糸を張った円板(太陽)	1969(昭和44)	ブロンズ、紐	高さ: 48	
57	ヘップワース, バーバラ	二つの原始形態	1970(昭和45)	シルクスクリーン、紙	77.2×58.1	
58	ムア, ヘンリー	横たわる像	1938(昭和13)[铸造後年]	ブロンズ	高さ: 6.5	個人蔵
59	ムア, ヘンリー	3つの立っている像	1953(昭和28)	ブロンズ	高さ: 25, 24.5, 24.8	個人蔵
60	ムア, ヘンリー	建築的背景の横たわる像 III	1967(昭和42)	リトグラフ、紙	24.3×30.5	
61	ムア, ヘンリー	立っている像と横たわる像	1950(昭和25)	リトグラフ、紙	29.8×24.8	
62~66	『余白に書く－志水楠男讃』					
62	フランシス, サム	無題	1979(昭和54)	リトグラフ、紙	56×46	
63	ティンゲリー, ジャン	無題	1981(昭和56)	リトグラフ、紙	21.2×29.6	
64	オルデンバーグ, クラエス	鉢	1981(昭和56)	銅版、紙	33.8×25	
65	ジョーンズ, ジャスパー	せみ	1979(昭和54)	シルクスクリーン、紙	44.9×34.3	
66	クリスト	ピンク色にした店構え	1980(昭和55)	リトグラフ、コラージュ、紙	57×45.8	
67	クリスト	梱包されたポン・ヌフ/パリのプロジェクト	1985(昭和60)	鉛筆、木炭、パステル他、紙	150×245.3	
2	美術と文学の共演					
68	川端龍子	芭蕉翁	1923(大正12)	顔料、紙	71.9×84.3	
69	早川良雄デザイン	句画集『芭画』たとう	1956(昭和31)	印刷、紙	32.2×25.9	
70	泉茂	句画集『芭画』より(俳句: 山口誓子)	1956(昭和31)	銅版、紙	31.1×50.6	
71	泉茂	句画集『芭画』より(俳句: 山口誓子)	1956(昭和31)	銅版、紙	31.1×50.6	
72	泉茂	句画集『芭画』より(俳句: 山口誓子)	1956(昭和31)	銅版、紙	31.1×50.6	
73	村井正誠	『芭蕉句より』一集「能なしの寝たし 我をぎやうぎやうし」	1992(平成4)	銅版、リトグラフ、紙	45.5×60.7	
74	村井正誠	『芭蕉句より』一集「よごれて 寒し こいねづみ」	1992(平成4)	銅版、リトグラフ、紙	45.5×60.7	
75	村井正誠	『芭蕉句より』一集「五月雨に 鳩の浮巢を見に行む」	1992(平成4)	銅版、リトグラフ、紙	45.5×60.7	
76	村井正誠	『芭蕉句より』一集「蚊も虫も 不破の闇」	1992(平成4)	銅版、リトグラフ、紙	45.5×60.7	
77	村井正誠	『芭蕉句より』一集「わが色 黒き 日数哉」	1992(平成4)	銅版、リトグラフ、紙	45.5×60.7	
78	野長瀬晩花	一茶遺跡と四季句集	1942(昭和17)頃	墨、顔料、紙(画帖)	24×16.8(一面)	
79	橋口五葉 婦丁	森鷗外訳『八十手話』	1913(大正2)年5月25日発行	冊子		個人蔵
80	谷中安規 装画	佐藤春夫著『FOU』	1936(昭和11)年4月20日発行	冊子(挿画: 木版)		
81	若林奮	LIVRE OBJET V	1971(昭和46)	鉛、鉛、紐、本(吉増剛造著『頭脳の塔』)	24.8×30.8×10	
82~94	グリ, サルヴァドール	『雅歌』	1971(昭和46)	銅版、手彩色、紙	56.5×76(13点)	
*灘口修造の周辺						
95	ミロ, ジョアン	ふたりの人間	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	81.2×54	個人蔵
96	エルンスト, マックス	太陽、都市の全景	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	30.5×24	
97	灘口修造	デカルコマニー	制作年不詳	インク、紙	19.9×13.8	
98	灘口修造	「サム・フランシスと共に」『サム・フランシス「ブルー」展』パンフレット原稿	1961(昭和36)	インク、原稿用紙	各25.1×35.9(4枚)	
99	灘口修造	『ミロ』(西洋美術文庫)	1940年3月25日発行	冊子	18.6×12.6	個人蔵
100	フランシス, サム	ブルー	1960~61(昭和35~36)	不透明水彩、紙	41.2×30.6	個人蔵
101	フランシス, サム	ひどいつっかい棒	1960(昭和35)	リトグラフ、紙	89.1×63.1	
102	南画廊 編	『サム・フランシス「ブルー」展パンフレット』	1961(昭和36)	冊子	31×21	
103	南画廊 編	『加納光於展リーフレット』	1960(昭和35)	冊子	19.2×17	
104	ジョーンズ, ジャスパー	4つの顔のある標的	1979(昭和54)	銅版、紙	59.7×46.4	個人蔵
105	デュシャン, マルセル	プロフィールの自画像	1958(昭和33)	色紙、ベルベット	33.3×25.3	
106	加納光於	星・反芻学	1962(昭和37)	銅版、紙	33×67.6	
107	オノサト トシノブ	作品 K	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	45.7×53.2	個人蔵
108	加納光於、大岡信	アララットの船あるいは空の蜜	1971~72(昭和46~47)	木、金属、ガラスほか	68×44.7×23.6	
109~114	灘口修造 編	『マルセル・デュシャン語録』	1968(昭和43)	冊子、版画ほか	33.2×26×1.6 冊子	個人蔵
110	デュシャン, マルセル	横向きの自画像	1967(昭和42)	印刷、紙	29.3×23	
111	デュシャン, マルセル	ウイルソン・リンクーン・システムによるローズ・セラヴィ	1967(昭和42)	プラスチック、ボード	32.7×25.7	
112	ジョーンズ, ジャスパー	夏の批評家	1966(昭和41)	アセテート、エンボス、紙	24.9×31.8	
113	ティンゲリー, ジャン	コラージュ・ドローイング	1967(昭和42)	印刷、紙	30.9×23.6	
114	荒川修作	静物	1967(昭和42)	シルクスクリーン、印刷、紙	33×26	
115~121	灘口修造の詩による版画集『スフィンクス』(表紙デザイン: 山城隆一)		1954(昭和29)	冊子	29.6×24.5(たとう)	
116	北川民次	地球創造説	1954(昭和29)	銅版、紙	8.7×6.7	
117	瑛九	5月のスフィンクス	1954(昭和29)	銅版、紙	17.8×11.8	
118	泉茂	睡魔	1954(昭和29)	銅版、紙	16.9×14.4	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考	
119	加藤正	岩石は笑った	1954(昭和29)	銅版、紙	11.9×12.2		
120	利根山光人	妖精の距離	1954(昭和29)	リトグラフ、紙	18.8×11.7		
121	青原俊子	魚の慾望	1954(昭和29)	木版、紙	16.2×15.7		
3	版画芸術の饗宴						
122	ピカソ, パブロ	泣く女	1937(昭和12)	銅版、紙	72.3×49.3		
123	藤島武二 製画/伊上凡骨	影版	与謝野鉄幹・晶子著『毒草』	1904(明治37)年5月29日発行	木版、紙(冊子)	14.6×14.8	
124	石井柏亭	柳ばし『東京十二景』	1910(明治43)	木版、紙	33.2×23.7		
125	石井柏亭	よし町『東京十二景』	1910(明治43)	木版、紙	33.7×20.6		
126	石井柏亭	日本ばし『東京十二景』	1915(大正4)頃	木版、紙	34.5×21.7		
127	ロートレック, アンリ・ド・トゥールーズ	アリストディ・ブリュアン	1893(明治26)	リトグラフ、紙	139×99.8	個人蔵	
128	橋口五葉	化粧の女	1918(大正7)	木版、紙	51.2×36.3		
129	橋口五葉	髪梳ける女	1920(大正9)	木版、紙	44×32.7		
130	橋口五葉	長襦袢を着たる女	1920(大正9)	木版、紙	47.1×13.5		
131	ティソ, ジェームズ	海辺にて	1880(明治13)	銅版、紙	38×14	個人蔵	
132	ティソ, ジェームズ	ベルト	1883(明治16)	銅版、紙	35.4×27.4	個人蔵	
133	ティソ, ジェームズ	『放蕩息子』遠い国々にて	1882(明治15)	銅版、紙	31.1×37.1	個人蔵	
134	ラウシェンバーグ, ロバート スカイ・ガーデン		1969(昭和44)	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	225.2×106.9		
135	ラウシェンバーグ, ロバート	自由の女神	1983(昭和58)	葉書、シルクスクリーン、紙	90.7×61.2	個人蔵	
136	ジョーンズ, ジャスパー	旗	1960(昭和35)	鉛	48.2×53.4		
137	ステラ, フランク	タラデガIII(サークル・シリーズ)	1982(昭和57)	銅版、紙	166×131.2		
138	リキテンシュタイン, ロイ	二つの絵画: ダッグウッド	1984(昭和59)	木版、リトグラフ、紙	129.2×91.4		
139	ホックニー, デヴィッド	グレゴリーのイメージ	1985(昭和60)	リトグラフ、コラージュ、紙	221×104		
140	ホックニー, デヴィッド	天候シリーズ 太陽	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	94.8×77.8		
141	ホックニー, デヴィッド	天候シリーズ 雨	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	99.8×80.5		
142	ホックニー, デヴィッド	天候シリーズ 雪	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	101.8×85.1		
143	ホックニー, デヴィッド	天候シリーズ 風	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	101.7×78.6		
144	ホックニー, デヴィッド	天候シリーズ 霧	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	94.1×81.2		
145	ホックニー, デヴィッド	天候シリーズ 雷	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	100×80.4		
146	ロゼンクライスト, ジェームズ	スペース・ダスト	1989(平成元)	リトグラフ、コラージュ、紙	169×267.5		
147	ノグチ, イサム	雲の山	1982(昭和57)	酸化処理した鉄	高さ: 176		



## 2-3. 彼岸の美術

会期：2008(平成19)年11月2日(日)～12月14日(日)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

会場：展示室C(2階)

入场料金：一般500円(400円)、大学生300円(250円) ( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料  
内容：「彼岸」は彼方の岸、あの世、理想あるいは悟りの世界を意味する。美術作品には、現実を映し出す機能とともに、私たちの日常(此岸)から彼岸へ開かれた窓のような存在であり、精神の高みへと私たちを導くものもある。この展覧会では、もう一つの世界を提示するものとしての美術作品という視点から、コレクションを見直し、「黄昏の時」「線描の彼方へ」「版の精神」「もうひとつの世界」「こちらとあちらのあいだに」のコーナーにより、作品を紹介した。

成果と課題：「彼岸」という美術のある意味本質をあらわすキーワードにより作品を絞り込んだこと、作品どうしが響きあう展示を心がけ、例えばマーク・ロスコと杉本博司の海景シリーズを同部屋に展示するなどの試みなどが好評を得た。また作家の言葉を作品とともに配置したことでも効果があった。コレクションに加えて、人間の知覚を揺さぶるような体験型の作品まで広げての展示が可能であればよかったですがかなわず、次回の課題である。

担当学芸員：奥村一郎

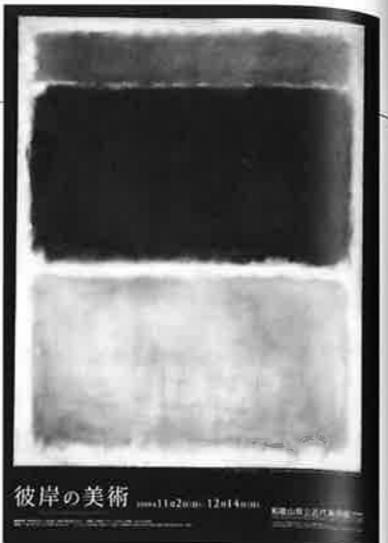
関連事業：ミュージアムトーク(展覧会解説) 11月16日(日)、11月24日(月・休)、12月7日(日)、12月14日(日) 奥村一郎

印刷物：・ポスター(B2判)

・ちらし(A5判)

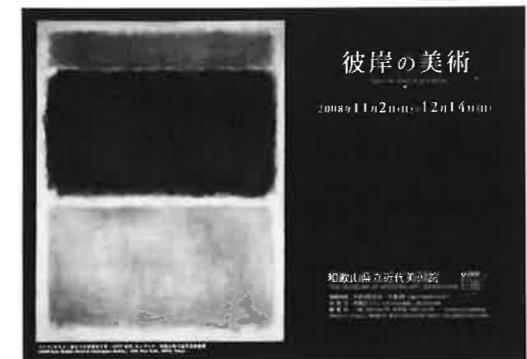
・出品目録(A4判 4頁)

関連記事：  
 •『紙上ミュージアム』114 オディロン・ルドン《聖アントワーヌの誘惑(第3集)より》『わかやま新報』2008年10月29日、1面  
 •「彼岸を照らす作品100点 あすから近代美術館」『ニュース和歌山』2008年11月1日、4面  
 •「『彼岸の美術』開催 県立近代美術館で」『白浜新聞』2008年11月8日、2面  
 •「神秘的な絵画や版画 企画展『彼岸の美術』県立近代美術館」『紀伊民報』2008年11月8日、8面  
 •『紙上ミュージアム』115 杉本博司《カリブ海 ジャマイカ》『わかやま新報』2008年11月12日、1面  
 •『『展覧会』彼岸の美術』『ニュース和歌山』増刊、2008年11月14日、5面  
 •『『彼岸の美術』展 県立近代美術館12月14日まで開催』『白浜新聞』2008年11月15日、2面  
 •『『会と催し』彼岸の美術』『中外日報』2008年11月18日、4面  
 •「文化・芸術 夢見るような線描など紹介 企画展『彼岸の美術』近代美術館で開催中」『わかやま新報』2008年11月19日、3面  
 •『『展覧会ピックアップ』彼岸の美術』『びあ関西版』660、2008年11月20日、96頁  
 •「WAKAYAMA "Open the Doors of Perception"」『THE JAPAN TIMES』2008年11月20日、18面  
 •「日常と別の世界へ 油彩画など134点『彼岸の美術』展 県立近代美術館」『毎日新聞』2008年11月21日、26面  
 •「『彼岸の美術』『地域創造レター』164、2008年11月25日発行、10頁  
 •『紙上ミュージアム』116 エドヴァルド・ムンク《骸骨の腕のある自画像》『わかやま新報』2008年11月26日、1面  
 •『『イベントカレンダー』和歌山県立近代美術館 彼岸の美術』『博物館研究』43-11、2008年11月号、34頁  
 •『『展覧会ピックアップ』彼岸の美術』『びあ関西版』661、2008年12月4日、98頁  
 •「彼岸テーマに134点 稲田画伯作『帰り路』も 田辺市出身14日まで県立近代美術館」『読売新聞』2008年12月5日、28面  
 •「『彼岸の美術』展 もうひとつの世界を呈示」『黒潮タイムス』2008年12月5日、2面  
 •「紙上ミュージアム 彼岸の美術」『わかやま新報』2008年12月10日、1面  
 •「イベントカレンダー 彼岸の美術(和歌山県立近代美術館)」『ニュース和歌山増刊』2008年12月12日、5面  
 •『『展覧会ピックアップ』彼岸の美術』『びあ関西版』662 2008年12月18日、92頁  
 •小吹隆文「レビュー 彼岸の美術」『artscape』2008年12月、webマガジン  
 •奥村一郎「PREVIEW 彼岸の美術」『美術の窓』2008年12月号、p.143  
 •「もうひとつの世界を照らす 彼岸の美術」『月刊書道情報誌 書道界』2008年12月号、p.57



ポスター

- ・VISUAL ARTS Wakayama WAKAYAMA KENRITSU KINDAI BIJUTUKAN』『KANSAI TIME OUT』2008年12月号、27頁
- ・「彼岸の美術」『L magazine』405、2008年12月1日、134頁
- ・「Art 和歌山県立近代美術館 彼岸の美術」『南海沿線ガイド』11・12月号



ちらし

### 「彼岸の美術」出品目録

(所蔵先表記のない作品は当館蔵です)

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
I. 黄昏の時						
1	ムンク、エドヴァルト	骸骨の腕のある自画像	1895(明治28)	リトグラフ、紙	45.6×32	
2	ムンク、エドヴァルト	病める子	1896(明治29)	リトグラフ、紙	42.0×52	
	ルドン、オディロン	『聖アントワーヌの誘惑 第3集』	1896(明治29)	リトグラフ、紙		
3		扉			56.5×39.8	
4		聖アントワーヌ：主よ！ 助けたまえ！			22.7×13.2	
5		そしていたるところに玄武岩の円柱がある……光線が丸天井から射してくる			24.2×19	
6		わたしの接吻には、おまえの心のなかでとろける果実の味わいがある……			20×16.5	
7		私を馬鹿にするのだね！さようなら！				
8		花々が散一落ちる。そして一匹の錦蛇の頭が現われる			26×19.7	
9		ものかげでは、人々が泣いたり祈禱したりしている。その周囲を取巻いて、彼らを激励する人々がいる……			26.5×21.5	
10		……そして彼は、不毛の起伏の多い原野を認める			25.1×19.9	
11		彼女は懐から真黒な海綿をとり出して、それを接吻で覆う			19.2×15.3	
12		……わたしは孤独のうちに沈んだ。わたしはうしろの木に住んでいたのだ。			30×22.6	
13		ヘレーナ(エンノイヤ)			9.3×8.3	
14		たちまち三人の女神がおどり出る			21.8×16.5	
15		大智はわがものとなった！ 私は仏陀になった！			32×22	
16		……そして頭を持たない眼が軟體動物のように漂っていた			31×22	
17		オアンヌス：混沌の最初の意識であるわたしは、物質を固くし、形体を定めるために、深淵からおどりでてきた			28×21.8	
18		ここにいますよお恵み深い女神様、山にいますイダの女神だ			15×13	
19		私はいつまでも偉大なイシス！まだ誰も私のペールをかけたものはいない！			28.4×20.5	
20		私の果実が太陽なのだ！				
21		かれはまっかさまに深淵へおちてゆく			27.7×21.2	
22		アントワーヌ：これらすべての目的は何だろう？ 悪魔：目的などはないのだ！			31×25	
23		老婆：何が怖いのだ？ 大きな暗い穴じゃないか！ 中はからっぽさ、きっと			16.5×10.8	
24		死神：わたしのおかげで、お前も本気になることができるのだ。さあ抱きあおう！			30.3×21.4	
25		……私は、時おり、空に精霊の形のようなものをみとめたことがあった			26.5×18.1	
26		革袋のようつまり、海の獣たち			31×23.2	
27	駒井哲郎	さまざまな住民が大洋の国々にすんでいる			22.3×19.3	
		ついに太陽が現われる……そしてまるい太陽のただなかに、イエス・キリストの顔が光りかがやく			27.5×20	
		孤独な鳥	1948(昭和23)	銅版、紙	11.7×8.2	



No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----

28	駒井哲郎	夢の始まり	1949(昭和24)	銅版、紙	9.4×12.8	
29	駒井哲郎	夢の場と閃光現象	1949(昭和24)	銅版、紙	12×14.6	
30	駒井哲郎	夢の推移	1950(昭和25)	銅版、紙(雁皮刷)	12.5×15.5	
31	駒井哲郎	東の間の幻影	1951(昭和26)	銅版、紙(雁皮刷)	17.4×29.4	個人蔵
32	駒井哲郎	作品	1951(昭和26)頃	銅版、紙	17.3×14.7	
33	駒井哲郎	海底の祭	1954(昭和29)	銅版、紙	23.8×17.2	
34	駒井哲郎	果実の受胎	1959(昭和34)	銅版、紙	26.4×36.2	
35	駒井哲郎	夜の芽生え(Germination)	1959(昭和34)	銅版、紙	26.5×36.2	
36	駒井哲郎	星座	1962(昭和37)	銅版、紙	27×35.8	
37	フォートリエ、ジャン	黒い背景の人質たち	1944(昭和19)	銅版、紙	23.6×32.5	
38	フォートリエ、ジャン	青の上の裸体	1955(昭和30)	銅版、紙	53.5×47.7	
39	稗田一穂	帰り路	1981(昭和56)	顔料、紙	193.8×166.5	

#### 2. 線描の彼方へ

40	クレー、パウル	綱渡り	1923(大正12)	リトグラフ、紙	43.8×26.9	
41	クレー、パウル	高い、高い！	1928(昭和3)	銅版、紙	23×22.8	
42	クレー、パウル	内なる光の聖女	1921(大正10)	リトグラフ、紙	30×17.5	
43	クレー、パウル	小さな世界	1914(大正3)	銅版、紙	14.5×9.7	
44	難波田史男	スモッグの彼方の蜃気楼	1966(昭和41)	水彩、インク、紙	76.9×109.4	
45~62	難波田史男	銅版画集「ある日の幻想」より	1963-73(昭和38-48)	銅版、紙	各44.9×31.6(18点)	
63	難波田史男	作品	1966(昭和41)	インク、紙	66.4×90.8	
64	難波田史男	作品	1966(昭和41)	インク、紙	74.2×109.2	
65	難波田史男	作品	1966(昭和41)	インク、紙	73.8×106.6	
66	難波田史男	作品	1966(昭和41)	インク、紙	76.7×108.8	
67	難波田史男	作品	1966(昭和41)	インク、紙	68×81	
68	難波田史男	作品	1963(昭和38)	インク、紙	31.3×101.5	
69	孫雅由	記憶の痕跡 P84-31	1984(昭和59)	鉛筆(フロッタージュ)、藁半紙	145.5×112	
70	孫雅由	記憶の痕跡 P84-33	1984(昭和59)	鉛筆(フロッタージュ)、藁半紙	145.5×112	
71	閑根勢之助	絵画時間 Dark Grey 20min	1985(昭和60)頃	インク、紙	79.4×61	
72	閑根勢之助	絵画時間 Grey 2-6-18min	1985(昭和60)頃	インク、紙	79.4×61	
73	白木ゆり	Sound -10	1999(平成11)	銅版、紙	174×117	
74	浅野弥衛	無題	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	72.5×90.8	
75	浅野弥衛	無題	1981(昭和56)	油彩、キャンバス	72.8×91	

#### 3. 版の精神

76	瀧口修造	無題	制作年不詳	インク(デカルコマニー)、紙	19.9×13.8	
77	加納光於	星・反芻学	1962(昭和37)	銅版、紙	45.2×42.3	
78	加納光於	星・反芻学	1962(昭和37)	銅版、紙	42.2×37.6	
79	加納光於	星・反芻学	1962(昭和37)	銅版、紙	45×42.2	
80	加納光於	星・反芻学	1962(昭和37)	銅版、紙	33×67.6	
81~92	加納光於	石版画集「稻妻捕り」PF1-12(12点組)	1977(昭和52)	リトグラフ、紙	PF1-2: 59.2×46.2, PF3-12: 62.1×50.2	
93	加納光於	ソルダード・ブルー	1964(昭和39)	銅版、紙	68.2×50.2	
94	加納光於	ソルダード・ブルー	1965(昭和40)	銅版、紙	45.4×42.4	

#### 4. もうひとつの世界

95	瑛九	フォトデッサン	制作年不詳	フォトデッサン、印画紙	20.2×25.2	
----	----	---------	-------	-------------	-----------	--

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
96	瑛九	愛撫	1951(昭和26)	フォトデッサン、印画紙	26.3×21.9	
97	瑛九	犬と女	1950(昭和25)	フォトデッサン、印画紙	21.9×28.1	
98	木村秀樹	Pencil 2-1	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	26.3×35.4	
99	木村秀樹	Pencil 2-2	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	26.5×23.9	
100	木村秀樹	Pencil 2-3	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	69.3×74.8	
101	吉田克朗	Work 8	1970(昭和45)	シルクスクリーン、紙	72.7×75.1	
102	吉田克朗	Work 9	1970(昭和45)	シルクスクリーン、紙	55.5×85.6	
103	吉田克朗	Work 31	1971(昭和46)	シルクスクリーン、紙	178×119.6	
104	野村仁	自転と重力	1982-84(昭和57-59)	写真	26.7×33.4×19.4	
105	工藤哲巳	未来と過去の間での遺伝染色体による綾取り	1979(昭和54)	ミクストメディア	57.2×49.2	
106	中林忠良	転位'82-地-I(冬)	1982(昭和57)	銅版、紙	57×49	
107	中林忠良	転位'82-地-II(秋)	1982(昭和57)	銅版、紙	56.5×50.5	
108	中林忠良	転位'82-地-III(冬)	1982(昭和57)	銅版、紙	220×476×30	
109	戸谷成雄	森	1986(昭和61)	木、アクリル	右: 155×30×36、左: 155×32×38	個人蔵
110	戸谷成雄	森化 IX	2004(平成16)	木、灰、アクリル		



## 2-4. 美術百科「この人はだれ」の巻 コレクションによる全館展示

会期：2008(平成19)年12月23日(火・祝)～2009(平成21)年4月12日(日)

[前期] 12月23日(火・祝)～2009(平成21)年2月15日(日)

[後期] 2009(平成21)年2月24日(火)～4月12日(日)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始：12月30日(火)～1月3日(土)、

展示替期間：2月17日(火)～2月22日(日)

会場：展示室A・B・C(全館) [展示室Cは1月4日(金)～]

入場料金：一般310円(250円)、大学生210円(160円) ( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料

内容：当館のコレクションをさまざまな切り口で紹介する全館展示「美術百科」シリーズの7回目。今回は、作品にまつわるさまざまな人物について、問い合わせていく展覧会である。描かれている人物はだれなのか、描いた人物はどんな人なのかといった問い合わせを、作者自身、家族、友人、物語の登場人物、歴史上の有名人などのコーナーに分け、作品の背景とともに紹介した。

担当学芸員：浜田拓志、寺口淳治、奥村泰彦、井上芳子、植野比佐見、奥村一郎、宮本久宣

関連事業：ミュージアムトーク(展覧会解説) 1月11日(日)奥村一郎、1月18日(日)奥村泰彦、2月8日(日)井上芳子、

2月15日(日)植野比佐見、3月1日(日)宮本久宣、3月15日(日)浜田拓志、3月22日(日)寺口淳治

印刷物：・ポスター(B2判)

・案内はがき(A5判)

・出品目録(A4判4種)

関連記事：・「美術百科「この人はだれ」の巻」『産経新聞』2008年12月19日、24面

・「美術館・博物館 和歌山県立近代美術館 美術百科「この人はだれ」の巻」『朝日新聞』2008年12月24日、7面

・「美術百科「この人はだれ」の巻」『L magazine』406、2009年1月1日、135頁

・「美術百科「この人はだれ」の巻」『ギャラリー』2009年1月号、2009年1月1日、192頁

・「「この人は誰？」所蔵作品紹介展 県立近代美術館」『読売新聞』2009年1月7日、35面

・「『紙上ミュージアム』118 森村泰昌『美術史の娘 王女A』」『わかやま新報』2009年1月7日、1面

・「人間は美的主役「この人はだれ」県立近代美術館」『朝日新聞』2009年1月10日、31面

・「作品人物を読み解く 作者との関係、時代背景など 版画や写真150点」『毎日新聞』2009年1月15日、24面

・「カードで「この人はだれ」県立近代美術館が鑑賞用教材」『読売新聞』2009年1月19日、33面

・「鑑賞用カードが完成 近代美術館「この人はだれ」展」『わかやま新報』2009年1月21日、7面

・「『展覧会ピックアップ』美術百科「この人はだれ」の巻」『ぴあ関西版』664、2009年1月22日、98頁

・「『紙上ミュージアム』119 浜口陽三《ジブシー》」『わかやま新報』2009年1月23日、1面

・「絵画楽しむきっかけに 子ども用に鑑賞カード制作」『ニュース和歌山』2009年1月24日、6面

・「美術百科「この人はだれ」の巻」『地域創造レター』166、2009年1月25日発行、9頁

・「「人」に焦点 所蔵作品190点 県立近代美術館 小学生向けパンフも」『産経新聞』2009年1月28日、23面

・「近代美術館「この人はだれ」展 カードで作品身近に 来館児童4000部配布」『朝日新聞』2009年1月29日、27面

・「WAKAYAMA "Art Encyclopedia Vol. 7 : Who is This Person ?"」『THE JAPAN TIMES』2009年1月30日、16面

・「『会と催し』美術百科「この人はだれ」の巻」『中外日報』2009年1月31日、2面

・「『ART』謎がすっきりする展覧会『美術百科「この人はだれ」の巻』『Agasus』2009年1月号、87頁

・「『カルチャーインフォメーション』和歌山県立近代美術館 美術百科「この人はだれ」の巻」『WACA-P』23、2009年1月発行

・「『Art』和歌山県立近代美術館 美術百科「この人はだれ」の巻」『南海沿線ガイド』・2月号

・「美術館へ行こうよ!! ちびっ子芸術家が増えている?」『わかやま新報』2009年2月1日、8面

・「『紙上ミュージアム』120 白髪一雄《地獄星 青眼虎》」『わかやま新報』2009年2月4日、1面

・「『展覧会ピックアップ』美術百科「この人はだれ」の巻」『ぴあ関西版』665、2009年2月5日、92頁

・「カメラの西本 田中さんの やっぱり写真は楽しい! vol.22 この人はだれ」『わかやま新報』2009年2月14日、6面



- ・「紙上ミュージアム」121 佐伯祐三《モラン風景》『わかやま新報』2009年2月18日、1面
- ・「没後10年 村井正誠をめぐる『つながり』「この人はだれ」の巻から」『わかやま新報』2009年2月18日、3面
- ・「見る楽しさ伝えたい 学芸員や和大生ら 子ども向けカード製作 クイズ・解説 鑑賞のヒント満載」『毎日新聞』2009年2月22日、26面
- ・「Weekend & ARTS MORE, THE MUSEUM MODERN ART, WAKAYAMA Through April 12 "Art Encyclopedia Vol.7 : Who is This Person ?"」『The Asahi Shimbun』2009年2月27日、26面
- ・「美術百科「この人はだれ」の巻」『美術の窓』305、2009年2月号、36頁
- ・「『紙上ミュージアム』122 トゥールーズ=ロートレック《アリストイド・ブリュアン》」『わかやま新報』2009年3月4日、1面
- ・「『展覧会ピックアップ』美術百科「この人はだれ」の巻」『ぴあ関西版』667、2009年3月5日、96頁
- ・「『展覧会ピックアップ』美術百科「この人はだれ」の巻」『ぴあ関西版』668、2009年3月19日、96頁
- ・「美術館、子どもに照準 楽しく展示、好奇心刺激 モダンアートに道案内」『日本経済新聞』2009年3月31日、7面
- ・「『紙上ミュージアム』124 保田龍門《母の像》」『わかやま新報』2009年4月1日、1面
- ・「『展覧会ピックアップ』美術百科「この人はだれ」の巻」『ぴあ関西版』669、2009年4月2日発行、106頁

### 「美術百科「この人はだれ」の巻」出品目録

(所蔵先表記のない作品は当館蔵です)

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
1.	この人はわたし?					
1.	シーガル, ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具他	高さ: 264,6	
2.	ルフ, トマス	肖像(P.フリース)	1988(昭和63)	写真	202,3×156,5	
3.	アルマンドー	Kopf 18-7-90	1990(平成2)	油彩、キャンバス	250,7×198,5	
4.	クルーガー, バーバラ	無題(私を覚えていて)	1988(昭和63)	シルクスクリーン、ビニール	378,7×268,1	
5.	シャーマン, シンディ	無題 #132	1984(昭和59)	写真	181×122,8	
6.	森村泰昌	肖像(娘II)	1988(昭和63)	写真	127,9×90,3	
7.	ウェッセルマン, トム	シースケープ #8	1966(昭和41)	アクリル、キャンバス	172,9×106,8	
8.	ジャール, アルフレッド	無題	1990(平成2)			
9.	岸田劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51,3×39,2	個人蔵
10.	高須光治	自画像	1915(大正4)	油彩、板	45,4×37,3	
11.	保田龍門	自画像	1915(大正4)	油彩、キャンバス	60,9×50,2	
12.	保田龍門	自画像	1913-14(大正2-3)頃	油彩、キャンバス	45,6×38,2	
13.	保田龍門	トルコ帽の自画像	1913-14(大正2-3)頃	油彩、キャンバス	45,6×38,6	
14.	寺中美一	自画像	1916(大正5)	油彩、キャンバス	45,7×33,6	
15.	松本俊介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162,2×112,5	個人蔵
16.	石垣栄太郎	自画像	1917(大正6)	油彩、キャンバス	46×37,3	
17.	原勝四郎	道化	1941(昭和16)	油彩、ホール紙	90,3×73,2	
18.	野長瀬晩花	夢ばかりみている男	1950(昭和25)	顔料、紙	48,3×36,2	~2月15日
19.	龜井藤兵衛(玄兵衛)	手鏡の自画像	1930(昭和5)	木版、紙	24,3×9,6	2月24日~
20.	森口宏一	自画像・顔	1973(昭和48)	フィルム、アクリル板、ステンレススチール、他	56,7×47,8×10,5	
21.	郭徳俊	フォードと郭(A)	1974(昭和49)	石版、紙	37×34,4	~2月15日
22.	デュシャン, マルセル	プロフィールの自画像	1958(昭和33)	色紙、ベルベット	33,3×25,3	2月24日~
23.	グロス, チャック	自画像	1983(昭和58)	ペーパーパルプ、キャンバス	136,8×101,9	



No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
2. この人は家族						
24	保田龍門	母の像	1915(大正4)	油彩、キャンバス	73×60.9	
25	保田龍門	父の像	1915(大正4)	油彩、キャンバス	73.2×61.3	
26	木下義謙	父の肖像	1926(昭和元)	油彩、キャンバス	65.2×50.2	
27	木下義謙	読書の母	1922(大正11)	油彩、キャンバス	41.2×32	
28	岸田劉生	麗子肖像	1920(大正9)	コンテ、水彩、紙	51.5×34	個人蔵 ~2月15日
29	原勝四郎	婦人像	1953(昭和28)	油彩、厚紙	72.6×60.4	2月24日~
30	マンズー、ジャコモ	ジュリア像	制作年不詳	ブロンズ	高さ:60	
31	渡部満	五月の由希子	1995(平成7)	油彩、金泥、テンペラ地、板	46.3×46.3	個人蔵
32	渡部満	ひわの聖母と由希子	1995(平成7)	油彩、金泥、テンペラ地、キャンバス	45.6×38.2	個人蔵
33	野田哲也	日記 1973年10月25日	1973(昭和48)	木版、シルクスクリーン、紙	50.7×71.3	~2月15日
34	野田哲也	日記 1977年8月10日	1977(昭和52)	木版、シルクスクリーン、紙	79×42.8	~2月15日
35	野田哲也	日記 1978年6月24日	1978(昭和53)	木版、シルクスクリーン、紙	79×42.6	~2月15日
36	野田哲也	日記 1972年10月2日	1972(昭和47)	シルクスクリーン、紙	52.7×38.6	2月24日~
37	野田哲也	日記 1978年8月11日	1978(昭和53)	木版、シルクスクリーン、紙	78.8×42.7	2月24日~
38	野田哲也	日記 1980年6月25日	1980(昭和55)	木版、シルクスクリーン、紙	84.8×44	2月24日~
39~54	高山辰雄	銅版画集『聖家族』より	1976(昭和51)	銅版、紙		
		1 (14.2×17.6)、2 (32.5×23.5)、3 (35.8×29.2)、4 (35.8×29.5)				
		5 (36×29.1)、6 (35.3×28.5)、7 (32×23.1)、8 (36.5×29.8)				
		9 (32.5×23.8)、10 (26.9×34.1)、11 (29.1×36)、12 (23.3×32.5)				
		13 (29.8×36.4)、14 (23.3×32.3)、15 (23.5×32.6)、16 (26.2×36.3)				
55	川口軌外	地図	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	155.5×195.5	
56	村井正誠	母と子	1952(昭和27)	油彩、キャンバス	162.3×131	
57	ピカソ、パブロ	母親の化粧	1905(明治38)	銅版、紙	23.7×18	個人蔵 ~2月15日
58	ピカソ、パブロ	サルタンバンク	1905(明治38)	銅版、紙	28.6×32.5	2月24日~



No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
3. この人は子ども						
59	大亦新治郎	陳列所内ニテ	1913(大正2)	鉛筆、紙	36.1×25.4	
60	浜地清松	暖炉	1911(明治44)	油彩、キャンバス	102.2×82.1	
61	建畠大夢	子供	1917(大正6) / 1994(平成6) 鋳造	ブロンズ	高さ91.5×37.5×20	
62	森村泰昌	美術史の娘、王女A	1990(平成2)	写真、透明メディウム	210.7×164.8	
63	奈良美智	どんまいQちゃん	1993(平成5)	木、彩色	高さ120×48.5×41.5	個人蔵
64	杉本、ヘンリー	幼いアメリカ人たち	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	161.7×130.5	
65	野田英夫	少女	1932(昭和7)	リトグラフ、紙	32×21.8	~2月15日
66	武井武雄	生命の構図	1940(昭和15)	木版、紙	18.5×13.4	2月24日~
67	谷中安規	観覧車	1933(昭和8)	木版、紙	16.9×23.2	



No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
4. この人のつながり						
68	村井正誠	強そうな人	1989(平成元)	油彩、キャンバス	227.4×182	
69	石井柏亭	滸船	1913(大正2)	不透明水彩、紙	52.5×73	個人蔵
70	正宗得三郎	波	1926(昭和元)	油彩、板	12.5×17.8	
71	石井柏亭	「散水夫」『方寸』3巻6号 表紙	1909(明治42)	冊子	31.2×23.2	
72	有島壬生馬(生馬)	「習作(赤き唇の少女)」『方寸』4巻6号 表紙	1910(明治43)	冊子	31.2×23.2	
73	与謝野寛 著	『相聞』	1910(明治43)	冊子(高村光太郎 装画)	19.4×13.1	
74	与謝野鈴幹(寛)、与謝野晶子著	『毒草』	1904(明治37)	冊子(藤島武二 装画)	14.6×14.8	
75	山下新太郎	臥婦	制作年不詳(1910年代)	油彩、キャンバス	79.5×140.7	個人蔵
76	梅原龍三郎	静浦(口野)風景	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	60.8×50.1	
77	佐伯祐三	モラン風景	1928(昭和3)	油彩、ボード	38×44.5	
78	佐伯祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60×73.1	
79	梅原龍三郎	小川(ブルター・ニュ風景)	1909(明治42)	油彩、キャンバス	24.6×32.4	個人蔵
80	ルノワール、オーギュスト	苺	制作年不詳	油彩、キャンバス	19.8×21.2	個人蔵
81	ヴラマンク、モーリス・ド	風景	制作年不詳	油彩、キャンバス	38.5×46.3	個人蔵
82	ドラン、アンドレ	[戸外での食事]	制作年不詳	油彩、キャンバス	27.1×24.2	個人蔵
83	マティス、アンリ	果物入れとオダリスク	1925(大正14)	リトグラフ、紙	33.2×25.5	個人蔵
84	マティス、アンリ	《10人の踊り子》より	1927(昭和2)	リトグラフ、紙	49.9×32.3	個人蔵
85	デュフィ、ラウル	コンポティエのある静物	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	65.2×81.2	個人蔵
86	田坂乾	北京蛋壇	1937(昭和12)	リトグラフ、紙	33×42.2	
87	田坂乾	西便門外(北京)	1938(昭和13)	リトグラフ、紙	28.2×33.2	
88	村井正誠	ロンバルディア	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	80.8×66	
89	村井正誠	水浴	1930(昭和5)	油彩、キャンバス	98.8×80.8	
90	村井正誠	姉妹	1930(昭和5)	油彩、キャンバス	100.1×81.1	
91	村井正誠	アラブの窓	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	80.9×196.5	
92	川口軌外	エスキース B	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	130.8×162.3	
93	園部邦香	二人	1928-30(昭和3-5)	油彩、キャンバス	117×91.3	個人蔵
94	浜地清松	裸婦	制作年不詳	油彩、キャンバス	98.8×80.5	
95	村井正誠	URBAIN No.1	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	112.2×194.2	
96	木下義謙	赤衣半身像	1931(昭和6)	油彩、キャンバス	91.4×73	
97	木下孝則	赤衣の女	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	72.9×53.2	
98	陪伊之助	望遠鏡	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	41.5×33.1	
99	村井正誠	ゴルフ・ジュアンの朝	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	145.3×112.1	
100	萬葉五郎	湘南風景	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	33.3×46	個人蔵
101	原精一	ブルターニュの女	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	80.3×60.6	個人蔵
102	里見勝藏	マダム Y.S.	1924(大正13)	油彩、キャンバス	64.7×53	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
5. この人はなに						
103	林義明	農夫	1915(大正4)頃	油彩、キャンバス	53.3×41	
104	松田文雄	老鍛冶屋	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	162×94.5	
105	杉本義夫	百姓	1932(昭和7)頃	木版、紙	23.9×23.6	~2月15日
106	杉本義夫	海女	1932(昭和7)	木版、紙	25.0×31.9	~2月15日
107	小野具定	漁夫	1977(昭和52)	銅版、紙	40.5×54.2	~2月15日
108	稗田一穂	東北の秋	1946(昭和21)	顔料、紙	179.7×124.8	~2月15日
109	平川清蔵	[買物婦人]	1932(昭和7)	リノカット、紙	22.9×17.8	~2月15日
110	川口軌外	魚商	1939(昭和14)頃	油彩、キャンバス	91.1×117.8	~2月15日
111	高井貞二	支那の市場	1939(昭和14)	油彩、キャンバス	129.5×160	~2月15日
112	杉本、ヘンリー	パン配達娘	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	91.8×72.6	~2月15日
113	建畠大夢	恩師の顔	1939(昭和14)	ブロンズ	高さ:36	~2月15日
114	小野忠重	船つくり	1965(昭和40)	木版、紙	60.5×45.5	2月24日~
115	江端芳市	地引込み	1932(昭和7)	木版、紙	28.8×34.8	2月24日~
116	江端芳市	海苔を拾う	1933(昭和8)	木版、紙	17.1×12.9	2月24日~
117	柴秀夫	農婦団	1932(昭和7)	木版、紙	9.9×9.4	2月24日~
118	山口八九子	花売り	1910(明治43)頃	顔料、紙	151×78	2月24日~
119	龟井玄兵衛	加茂の娘	1948(昭和23)	顔料、紙	197.4×152	2月24日~
120	川口軌外	魚商	1939(昭和14)頃	油彩、キャンバス	91.1×117.8	2月24日~
121~126	大宮昇	『墨山画譜』	1936(昭和11)	リトグラフ、紙		2月24日~
		1 表紙: 斜坑人車(23×26.5)、5 炭の流れ [3] 摂炭場(21.2×27.9)				
		8 炭層へ [1] 鑿岩機の男達(17×20.2)、9 炭層へ [2] 瓦斯のある坑内にて(19.5×27.3)				
		10 炭層へ [3] 坑内の捲場(20.2×28)、11 奥附: [横向きの坑夫] (18.3×7.9)	17×20.2			
127	ニコルソン、ウィリアム	『12人の肖像』3 ビスマルク	1899(明治32)	木版、紙	25×23.2	~2月15日
128	ニコルソン、ウィリアム	『12人の肖像』4 W.E.グラッドストーン	1899(明治32)	木版、紙	26.1×23.1	~2月15日
129	ニコルソン、ウィリアム	『12人の肖像』1 ヴィクトリア女王	1899(明治32)	木版、紙	25.1×22.8	2月24日~
130	中路規夫	6 P# MY ROMANCE-A, B, C,	1992(平成4)	シルクスクリーン、キャンバス	179.6×395.4	~2月15日
131	ハミルトン、リチャード	ブラック・クリスマスを夢見て	1971(昭和46)	シルクスクリーン他、紙	57.3×79	~2月15日
132	リキテンシュタイン、ロイ	メロディ	1965(昭和40)	シルクスクリーン、紙	69.2×58	~2月15日
133	恩地孝四郎	あるヴァイオリニストの印象(諏訪根白子像)	1948(昭和23)	木版、紙	40.6×32.7	~2月15日
134	恩地孝四郎	Maw主席像	1943(昭和18)	木版、紙	44.8×37.1	~2月15日
135	江端芳市	[サークス]	昭和初期	木版、紙	29.5×38.5	2月24日~
136	川西英	サークス	1933(昭和8)	木版、紙	25.8×36	2月24日~
137	川口軌外	シルク	1927-29(昭和2-4)	油彩、キャンバス	116.5×80.4	2月24日~
138	菊池 善二郎	[曲馬]	昭和初期	木版、紙	15.1×21.9	2月24日~
139	ニコルソン、ウィリアム	『12人の肖像』12 サラ・ベルナール	1899(明治32)	木版、紙	24.4×22.8	2月24日~
140	ニコルソン、ウィリアム	『12人の肖像』11 サー・ヘンリー・アーヴィング	1899(明治32)	木版、紙	26.2×30.5	2月24日~
141	ロートレック、アンリ・ド・トゥールーズ	アリストイド・ブリュアン	1893(明治26)	リトグラフ、紙	139×99.8	2月24日~
142	木下孝則	女優の像	1926(大正15)	油彩、キャンバス	91.2×72.9	
143	島村三七雄	カジノ・ド・パリの踊り子	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	80.5×65	
144	ラウシェンバーグ、ロバート	スカイ・ガーデン	1969(昭和44)	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	225.2×106.9	~2月15日
145	横尾忠則	横尾忠則展	1984(昭和59)	シルクスクリーン、紙	93.9×74.4	~2月15日
146	横尾忠則	終りの美学	1966(昭和41)	シルクスクリーン、紙	100.4×72.1	~2月15日
147	横尾忠則	A LA MAISON DE M. CIVEACAWA	1965(昭和40)	シルクスクリーン、紙	102×70.9	~2月15日
148	ヴァン・ドンゲン、キース	黒い服の婦人	1910年代	油彩、キャンバス	144.5×113	2月24日~
149	山本容子	Walking Worker-Warhol	1982(昭和57)	銅版、紙	45.1×60.4	2月24日~
150	山本容子	Dancing Drinker	1982(昭和57)	銅版、紙	54×60	2月24日~
151	建畠大夢	若き日の北村西望(胸像)	1911(明治44)	ブロンズ	高さ:25	2月24日~
152	川口軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	



No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
6. これは人の名前						
153	バターソン, サイモン	大熊座	1992(平成4)	リトグラフ、紙	109.3×134.7×5.2	~2月15日
154	森口宏一	ボッティチェリ・ヴィナスの誕生・より	1967(昭和42)	シルクスクリーン、アクリル板、ステンレススチール	87.9×134.4×12	2月24日~
155	白髪一雄	地察星 青眼虎	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	194×130.6	
156	中村不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人蔵
157~159	ケージ, ジョン	Déreau #16, #13, #9	1982(昭和57)	銅版、紙	各46.2×63.1(3点)	~2月15日
160	加藤正	愛しあって二人は殺された(ローゼンバーグ夫妻に捧ぐ)	1953(昭和28)	銅版、紙	36.2×20	~2月15日
161	ピアード, ピーター	ジョナス・メカスの映画美術館のためのポートフォリオ 16 サン・クエンティン	1972			
162	バラディーノ, ミンモ	アルカイオス	1982(昭和57)	写真	22.9×34.3	~2月15日
163	高原洋一	GEOMETRIC NARCISSUS AX	1988(昭和63)	シルクスクリーン、紙	141.5×199.5	2月24日~
164	クロス, チャック	フィル	1982(昭和57)	ペーパーバルブ	130.4×105.8	
165	リキテンシュタイン, ロイ	二つの絵画: グッグウッド	1984(昭和59)	木版、リトグラフ、紙	129.2×91.4	~2月15日
166	玉置正敏	盲人になったユークリッド氏	1978(昭和53)	油彩、キャンバス	162×260	~2月15日
167	深沢幸雄	ダンテ「新曲」<地獄篇> よりブルネット・ラティー二	1956(昭和31)	銅版、紙	35.8×28.9	2月24日~
168	清原啓子	詩人・クセノファネス	1981(昭和56)	銅版、紙	54.2×33.5	2月24日~
169	清原啓子	リチャード・ダッドに	1978(昭和53)	銅版、紙	35.8×27.9	2月24日~
170	森岡完介	Beethoven at the Beach-Message 86-9P	1986(昭和61)	シルクスクリーン、紙	70.3×105	2月24日~
171	森岡完介	Beethoven at the Beach-Message 86-11P	1986(昭和61)	シルクスクリーン、紙	70.3×105	2月24日~
172	木村秀樹	H君の水鳥	1983(昭和58)			
173	荒川修作	ムッシュー・テスト	1971(昭和46)	油彩、キャンバス	88.8×89.6	
174~176	グイン, ジム	ピカビア I, II, III	1971(昭和46)	リトグラフ、コラージュ、紙	各137.6×89.6(3点)	
177	横尾忠則	ピカビアーその愛と誠実 I, II, III	1989(平成元)	シルクスクリーン、紙	各147.7×95.5(3点)	
178	ピカビア, フランシス	無題『キュビスマについて』より	1947(昭和22)	銅版、紙	17.3×12.6	
179	デュシャン, マルセル	無題『キュビスマについて』より	1947(昭和22)	銅版、紙	17.4×7	



No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
7. 50年前、100年前						
180	田中恭吉	稻荷山附近	1909(明治42)	鉛筆、水彩、紙	14.6×24	~2月15日
181	田中恭吉	「雑賀崎」	1909(明治42)	色鉛筆、紙	16.6×23.3	~2月15日
182	田中恭吉	「雪景」	1908(明治41)頃	水彩、紙	22.9×30	~2月15日
183	田中恭吉	さくらさう	1909(明治42)	墨、水彩、花びら、紙	13.8×21	~2月15日
184	田中恭吉	あらはま	1909(明治42)頃	色鉛筆、鉛筆、水彩、紙	14.5×22.7	2月24日~
185	田中恭吉	「風景」	1909(明治42)	鉛筆、水彩、紙	24.1×18	2月24日~
186	田中恭吉	「写生する少年」	1909(明治42)	鉛筆、紙	16.4×22.1	2月24日~
187	田中恭吉	「子ども」	1908(明治41)頃	水彩、色鉛筆、紙	18.5×12.6	2月24日~
188	田中恭吉	「花」	1908(明治41)頃	水彩、紙	14.3×10	2月24日~
189	浜口陽三	ジプレー	1954(昭和29)	銅版、紙	28.7×28.7	~2月15日
190	浜口陽三	くるみ	1959(昭和34)	銅版、紙	54.2×23.6	~2月15日
191	浜口陽三	雲	1958(昭和33)	銅版、紙	26.2×49	2月24日~
192~197	浜口陽三	版画集「Yozo Hamaguchi」	1974(昭和49)	銅版、紙		
		1 てんとう虫(4.6×4.6)、5 貝(6.6×6.6)、3 あじさい(5.5×5.5)				~2月15日
		2 蝶(4.7×4.7)、4 さくらんぼ(5.6×5.5)、6 ぶどう(6.6×6.4)				2月24日~
198	小野忠重	死を回る人々	1933(昭和8)	木版、紙	49.8×63	~2月15日
199	小野忠重	工場街	1935(昭和10)	木版、紙	48.5×48.5	~2月15日
200	小野忠重	瓦斯工場	1933(昭和8)	木版、紙	24.5×30.4	~2月15日
201	小野忠重	工場C	1930(昭和5)頃	木版、紙	12×14.8	~2月15日
202	小野忠重	【裏街】	1935(昭和10)頃	木版、紙	22×17.9	~2月15日
203	小野忠重	川	1957(昭和32)	木版、紙	34.8×30.2	~2月15日
204	小野忠重	なみ	1960(昭和35)	木版、紙	30.6×41	~2月15日
205	小野忠重	レニングラードの浮氷	1962(昭和37)	木版、紙	45.2×60.2	~2月15日
206	小野忠重	陽ざかり 姫路	1965(昭和40)	木版、紙	30.2×45.4	~2月15日
207	小野忠重	施療病院の廊下	1929(昭和4)頃	木版、紙	21.7×17.6	2月24日~
208	小野忠重	小野忠重版画集『工場』3	1932(昭和7)	木版、紙	11.2×14.9	2月24日~
209	小野忠重	小野忠重版画集『工場』4	1932(昭和7)	木版、紙	14.9×11.5	2月24日~
210	小野忠重	ガス工場	1931(昭和6)頃	木版、紙	14.6×22.5	2月24日~
211	小野忠重	市街	1934(昭和9)	木版、紙	24.6×30.8	2月24日~
212	小野忠重	空港の片隅 ニューデリー	1962(昭和37)	木版、紙	36×45.3	2月24日~
213	小野忠重	長崎の丘	1964(昭和39)	木版、紙	36×45.3	2月24日~
214	小野忠重	とり	1960(昭和35)	木版、紙	36.2×49.7	2月24日~
215	小野忠重	灯台の道	1951(昭和26)[1974年改作]	木版、紙	60.6×45.6	2月24日~
216	谷口薰美	【阿波人形】	制作年不詳	木版、紙	19.1×15.9	~2月15日
217	谷口薰美	【水浴】	制作年不詳	木版、紙	17.6×13	~2月15日
218	谷口薰美	【子どものいる風景】	1932(昭和7)	木版、紙	16.1×22.7	2月24日~
219	谷口薰美	首人形	制作年不詳	木版、紙	36.3×27.8	2月24日~
220	品川工	海辺	1949(昭和24)	木版、紙	26.1×29.8	~2月15日
221	品川工	転身	1959(昭和34)	木版、紙	55×40	~2月15日
222	品川工	ゆうぎ	1958(昭和33)	木版、紙	37.6×28.8	2月24日~
223	品川工	芽生え	1961(昭和36)	木版、紙	51.7×37	2月24日~
224	ヴァザレリ、ヴィクトル ピソール		1978(昭和53)	アクリル、キャンバス	141×112.2	
225	石垣栄太郎	ボーナス・マーチ	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	145.4×107	
226	リンク、サイモン	アート・コレクション 1986年10月	1987(昭和62)	油彩、キャンバス	182.8×182.8	
227	石井柏亭	茶店	制作年不詳	木版、紙	25.2×17.7	~2月15日
228	石井柏亭	『東京十二景』日本ばし	1915(大正4)頃	木版、紙	34.5×21.7	~2月15日
229	石井柏亭	『東京十二景』芝うら	1916(大正5)頃	木版、紙	33×22.3	~2月15日
230	石井柏亭	『東京十二景』下谷	1914(大正3)	木版、紙	34.6×21.1	2月24日~
231	石井柏亭	『東京十二景』新ばし	1915(大正4)頃	木版、紙	38.9×25.7	2月24日~
232	石井柏亭	落合	制作年不詳	木版、紙	24.5×17.6	2月24日~
233	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	コンテ、紙	45.5×35.2	~2月15日
234	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	コンテ、紙	42.8×35.2	~2月15日
235	石垣栄太郎	裸婦	1946(昭和21)	鉛筆、木炭、紙	37.9×50.7	~2月15日
236	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	鉛筆、墨、紙	35.2×42.8	~2月15日
237	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	鉛筆、インク、紙	35.2×42.8	~2月15日
238	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	インク、紙	34.9×42.4	~2月15日
239	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	鉛筆、インク、紙	35.5×43.3	~2月15日
240	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	鉛筆、墨、紙	35.5×43.3	~2月15日
241	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	コンテ、紙	42.5×35.2	2月24日~
242	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	墨、紙	43.4×35.6	2月24日~
243	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	コンテ、紙	42.7×35.2	2月24日~
244	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	インク、紙	34.8×42.3	2月24日~
245	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	コンテ、紙	35.2×45.5	2月24日~
246	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	墨、紙	43.3×35.6	2月24日~
247	石垣栄太郎	デッサン	制作年不詳	コンテ、紙	42.7×35.2	2月24日~



No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
7. おはなし、おはなし。						
248	カテリーナ・ドロテア・フィーマン夫人	ホックニー、デヴィッド『6つのグリム童話』より	1969(昭和44)	銅版、紙	29.1×23.8	~2月15日
249	めつけ鳥	森のある風景		銅版、紙	39.6×28.2	~2月15日
250	ばあさんのお料理人	ばあぐら、にえたつかまのお湯		銅版、紙	19.3×20.6	~2月15日
251	ぱらの草とばらの花	ぱらの草とばらの花		銅版、紙	18.5×21.1	~2月15日
252	教会堂と時計	教会堂と時計		銅版、紙	28.5×12.9	~2月15日
253	湖	湖		銅版、紙	28.5×13	~2月15日
254	野ちしゃ(ラブンツェル)	野ちしゃ(ラブンツェル)		銅版、紙	45.1×32.4	~2月15日
255	魔法使いの庭に生えている野ちしゃ	魔法使いの庭に生えている野ちしゃ		銅版、紙	44.7×33.4	~2月15日
256	庭には魔法使いがいた	庭には魔法使いがいた		銅版、紙	23.7×13.8	~2月15日
257	魔法使いとつれていかれたこども、ラブンツェル	魔法使いとつれていかれたこども、ラブンツェル		銅版、紙	27.1×24.2	~2月15日
258	美しく成長したラブンツェル	美しく成長したラブンツェル		銅版、紙	23×25.5	~2月15日
259	ラブンツェルが閉じ込められたひとつしか窓のない塔	ラブンツェルが閉じ込められたひとつしか窓のない塔		銅版、紙	34.2×15.8	~2月15日
260	ラブンツェル、ラブンツェル、おまえの髪の毛さげとくれ	ラブンツェル、ラブンツェル、おまえの髪の毛さげとくれ		銅版、紙	26.5×24.9	~2月15日
261	挿画本『野ちしゃ(ラブンツェル)』	挿画本『野ちしゃ(ラブンツェル)』		銅版、紙	45.2×124.3	~2月15日
262	がたがたの竹馬こぞう	がたがたの竹馬こぞう		銅版、紙	35.9×27	~2月15日
263	麦わらでいっぱいの部屋	麦わらでいっぱいの部屋		銅版、紙	25.2×22.6	~2月15日
264	麦わらは左、金は右	麦わらは左、金は右		銅版、紙	15.6×25	~2月15日
265	子供のために小人にお願いする	子供のために小人にお願いする		銅版、紙	27.3×26.2	~2月15日
266	料理スプーンのふちに乗る	料理スプーンのふちに乗る		銅版、紙	17.6×25.6	~2月15日
267	小人は自分のからだを二つにさいた	小人は自分のからだを二つにさいた		銅版、紙	45.2×32.5	~2月15日
268	お城の塔の王女さま	お城の塔の王女さま		銅版、紙	45.2×33	2月24日~
269	たまごの中にかくれた若者	たまごの中にかくれた若者		銅版、紙	20.4×17.7	2月24日~
270	魚の中にかくれた若者	魚				

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
288	北辻良央	オリーブ・祈る人	1989(平成元)	鉄、木、石、銅、ステンレススチール	245×202×52	
289	山本容子	To the Park	1978(昭和53)	銅版、紙	45.3×59.8	~2月15日
290	山本容子	Cook Jonathan	1975(昭和50)	銅版、シルクスクリーン、紙	61×88	個人蔵、~2月15日
291	山本容子	Asparagus Guy	1977(昭和52)	銅版、紙	45×59.6	2月24日~
292	山本容子	The Museum	1978(昭和53)	銅版、紙	45.4×59.8	2月24日~
293	大久保一	風影 2	1933(昭和8)	木版、紙	13.1×17.7	~2月15日
294	大久保一	[蒙古人の想]	1933(昭和8)	木版、紙	27.2×24.5	2月24日~
295	谷中安規	ドラゴンズドリーム	1939(昭和14)頃	木版、紙	21.8×28.2	~2月15日
296	谷中安規	瞑想氏	1933(昭和8)	木版、紙	17.2×23.4	2月24日~
297	泉茂	深夜のセロ弾き	1954(昭和29)	銅版、紙	18.3×10.6	~2月15日
298	駒井哲郎	夜の魚	1951(昭和26)	銅版、紙	2.3×3	個人蔵、~2月15日
299	前川千帆	『東京回顧図会』新宿夜景	1945(昭和20)	木版、紙	18.1×24.2	2月24日~
300	川西英	椅子にかけた婦人	1932(昭和7)	木版、紙	32.6×19.8	2月24日~
301	パラディーノ、ミンモ	アトランティコ	1987(昭和62)	リノカット、コラグラフ、紙	各188.5×58.5(7点)	



No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
[展示室外の作品]						
302	北堅吉彦	熊野 -moegi(萌黄)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	各270×320×320(3点)	
303	北堅吉彦	山业 -senkoushu(鮮光朱)	1999(平成11)	油彩	170×1020	
304	フナガン、バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989(平成元)	ブロンズ	高さ: 230	
305	ステラ、フランク	ラッカ III	1968(昭和43)	アクリル、キャンバス	304×760	
306	宇佐美圭司	水族館の中の水族館	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	185.2×276	
307	グレコ、エミリオ	病人を看護する	1963(昭和38)	ブロンズ	157×186.5×12	
308	清水九兵衛	Corresponding Space 1	1996(平成8)	アルミニウム	高さ: 200	
ライトコート						
309	井上雅之	T-9216	1992(平成4)	陶	高さ: 216	
310	金子潤	無題(ダンゴ)	1985(昭和60)	陶	高さ: 57	
311	山口牧生	かたむくかたち A	1984(昭和59)	黒御影石、ベンガラ	高さ: 180	
建物周辺						
312	建畠覚造	MANJI	1982(昭和57)	ステンレススチール	高さ: 270	
313	保田春彦	球を覆う幕舎	1994(平成6)	ステンレススチール	高さ: 208	
314	保田春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95(平成6-7)	鉄	高さ: 60	
315	スネルソン、ケネス	着地	1969(昭和44)	ステンレススチール	高さ: 250	

### 3-1. コレクション展 2008-春

会期: 2008(平成19)年4月15日(火)~6月29日(日)

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)

会場: 展示室A(1階)

入場料金: 一般310円(団体250円)、大学生210円(160円) ( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料

内容: 没後50年を迎えた和歌山県太地町出身の石垣栄太郎(1893-1958)の作品を特集展示するとともに、「和歌山ゆかりの作家と近代日本の美術」「戦後のアメリカ美術 -ポップ・アートを中心に」のコーナーにより、当館のコレクションを紹介した。

成果と課題: 石垣と同じく渡米して戦前より活躍した和歌山県出身の浜地清松(1885-1947)、ヘンリー杉本(1900-1990)らの作品もあわせて展示したことや、会期中に紀南で浜地清松について講演したことは、移民の多い同地方からの集客につながった。しかし広報については、広報媒体も含めその魅力を伝える手段を再考する必要がある。

担当学芸員: 奥村一郎

印刷物: 出品目録(A4判4頁)



### 「コレクション展 2008-春」出品目録

(所蔵先表記のない作品は当館蔵です)

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
和歌山ゆかりの作家と近代日本の美術						
1	鹿子木孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64	
2	岸田劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
3	保田龍門	自画像 [若芽をもつ]	1915(大正4)	油彩、キャンバス	60.9×50.2	
4	保田龍門	少年	1912(大正元)	油彩、キャンバス	45.8×60.6	
5	国枝金三	紀州風景	1919(大正8)	油彩、キャンバス	45.6×53.6	
6	萬鐵五郎	湘南風景	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	33.3×46	個人蔵
7	原勝四郎	小湾	1940(昭和15)	油彩、厚紙	58.4×70.4	
8	保田龍門	少女	1925(大正14)	ブロンズ	高さ: 173.5	
9	建畠大夢	子供	1917(大正6)[1994年鋳造]	ブロンズ	高さ: 91.5	
10	建畠大夢	夢	1939(昭和14)[1982年鋳造]	ブロンズ	高さ: 168	
11	山下新太郎	臥婦	制作年不詳(1910年代)	油彩、キャンバス	79.5×140.7	個人蔵
12	猪伊之助	ブザンソン風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	50.1×60.8	
13	木下雅子	肘つく女	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	72.8×61	
14	林武	神戸風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	45.8×61	
15	鳥海青児	蘇州風景	1939(昭和14)	油彩、キャンバス	88×145.3	
16	須田国太郎	風景	1950(昭和25)	油彩、キャンバス	49.8×60.5	
17	佐伯祐三	オワーズ河周辺風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	46×53.7	
18	佐伯祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60×73.1	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
19	川口軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
20	高井貞二	想ひを	1935(昭和10)	油彩、キャンバス	112.5×145.8	
21	松本竣介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
22	野長瀬晩花	さみたれのころ	1920(大正9)	顔料、絹	154.5×51	
23	山口八九子	月ヶ瀬梅渓	1921(大正10)頃	顔料、絹	144×55.9	
24	樺野南陽	清水寺	制作年不詳	顔料、絹	127.4×35.5	個人蔵
25	川端龍子	草	制作年不詳(大正期)	顔料、金泥、絹	128.5×36.5	
26	川端龍子	南瓜図	1944(昭和19)	顔料、紙	47×61.3	個人蔵
27	稗田一穂	そよ風	1951(昭和26)	顔料、紙	156.5×141.3	
特集展示：石垣栄太郎						
28	石垣栄太郎	自画像	1917(大正6)	油彩、キャンバス	46×37.3	
29	石垣栄太郎	女の顔	1916(大正5)	油彩、ボード	27.4×21	
30	石垣栄太郎	拳闘	1925(大正14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2	
31	石垣栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	126×91	
32	石垣栄太郎	ボーナス・マーチ	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	145.4×107	
33	石垣栄太郎	キューーバ島の反乱	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	181.5×139	
34	石垣栄太郎	ハーレム裁判所のための壁画画稿 I	1934(昭和9)	木炭、紙	233×274.8	
35	石垣栄太郎	ハーレム裁判所のための壁画画稿 II	1934(昭和9)	木炭、紙	233×275	
36	石垣栄太郎	ハーレム裁判所のための壁画画稿 III	1934(昭和9)	木炭、紙	127.6×127.8	
37	石垣栄太郎	K.K.K.	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	76.8×91.6	
38	石垣栄太郎	抵抗	1937(昭和12)	油絵、キャンバス	61×73.4	
39	石垣栄太郎	人民戦線の人々	1937(昭和12)頃	油彩、キャンバス	148.5×207	
40	石垣栄太郎	捕虜	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	71.2×86	
41	石垣栄太郎	恐怖	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	64×104.8	
42	石垣栄太郎	女の肖像	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	35×28	
43	石垣栄太郎	強風	1942(昭和17)	油彩、キャンバス	65.2×80.6	
44	石垣栄太郎	女の抵抗	1947(昭和22)	油彩、キャンバス	40.4×51	
45	石垣栄太郎	男と女	1947(昭和22)	油彩、キャンバス	50.6×70.8	
46	石垣栄太郎	バーゲンセール	1947(昭和22)	油彩、ボード	42.8×52.6	
47	石垣栄太郎	女の勝利	1948(昭和23)	油絵、キャンバス	45×53.2	
48	石垣栄太郎	女の哀しみ	1949(昭和24)	油彩、ボード	51×61	
49	石垣栄太郎	虚脱	1949(昭和24)	油彩、キャンバス	72.8×90.8	
50	石垣栄太郎	逃避	1949(昭和24)	油彩、キャンバス	71.1×86.5	
51	石垣栄太郎	地獄へ	1949(昭和24)	油絵、キャンバス	105.2×71.4	
52	石垣栄太郎	スケッチクラス	1950(昭和25)	油絵、キャンバス	56.4×71.8	
53	国吉康雄	乳しばり	1921(大正10)	油彩、キャンバス	61×50.5	
54	国吉康雄	藤椅子の女	1927(昭和2)	リトグラフ、紙	46.6×30.6	
55	国吉康雄	海岸の板敷遊歩道にて	1936(昭和11)	リトグラフ、紙	25.5×35.6	
56	ヘンリー杉本	寺院のみえるビーエー村	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	80.4×100.6	
57	ヘンリー杉本	カーメルハイランド海辺	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	80.6×106	
58	浜地清松	暖炉	1911(明治44)	油彩、キャンバス	102.4×81.7	
59	浜地清松	花	1921(大正10)	油彩、キャンバス	91.6×73.5	
60	浜地清松	静物	1922(大正11)	油彩、キャンバス	64.1×73.7	
61	浜地清松	裸婦	制作年不詳	油彩、キャンバス	98.8×80.5	
戦後のアメリカ美術—ポップ・アートを中心に						
62-71	ウォーホル、アンディ	キャンベル・スープ II	1969(昭和44)	シルクスクリーン、紙	各88.9×58.7(10点組)	
72	リキテンシュタイン、ロイ	クラック！	1964(昭和39)	リトグラフ、紙	47.7×69	
73	リキテンシュタイン、ロイ	おやすみベイビィ！	1965(昭和40)	シルクスクリーン、紙	90.4×64.5	
74	ラウシェンバーグ、ロバート	Features from Currents	1970(昭和45)	シルクスクリーン、紙	89.1×88.9	
75	ウェッセルマン、トム	シーズケープ #8	1966(昭和41)	アクリル、キャンバス	172.9×106.8	
76	クロス、チャック	自画像	1983(昭和58)	ペーパーパーパルプ、キャンバス	136.8×101.9	
77	クロス、チャック	フィル	1982(昭和57)	ペーパーパーパルプ	130.4×105.8	
78	ダイン、ジム	ピカビア I	1971(昭和46)	リトグラフ、コラージュ、紙	137×92.5	
79	ダイン、ジム	ピカビア II	1971(昭和46)	リトグラフ、コラージュ、紙	137×92.5	
80	ダイン、ジム	ピカビア III	1971(昭和46)	リトグラフ、コラージュ、紙	137×92.5	
81	バスキア、ジャン=ミッシェル	無題	1983(昭和58)	シルクスクリーン、キャンバス	146×192	
82	クルーガー、バーバラ	無題(私を覚えていて)	1988(昭和63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7×268.1	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
83	ノグチ、イサム	黒いシルエット	1958(昭和33)	アルミニウム	高さ: 241	
84	ネヴェルスン、ルイーズ	北の星	1977(昭和52)	黒彩色、木	278×213.3×48.2	
展示室外の作品						
85	北堅吉彦	熊野 -moegi(萌黄)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	270×320×320(3点)	
86	北堅吉彦	山並 -senkoushu(鮮光朱)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	170×1020	
87	清水九兵衛	FIGURE C	1986(昭和61)	アルミニウム	高さ: 50	
88	清水九兵衛	Corresponding Space 1	1996(平成8)	アルミニウム	高さ: 200	
89	松谷武判	波動2000-1	2000(平成12)	ビニール接着剤、鉛筆、キャンバス	197×291	個人蔵
90	フランガン、パリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兔	1989(平成元)	ブロンズ	高さ: 230	
91	ステラ、フランク	ラッカ III	1968(昭和43)	アクリル、キャンバス	304×760	
92	グレコ、エミリオ	病人を看護する	1963(昭和38)	ブロンズ	157.0×186.5×12	
ライトコート						
93	井上雅之	T-9216	1992(平成4)	陶	高さ: 216	
94	金子潤	無題(ダンゴ)	1985(昭和60)	陶	高さ: 57	
95	山口牧生	かたむくかたち A	1984(昭和59)	黒御影石、ベンガラ	高さ: 180	
建物周辺						
96	建畠覚造	MANJI	1982(昭和57)	ステンレススチール	高さ: 270	
97	保田春彦	球を覆う幕舎	1994(平成6)	ステンレススチール	高さ: 208	
98	保田春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95(平成6-7)	鉄	高さ: 60	
99	スネルソン、ケネス	着地	1969(昭和44)	ステンレススチール	高さ: 250	

## 3-2. コレクション展 2008-夏

会期：2008(平成19)年7月8日(火)～9月23日(月・振休)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

会場：展示室A(1階)

入場料金：一般310円(団体250円)、大学生210円(160円) ( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料

内容：「近代日本の美術 和歌山ゆかりの作家を中心に」「浜田知明の銅版画」「ミロの版画」「フランスをめぐって」「点と面と線と」のコーナーにより、当館のコレクションを紹介した。

成果と課題：企画展と連動したテーマ展示が好評を得た。「ルオーの〈ミセレーレ〉」展に関連して、銅版画という技法や戦争などのテーマとのつながりから「浜田知明の銅版画」コーナーなどを設け、「点と面の詩情」展に関連しては、同展出品作家以外の作家による点や面をめぐる表現を紹介した。

担当学芸員：奥村一郎

印刷物：出品目録(A4判4頁)



### 「コレクション展 2008-夏」出品目録

(所蔵先表記のない作品は当館蔵です)

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
I. 近代日本の美術 和歌山ゆかりの作家を中心に						
1	岸田劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
2	高須光治	自画像	1915(大正4)	油彩、板	45.4×37.3	
3	保田龍門	自画像【若芽をもつ】	1915(大正4)	油彩、キャンバス	60.9×50.2	
4	久本信男	和服婦人	制作年不詳	油彩、キャンバス	33×24	
5	藤森静雄	花	1915(大正4)	油彩、キャンバス	33×24	
6	田中恭吉	ニコライ	1912(大正元)頃	油彩、板	22×15.5	
7	香山小鳥	風景	1911(明治44)	油彩、板	22.7×14.6	
8	萬鐵五郎	湘南風景	1922(大正11)	油彩、キャンバス	33.3×46	個人蔵
9	原勝四郎	画工像	1932(昭和7)	油彩、厚紙	65×52.8	
10	建畠大夢	感に打たれた女	1932(昭和7)	ブロンズ	高さ：155	
11	ヘンリー・杉本	カーメルハイランド海辺	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	80.6×106	
12	石垣栄太郎	キュー・バ島の反乱	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	181.5×139	
13	高井貞二	煙	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	91.1×117	
14	村井正誠	URBAIN No.1	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	112.2×194.2	
15	川口軌外	熊野灘	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	130.4×162.3	
16	松本竣介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
17	野長瀬暁花	暮の山	1920(大正9)	顔料、絹	40×51.3	
18	吹田草牧	南国之初夏	1919(大正8)頃	顔料、絹	127×42.1	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
19	山口八九子	海近き畠	1920(大正9)	墨、顔料、絹	138.8×49.9	
20	山口八九子	風景	1917(大正6)頃	墨、顔料、紙	149.5×138.5	
21	稗田一穂	幻想那智	1979(昭和54)	顔料、紙	212.4×169.7	
22	難波田龍起	郊外	1951(昭和26)	油彩、キャンバス	53.2×45.8	
23	三岸節子	捕らえられた鳥	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	72.7×91	個人蔵
24	池田満寿夫	骨を持つ人(C)	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	72.8×57.2	
25	泉茂	目	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	60.5×72.5	
26	瑛九	自転車	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	50×60.8	
27	義嶽	鉄骨とクレーンと人と	1954(昭和29)	油彩、板	116.5×91.6	
28	吉原英雄	たわむれ	1956(昭和31)	油彩、板	129.9×91	
2. 浜田知明の銅版画						
29	浜田知明	初年兵哀歌 歩哨	1951(昭和26)	銅版、紙	29.6×20.7	
30	浜田知明	初年兵哀歌 鏡架のかけ	1951(昭和26)	銅版、紙	19×16.8	
31	浜田知明	首	1951(昭和26)	銅版、紙	14.8×14.1	
32	浜田知明	初年兵哀歌 便所の伝説	1951(昭和26)	銅版、紙	23.4×8	
33	浜田知明	初年兵哀歌 歩哨	1951(昭和26)	銅版、紙	23.5×12.4	
34	浜田知明	初年兵哀歌 ぐにゃぐにゃとした太陽がのはる	1952(昭和27)	銅版、紙	8.5×17.3	
35	浜田知明	初年兵哀歌 風景	1952(昭和27)	銅版、紙	14.8×20.3	
36	浜田知明	初年兵哀歌 風景一隅	1954(昭和29)	銅版、紙	18×23.4	
37	浜田知明	風景	1953(昭和28)	銅版、紙	35.4×29	
38	浜田知明	刑場A	1954(昭和29)	銅版、紙	24.9×18.3	
39	浜田知明	一隅	1956(昭和31)	銅版、紙	22.1×14.8	
40	浜田知明	副校長D氏像	1956(昭和31)	銅版、紙	20.9×13.9	
41	浜田知明	愛の歌	1957(昭和32)	銅版、紙	9.4×19.2	
42	浜田知明	疑惑	1957(昭和32)	銅版、紙	27.1×17	
43	浜田知明	地方名士	1958(昭和33)	銅版、紙	35.5×12.6	
44	浜田知明	かげ	1962(昭和37)	銅版、紙	23.5×35.8	
3. ミロの版画						
45	ミロ、ジョアン	月の前の女と犬	1935(昭和10)	ステンシル、紙	50.8×45.3	
46	ミロ、ジョアン	《シリーズIII》より No.6	1953(昭和28)	銅版、手彩色、羊皮紙	29.4×22.5	
47	ミロ、ジョアン	森の番人たち(青)	1958(昭和33)	銅版、紙	49.3×32.4	個人蔵
48	ミロ、ジョアン	月の壁	1958(昭和33)頃	リトグラフ、紙	23.4×74.7	個人蔵
49	ミロ、ジョアン	日曜日の招待客I	1969(昭和44)	銅版、紙	60×99	個人蔵
50	ミロ、ジョアン	黒貂の毛皮をまとった女	1969(昭和44)	銅版、紙	105×63.8	
51	ミロ、ジョアン	権力のある思想家	1969(昭和44)	銅版、紙	105.3×66.8	
52	ミロ、ジョアン	ガルガンチュア	1978(昭和53)	銅版、紙	157.4×117.2	
53	ミロ、ジョアン	老アイルランド人	1969(昭和44)	銅版、紙	106.5×70.4	
54	ミロ、ジョアン	矢じり	1968(昭和43)	銅版、紙	39.5×29.7	個人蔵
55	ミロ、ジョアン	《ひびわれ》より	1969(昭和44)	銅版、紙	48.6×58.2	個人蔵
56	ミロ、ジョアン	岩壁の軌跡III	1967(昭和42)	銅版、紙	58.4×92.5	
57	ミロ、ジョアン	ふたつの星の間の鳥	1967(昭和42)	銅版、紙	69.5×56.5	個人蔵
58	ミロ、ジョアン	『あらゆる試練に耐えて』より	1958(昭和33)	木版、コラージュ、紙	32.1×20.5	
4. フランスをめぐって						
59	佐伯祐三	パリの街角	1925(大正14)	油彩、キャンバス	65×41.5	
60	佐伯祐三	オワーズ河周辺風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	46×53.7	~8月12日
61	佐伯祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60×73.1	~8月12日
62	佐伯祐三	ポスターとロウソク立て	1925(大正14)	油彩、キャンバス	45.5×53.6	
63	佐伯祐三	下落合風景	1926(昭和元)頃	油彩、キャンバス	50×60.5	
64	佐伯祐三	モラン風景	1928(昭和3)	油彩、ボード	38×44.5	
65	佐伯祐三	男の顔(K氏の像)	1927(昭和2)	油彩、板	33×23.8	
66	中村不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人蔵
67	鹿子木孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64	
68	東郷青児	静物	1924(大正13)	油彩、キャンバス	46×38	
69	裕伊之助	ブザンソン風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	50.1×60.8	
70	児島善三郎	カーニュ	1926(昭和元)	油彩、キャンバス	60×72	個人蔵
71	島村三七雄	カジノ・ド・パリの踊り子	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	180.5×65	
72	川口軌外	水差しのある静物	1925(大正14)	油彩、キャンバス	80×65.7	
73	川口軌外	キャフェにて	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	79×64	個人蔵
74	川口軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
75	木下孝則	赤衣の女	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	72.9×53.2	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
76	木下孝則	猫	1926(大正15)	油彩、キャンバス	59×60.2	8月14日～
77	木下孝則	女優の像	1926(大正15)	油彩、キャンバス	91.2×72.9	8月14日～
78	木下孝則	七面鳥	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	130.5×80.4	8月14日～
79	木下義謙	静物	1931(昭和6)	油彩、キャンバス	73×91.6	
80	木下雅子	玉葱の静物	1930(昭和5)	油彩、キャンバス	60×73.5	
81	村井正誠	水浴	1930(昭和5)	油彩、キャンバス	98.8×80.8	
82	村井正誠	パンチュール(赤い帽子)	1931(昭和6)頃	油彩、キャンバス	72.5×90.9	
83	グラマンク、モーリス・ド	花	制作年不詳	油彩、キャンバス	54×37	個人蔵
84	グラマンク、モーリス・ド	風景	制作年不詳	油彩、キャンバス	38.5×46.3	個人蔵
85	ロート、アンドレ	ミルマンドの城壁	制作年不詳	油彩、キャンバス	33×24	
86	ドラン、アンドレ	[戸外での食事]	制作年不詳	油彩、キャンバス	27.1×24.2	個人蔵
87	レジエ、フェルナン	軽業師マリー	1948(昭和23)	リトグラフ、紙	55.2×42.9	
88	デュフィ、ラウル	コンポティエのある静物	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	65.2×81.2	
89	森村泰昌	肖像(娘II)	1988(昭和63)	写真	127.9×90.3	
90	菅井汲	Soleil Vert [緑の太陽]	1968(昭和43)	油彩、キャンバス	244.8×330	
91	今井俊満	蝋	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	130.8×191.5	
92	アルマン	黄色のチューブ	1960(昭和35)	絵具、チューブ、合成樹脂	44.7×25×6	
93	ヴィアラ、クロード	コンポジション	1988(昭和63)	油彩、キャンバス	295×346	
5. 点と面と線と						
94	李禹煥	点より	1980(昭和55)	岩彩、キャンバス	194×259	
95~102	李禹煥	石版画集「点より・線より」	1977(昭和52)	リトグラフ、紙	各50×65(8点)	
103	北堅吉彦	絵画浴-kuro(黒)	1995(平成7)	油彩、キャンバス	260×210×6.5	
104	山口長男	速	1965(昭和40)	油彩、板	182.2×364.3	
105	山口牧生	四面体へのアプローチ	1982(昭和57)	黒御影石、ベンガラ	高さ: 40	
6. 展示室外の作品						
エントランス周辺						
106	北堅吉彦	熊野-moegi(萌黄)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	各270×320(3点)	
107	北堅吉彦	山並-senkoushu(鮮光朱)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	170×1020	
108	清水九兵衛	FIGURE C	1986(昭和61)	アルミニウム	高さ: 50	
109	清水九兵衛	Corresponding Space 1	1996(平成8)	アルミニウム	高さ: 200	
110	松谷武判	波動2000~1	2000(平成12)			
111	フナガン、バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	ビニール接着剤、鉛筆、キャンバス	197×291	個人蔵	
112	ステラ、フランク	ラッカ III	1989(平成元)	ブロンズ	高さ: 230	
113	グレコ、エミリオ	病人を看護する	1968(昭和43)	アクリル、キャンバス	304×760	
114	井上雅之	T-9216	1992(平成4)	陶	高さ: 216	
115	金子潤	無題(ダンゴ)	1985(昭和60)	陶	高さ: 57	
116	山口牧生	かたむくかたち A	1984(昭和59)	黒御影石、ベンガラ	高さ: 180	
ライトコート						
117	建畠覺造	MANJI	1982(昭和57)	ステンレススチール	高さ: 270	
118	保田春彦	球を覆う幕舎	1994(平成6)	ステンレススチール	高さ: 208	
119	保田春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95(平成6-7)	鉄	高さ: 60	
120	スネルソン、ケネス	着地	1969(昭和44)	ステンレススチール	高さ: 250	
建物周辺						

### 3-3. コレクション展 2008-秋

期: 2008(平成19)年10月4日(祝・月)～12月7日(日)

会休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)

会場: 展示室A(1階)

入場料金: 一般310円(団体250円)、大学生210円(160円) ( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料

内容: 戦前の近代洋画の名品と、和歌山出身の川端龍子および稗田一穂の特集、「点と面の詩情」で紹介した上原智祐が参加していた具体的な作家作品を紹介したほか彫刻作品を中心に構成した。

成果と課題: 個人所蔵家のご厚意によってブルデルやマイヨールなどの西洋近代彫刻の優品10点を出品し、それらを導入として、戦後の彫刻作品がもつ素材の多様性と表現の拡がりを伝えることのできる展示をおこなえた。当館の収集方針の柱である、建畠覺造、保田春彦を中心とする現代彫刻コレクションのより充実した紹介が必要であると感じた。

担当学芸員: 寺口淳治

印刷物: 出品目録(A4判4頁)



#### 「コレクション展 2008-秋」出品目録

(所蔵先表記のない作品は当館蔵です)

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
1. 和歌山ゆかりの作家と日本の近代美術						
1	梅原龍三郎	小川(ブルターニュ風景)	1909(明治42)	油彩、キャンバス	24.6×32.4	個人蔵
2	石垣栄太郎	拳闘	1925(大正14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2	
3	保田龍門	少年	1912(大正元)	油彩、キャンバス	45.8×60.6	
4	萬鐵五郎	残雪	1915(大正4)	油彩、キャンバス	60.6×50	
5	原勝四郎	網不知風景	制作年不詳	油彩、厚紙	52.8×64.5	個人蔵
6	圓部邦香	二人	1928-30(昭和3-5)	油彩、キャンバス	117×91.3	個人蔵
7	中村不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人蔵
8	松本達介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
9	安井曾太郎	素焼壺にダリア	1924(大正13)	油彩、キャンバス	60×72	個人蔵
10	坂本繁二郎	能面のある静物	制作年不詳	油彩、キャンバス	31.8×41.4	個人蔵
11	川口軌外	風景	1924(大正13)頃	油彩、キャンバス	65.5×80.5	
12	木下義謙	カーニュ風景	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	62×73.2	
13	里見勝藏	マダム Y.S.	1924(大正13)	油彩、キャンバス	64.7×53	
14	佐伯祐三	ボスターとロウソク立て	1925(大正14)	油彩、キャンバス	45.5×53.6	
15	佐伯祐三	下落合風景	1926(昭和元)頃	油彩、キャンバス	50×60.5	
16	佐伯祐三	モラン風景	1928(昭和3)	油彩、ボード	38×44.5	
17	村井正誠	アラブの窓	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	80.9×196.5	
18	建畠大夢	夢	1939(昭和14)	ブロンズ	高さ: 168.5	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
1-2. 川端龍子と稗田一穂						
19	川端龍子	少年と滝	1916(大正5)	木版、紙	29.3×21.3	
20	川端龍子	木曾路の秋	1915(大正4)	木版、紙	29×20.7	
21	川端龍子	椿紅白	1919(大正8)	顔料、絹	左: 135.5×23.5、右: 135.5×23.5	個人蔵
22	川端龍子	草	制作年不詳(大正期)	顔料、金泥、絹	128.5×36.5	
23	川端龍子	芭蕉翁	1923(大正12)	顔料、紙	71.9×84.3	
24	川端龍子	狩人の幻想	1948(昭和23)	顔料、紙	239.8×721.6	
25	稗田一穂	疊の波止場	1942(昭和17)	顔料、紙	148.7×125.2	
26	稗田一穂	夏去る	1980(昭和55)	顔料、紙	194.1×172.3	
27	稗田一穂	流鶴	1962(昭和37)	顔料、紙	162.3×112.1	
1-3. 具体 GUTAI						
28	上前智祐	作品	1963(昭和38)	油彩、板	184×94	個人蔵
29	前川強	作品	1960(昭和35)	油彩、麻布、キャンバス	162.8×130.5	
30	田中敦子	61 赤と黒	1961(昭和36)	ビニール絵具、キャンバス	175×129.5	
31	向井修二	作品	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	183×137	
32	白髪一雄	平治元年十二月二十六日	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	273×363.8	
33	元永定正	作品	1964(昭和39)	アクリル、小石、キャンバス	281×181.2	
34	松谷武判	WORK-63-9	1963(昭和38)	ビニール接着剤、油彩、水彩、キャンバス	187×192	
2. ようこそ、彫刻の森へ						
35	ブルデル、アントワーヌ	「1870年戦士の記念碑」のためのエスキース	1898-1900(明治31-3)	ブロンズ	高さ: 32.8	個人蔵
36	マイヨール、アリストイード	[トルソ]	1930(昭和5)頃	ブロンズ	高さ: 28	個人蔵
37	ルノワール、ピエール=オーギュスト	[少女]	1912(明治45)以後	ブロンズ	高さ: 17.2	個人蔵
38	ローランス、アンリ	鳥をもつ女性	1922(大正11)	テラコッタ	高さ: 34	個人蔵
39	アーキパンコ、アレクサンダー	黒のトルソ	1909(明治42)	ブロンズ	高さ: 36	個人蔵
40	アルプ、ジャン	境界彫刻	1960(昭和35)前後	大理石	高さ: 19.9	個人蔵
41	ムア、ヘンリー	3つの立っている像	1953(昭和28)	ブロンズ	高さ: 25	個人蔵
42	ムア、ヘンリー	横たわる像	1938(昭和13)	ブロンズ	高さ: 6.5	個人蔵
2-2. 戦後彫刻 <世界のなかの日本>						
43	建畠覚造	貌	1956(昭和31)	石膏	高さ: 120	
44	ヘップワース、バーバラ	絃を張った円板(太陽)	1969(昭和44)	ブロンズ、紐	高さ: 48	
45	カロ、アンソニー	ライン川流域	1986(昭和61)	ブロンズ、真鍮	高さ: 100	
46	カロ、アンソニー	カタロニアのふぶき(カタロニア・シリーズ)	1987(昭和62)	鉄	高さ: 104.5	
47	ノグチ、イサム	考える議長	1978(昭和53)	御影石、木	高さ: 27.5	
48	クラッグ、トニー	調味料	1989(平成元)	砂岩	高さ: 42.4、54.8、68.2、82.7	個人蔵
49	アーリントン、エドワード	あなたに名前がなかったら	1991(平成3)	ブロンズ、写真	高さ: 35.3、額: 81.1×65.6	
50	篠田守男	テンションとコンプレッション 4417X	1976(昭和51)	アルミニウム、真鍮、鉄	高さ: 19.5	
51	建畠覚造	WAVING LADDER 10B	1993(平成5)	木、FRP、ウレタン塗料	高さ: 183.8	
52	マンズー、ジャコモ	[衣を脱ぐ]	制作年不詳	ブロンズ	高さ: 66	個人蔵
53	保田春彦	トルソ	1955(昭和30)	セメント	高さ: 102.8	
54	木村賢太郎	話	1964(昭和39)	石	高さ: 74.8	
55	柳原義達	道標・鶴	1978(昭和53)	ブロンズ	高さ: 56	
56	江口遇	飛翔のはじまり	1981(昭和56)	木	高さ: 204	
57	保田春彦	斜面のある風景 二題	1973(昭和48)	ステンレススチール	高さ: 50	
58	鈴木久雄	単錐台-II	1984(昭和59)	鉄	高さ: 113	
59	土谷武	蟬 I	1981(昭和56)	鉄	高さ: 67	
60	小清水漸	花・赤い	1986(昭和61)	木、水銀朱、落葉、白大理石	高さ: 75	
61	三木富雄	耳	1965(昭和40)頃	アルミニウム	高さ: 70	
62	秋山陽	メタ・ヴォイド	2004(平成16)	陶	高さ: 130	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
3. 展示室外の作品						
63	エントラヌ周辺	北堅吉彦	熊野 moegi(萌黄)	油彩、キャンバス	各270×320×320(3点)	
64	北堅吉彦	山並 senkoushu(鮮光朱)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	170×1020	
65	清水九兵衛	FIGURE C	1986(昭和61)	アルミニウム	高さ: 50	
66	清水九兵衛	Corresponding Space 1	1996(平成8)	アルミニウム	高さ: 200	
67	松谷武判	波動2000-1	2000(平成12)	ビニール接着剤、鉛筆、キャンバス	197×291	個人蔵
68	フラナガン、バー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989(平成元)	ブロンズ	高さ: 230	
69	ステラ、フランク	ラッカ III	1968(昭和43)	アクリル、キャンバス	304×760	
70	グレコ、エミリオ	病人を看護する	1963(昭和38)	ブロンズ	157×186.5×12	
71	村井正誠	紀州	1993(平成3)	油彩、キャンバス	193.9×258.8	
4. 建物周辺						
72	ライトコート	T-9216	1992(平成4)	陶	高さ: 216	
73	井上雅之	無題(ダンゴ)	1985(昭和60)	陶	高さ: 57	
74	金子潤	かたむくかたち A	1984(昭和59)	黒御影石、ベンガラ	高さ: 180	
75	山口牧生	MANJI	1982(昭和57)	ステンレススチール	高さ: 270	
76	建畠覚造	球を覆う幕舎	1994(平成6)	ステンレススチール	高さ: 208	
77	保田春彦	聚落を囲う壁II	1994-95(平成6-7)	鉄	高さ: 60	
78	スネルソン、ケネス	着地	1969(昭和44)	ステンレススチール	高さ: 250	

# 普及事業

## 1 広報活動

- ・美術館の概要や展覧会の内容、スケジュール等の理解、活用のためにカレンダー、機関誌等を発行し、関係諸機関及び来館者等に提供した。
- ・県発行の公報『県民の友』に、毎月事業案内を掲載した。
- ・展覧会ごとに、ポスター、ちらし、案内はがき等を作成し、全国関係諸機関、県下各市町村及び小中高校、大学、教育機関など約2,400カ所に配布した。
- ・県内外の新聞社、放送局、出版社等約265カ所に事業案内を送付し、報道、掲載を依頼。また取材等の要請に応じて情報を提供した。
- ・展覧会ごとに県記者クラブにて記者発表(資料提供)を行い、県内の新聞社、放送局に事業案内の報道、掲載を依頼した。
- ・地元テレビ局制作放送の教育放送に情報を提供した。
- ・ホームページで美術館の概要や展覧会の内容、スケジュールの情報を提供した。
- ・メールマガジンを発行し、美術館で開催されるさまざまな展覧会及びプログラムへの参加をよびかけるとともに、美術館に親しんでもらうきっかけとした。[2007(平成19)年4月1日第1号発行。2009(平成21)年3月末日、第26号まで発行]
- ・和歌山県職員に対し電子掲示板、府内メール等で展覧会の案内をした。
- ・「ミュージアムぐるっとバス関西2008」に参加し、関西圏の集客をはかった。

## 2 講演会などの開催

内 容：各展覧会に際して講演会やミュージアムトーク、ワークショップなどを開催した。(各展覧会報告の項を参照)

## 3 バックヤードツアーの開催

内 容：美術館の仕事への理解を深めることを目的に、美術館の裏側を紹介するツアーを開催した。

8月26日(火)14:00～15:00 16名が参加

## 4 刊行物の発行

- ・2008(平成19)年度展覧会カレンダー(A4判変形8頁4折)
- ・展覧会図録、リーフレット、出品目録、ポスター、ちらし、案内はがき等(各展覧会報告の項を参照)
- ・機関誌「NEWS」(A4判8頁)



カレンダー



NEWS No.57



NEWS No.58



NEWS No.59



NEWS No.60

## No.57 [2008(平成19)年5月15日発行]

表紙：恩地孝四郎《リリック No.8 春》1950年頃  
「2008年度の展覧会をご紹介します」  
植野比佐見「叙情の様式  
恩地孝四郎の『抒情』・村井正誠の『心』」  
井上節子(NPO和歌山芸術文化支援協会理事長)  
「『森のちから』繋がる思い」  
「コレクション展 2008-春」より  
友の会より

## No.58 [2009(平成20)年1月4日発行]

表紙：「ルオーの〈ミセレーレ〉—人間へのまなざし」展会場  
宮本久宣「版画芸術の『共演×競演×饗宴』」  
井上芳子「ルオーの〈ミセレーレ〉」  
「展覧会ができるまで、とできてから」  
奥村一郎「子どもたちとめぐるバックヤードツアー」  
奥村泰彦「初めての美術館、学校から」  
寺口淳治「本の紹介 木俣知史『画文共鳴』」  
「Museum Calendar」  
「友の会より」

## No.59 [2009(平成20)年2月24日発行]

表紙：森村泰昌《美術史の娘 王女A》1990年  
「はじめに 美術百科『この人はだれ』の巻」  
奥村一郎「この人はわたし？」  
宮本久宣「この人は家族」  
浜田拓志「この人は子ども」  
植野比佐見「この人のつながり」  
奥村泰彦「この人はなに」  
奥村泰彦「これは人の名前」  
寺口淳治「50年前、100年前」  
井上芳子「おはなし、おはなし」  
「『鑑賞カードセット』をプレゼントしています。」  
「Museum Calendar」  
「友の会より」

## No.60 [2009(平成20)年3月31日]

表紙：原勝四郎《白浜(江津良)》制作年不詳  
「原勝四郎特集」  
寺口淳治「原勝四郎についての覚書」  
三谷渉(田辺市立美術館学芸員)  
「帰国後の原勝四郎についてのノート」  
「Museum Calendar」  
「友の会より」



カードセット

## 5 平成20年度芸術拠点形成事業(ミュージアムタウン構想の推進)

内 容：文化庁からの委託事業として、和歌山大学教育学部、和歌山県美育協会、和歌山市美育協会、和歌山信愛女子短期大学、NPO和歌山芸術文化支援協会、和歌山県立近代美術館図書ボランティア、和歌山県立美術館友の会と「2008『この人だれ de アート』開発・活用事業実行委員会を組織し、「美術百科『この人はだれ』の巻」を題材に鑑賞支援教材『この人はだれ？ 鑑賞カードセット』の開発を行い、研究授業を実施した。

## 6 学校・団体観賞への協力

内 容：施設利用の浸透を図り、団体での来館に際し、事前に要望のあった場合には担当者・教員との打ち合わせを行うなど、学校教育と連携した活動を行った。

団体種別	美術館による対応有		自由鑑賞	
	件 数	参加人数	件 数	参加人数
教 員	3件	155名	2件	53名
大 学	3件	18名	0件	0名
高等學校	9件	229名	11件	136名
中 学 校	32件	238名	16件	467名
小 学 校	25件	1007名	6件	438名
幼 稚 園	3件	428名	0件	0名
その他(養護学校等)	2件	28名	10件	133名
計	77件	2103名	45件	1227名
総 計	122件	3330名		

## 7 インターンシップ等の受入

内 容：文部科学省の推進するキャリア教育の一環として、教育委員会並びに各学校の取り組んでいるインターンシップ、職場体験学習等を受け入れた。

受入件数	人数	日数	延人数
高 校	8名	3日	24名
高 校	3名	2日	6名
中 学 校	2名	4日	8名
中 学 校	4名	3日	12名
中 学 校	6名	2日	12名
中 学 校	5名	3日	15名
中 学 校	2名	3日	6名
中 学 校	6名	3日	18名
中 学 校	3名	3日	9名

中学校	5名	2日	10名
中学校	6名	2日	12名
計	11件	50名	30日 132名

#### 8 教員の研修会などの開催

- ・和歌山市美育協会夏期研修「鑑賞指導」研修会
- ・大阪私学美術・工芸教育研究会 平成20年度・夏期教員研修
- ・全国高等学校美術・工芸教育研究会 第37回近畿地区府県代表者会議および研修会

#### 9 研究授業への協力

- ・和歌山市美育協会 鑑賞教育研究授業(和歌山市立新南小学校)

#### 10 博物館実習生の受入

内 容：大学での博物館学芸員資格取得のために必要な履修科目である博物館実習の実習生を受け入れた。  
期 間：8月21日(木)～8月27日(水)(6日間)

受 入 校	受入人数
大阪教育大学	1名
大阪芸術大学	2名
大阪成蹊大学	1名
近畿大学	1名
神戸芸術工科大学	1名
四国大学	1名
成安造形大学	2名
聖心女子大学	1名
帝塚山学院大学	2名
東海大学	1名
和歌山大学	5名
計 11 大 学	18名

#### 11 ボランティア活動の受入

内 容：ボランティアグループ「虹」の会員により、図書資料の整理などが行われた。  
受入人数：登録者8名 活動のべ71人

#### 12 和歌山のアートコーナー

- ・清水達三

会 期：2008(平成20)年4月9日(水)～6月29日(日)

会 場：1階ホール

内 容：和歌山出身の日本画家清水達三(しみず・たつぞう 1930-)氏の2007年度恩賜賞、日本芸術院賞受賞を記念して収蔵作品2点を展示した。

- ・第62回県展受賞作品から

会 期：2009(平成21)年1月6日(火)～1月18日(日)	書・工芸
1月20日(火)～2月1日(日)	日本画
2月3日(水)～2月15日(日)	写真・彫塑
2月24日(火)～3月8日(日)	洋画

主 催：和歌山県立近代美術館

会 場：1階ホール

内 容：第62回和歌山県美術展覧会(県展)の特選(知事賞、県議会議長賞、県教育委員会賞、毎日新聞社賞・県美術家協会賞、県文化振興財団賞、新宮市長賞、橋本市長賞、白浜町長賞、上富田町長賞)の作品をオープンスペースで紹介した。

#### 13 その他の施設利用など

- ・6月13日(金)、6月27日(金)、7月11日(金)、7月25日(金)、8月8日(金)、8月22日(金)「県警たそがれコンサート」  
主催：和歌山県警察音楽隊
- ・7月25日(金)「ウォータージェットスクリーン映画会」主催：NPO法人紀州ふるさと塾

- ・9月13日(土)「名月に舞う」主催：和歌山文化協会「名月に舞う」実行委員会
- ・10月7日(日)「秋のシャンソンカーニバル」主催：和歌山シャンソン友の会

#### 14 友の会の活動

- 内 容：楽しみながら美術に親しむ会として「和歌山県立近代美術館友の会」を組織し、当館の活動を支援するとともに、美術作品を鑑賞し、語り合う場を設けた。
- 1. 会員の現状：一般会員 254名、学生会員 6名、賛助会員 10名、名誉会員 7名 計268名
  - 2. 助成事業の実績：会員に対して美術館事業に理解を持ち、常に美術作品に親しみを持つことができるよう常設展及び特別展の観覧並びに図録の購入に対して助成を行った。
    - ・展覧会入場者延人数 380人  
(コレクション展 15人 抒情の様式展 41人 共作×共鳴×共感展 41人 ルオーヌミセレーレ展 51人 点と面の詩情展 80人 彼岸の美術展 45人 美術百科「この人はだれ」の巻展 97人)
    - ・図録購入 374冊
  - 3. 主催事業
    - ・版画プレゼント 坪田政彦《彩一境-A》《彩一境-B》《玄一境-A》《彩一境-B》(4種)
    - ・展覧会関連企画 「点と面の詩情」展 オープン記念レセプション 9月13日(土)  
14:00～15:00 作家懇談会(2階ホール)  
15:00～16:00 茶話会(1階応接室)
    - ・ミュージアムコンサート 「クリスマスハンドベルコンサート」 12月6日(土)  
出演：谷本ファミリー(谷本雅司、智子、喜基、早也歌、祉音)  
16:00～17:00 2階ホール 約150名が参加
    - ・美術鑑賞ツアーの開催 9月16日(日)大原美術館(岡山県倉敷市) 90名が参加
    - ・館広報誌・その他の情報提供：美術館が発行するミュージアムカレンダー、美術館ニュース、特別展招待状などを会員に配布した。
  - 4. 協力事業
    - ・平成20年度芸術拠点形成事業(ミュージアムタウン構想の推進)に協力した。

## 協力事業

- ・森のちから 2『森の中の芸術学校』  
主 催：NPO和歌山芸術文化支援協会  
期 間：2008(平成20)年9月～11月  
内 容：中辺路町近露でのアーティスト・イン・レジデンス実施に関して協力を行った。

# 作品貸付

目的および内容：美術館をはじめとする研究機関の活動に寄与し、当館所蔵作品の鑑賞の機会を増やすために、作品および資料の貸し付けをした。

## 1. 日展100年記念展

貸付先 [会期]：富山県立近代美術館 [2008(平成20)年4月12日～5月18日]

【前年度より：国立新美術館 [2007(平成19)年7月25日～9月3日]、宮城県美術館 [2007(平成19)年9月23日～11月4日]、  
広島県立美術館 [2008(平成20)年2月19日～3月30日]】

作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

・建畠大夢 感に打たれた女 1932(昭和7) ブロンズ 高さ：161

## 2. 誌上のユートピア

貸付先 [会期]：うらわ美術館 [2008(平成20)年4月26日～6月8日]、愛知県美術館 [2008(平成20)年6月14日～7月27日]

【前年度より：神奈川県立近代美術館 葉山 [2008(平成20)年1月26日～3月9日]】

作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

・山口八九子 月見草と少女 1912(大正元)頃 顔料、紙 171.8×65.6

・恩地孝四郎 海の女 1912(大正元) 油彩、キャンバス 45×33.3

・田中恭吉 バラの刺 制作年不詳 油彩、キャンバス 45.5×33.4

・田中恭吉 [資料]『少女界』12-5表紙 1913(大正2)

・田中恭吉 [資料]『少年界』12-10表紙 1913(大正2)

・『方寸』4-5 1910(明治43)

## 3. モダンガールズあらわる。昭和初期の美人画展

貸付先 [会期]：島根県立石見美術館 [前年度より：2008(平成20)年2月29日～4月7日]

作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

・古賀春江 海水浴 1922(大正11) 油彩、キャンバス 91.3×117

・鈴木亜夫 帽子をかぶる婦人像 1926(昭和元) 油彩、キャンバス 65.5×50.5

・木下雅子 浴後 1933(昭和8) 油彩、キャンバス 112×163

・龜井玄兵衛 静まれる四条街頭 1935(昭和10)頃 木版、紙 17.6×24.2

・恩地孝四郎 邦楽座内景『新東京百景』 1929(昭和4) 木版、紙 18.6×24.3

・川上澄生 夜の銀座『東京回顧図会』 1945(昭和20) 木版、紙 18.4×24.2

・川西英 『神戸十二ヶ月風景』一月 新開地初春 1931(昭和6) 木版、紙 15.8×27.4

・川西英 『神戸十二ヶ月風景』八月 天神浜海水浴 1931(昭和6) 木版、紙 15.8×27.3

・ろまんちっく手刷千代紙 5点 1934(昭和9)

・ろまんちっく手刷千代紙原画 5点 1934(昭和9)

## 4. 昭和の気品、横浜の洋画家・木下孝則展

貸付先 [会期]：横浜美術館 [2008(平成20)年4月11日～6月8日]

作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

・木下孝則 マダム・オコノエ 1921-23(大正10-12) 油彩、キャンバス 41×32

・木下孝則 猫 1926(大正15) 油彩、キャンバス 59×60.2

・木下孝則 赤衣の女 1934(昭和9) 油彩、キャンバス 72.9×53.2

・木下孝則 A氏像 1949(昭和24) 油彩、キャンバス 53.2×45.6

・木下孝則 A夫人像 1949(昭和24) 油彩、キャンバス 65.1×50

・木下孝則 バラ 1963(昭和38)頃 油彩、キャンバス 33.4×24.7

・木下義謙 横光線の肖像 1935(昭和10) 油彩、キャンバス 91×72.6

## 5. 近代の南画－日本のこころと美

貸付先 [会期]：兵庫県立美術館 [2008(平成20)年4月22日～6月8日]

作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

・山口八九子 水辺村落 1917(大正6)頃 顔料、絹 125.8×42

・山口八九子 山頭の秋 1920(大正9) 墨、彩色、紙 137.5×67.9

・土田麦僊 梅ヶ畠村 1915(大正4) 顔料、絹 145×50.9

## 6. 前田寛治のパリ

貸付先 [会期]：鳥取県立博物館 [2008(平成20)年5月19日～6月22日]、

大阪市立近代美術館心斎橋展示室 [2008(平成20)年6月28日～8月3日]

作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

・木下孝則 女優の像 1926(大正15) 油彩、キャンバス 91.2×72.9

・木下孝則 七面鳥 1927(昭和2) 油彩、キャンバス 130.2×80.4

・佐伯祐三 レ・ジュ・ド・ノエル 1925(大正14) 油彩、キャンバス 72.3×60.8

・佐伯祐三 広告のある門 1925(大正14) 油彩、キャンバス 60×73.3

## 7. 没後80年 佐伯祐三展

貸付先 [会期]：三重県立美術館 [2008(平成20)年5月10日～6月22日]

作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

・佐伯祐三 レ・ジュ・ド・ノエル 1925(大正14) 油彩、キャンバス 72.3×60.8

・佐伯祐三 広告のある門 1925(大正14) 油彩、キャンバス 60×73.3

・佐伯祐三 オペセルヴァトワール附近 1927(昭和2) 油彩、キャンバス 73×92

## 8. 特集展示・佐伯祐三交流の画家たち

貸付先 [会期]：三重県立美術館 [2008(平成20)年6月29日～8月17日]

作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

・川口軌外 ポヘミアン 1928(昭和3) 油彩、キャンバス 117×80.7

・川口軌外 風景 1924(大正13)頃 油彩、キャンバス 65.5×80.5

・木下孝則 後向の裸女の習作 1925(大正14) 油彩、キャンバス 100×80.3

・木下義謙 カーニュ風景 1929(昭和4) 油彩、キャンバス 62×73.2

## 9. 日本彫刻の近代

貸付先 [会期]：鹿児島市立美術館 [2008(平成20)年7月18日～9月3日]、呉市立美術館 [2008(平成20)年9月13日～10月19日]、

横須賀美術館 [2008(平成20)年10月28日～12月21日]

作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

・建畠大夢 お湯のつかれ 1913(大正2) [1970(昭和45)鋳造] ブロンズ 高さ：68

#### 10. 版画の表現と技法

貸付先 [会期] : 岡山県立美術館 [2008(平成20)年 7月18日～8月24日]

##### 作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

- ・山本鼎 漁夫 1904(明治37) 木版、紙 16.3×11.1
- ・山本鼎 高原の道 1919(大正8) リトグラフ、紙 26.2×34
- ・谷中安規 ドラゴンズドリーム 1939(昭和14) 木版、紙 21.8×28.2
- ・恩地孝四郎 フォルムNo.14 グロテスク(II) 1952(昭和27) マルチブロック、紙 45.8×35.2
- ・長谷川潔 切子ガラスに挿したアネモネと草花 1944(昭和19) 銅版、紙 25.7×19
- ・長谷川潔 時・静物画 1969(昭和44) 銅版、紙 26.5×35.8
- ・浜口陽三 青いガラス 1957(昭和32) 銅版、紙 11.6×11.6
- ・浜口陽三 暗い背景のぶどう 1961(昭和36) 銅版、紙 34.5×29.5
- ・駒井哲郎 手 1960(昭和35) 銅版、紙 23.1×36
- ・浜田知明 初年兵哀歌 歩哨 1954(昭和29) 銅版、紙 23.3×15.7
- ・浜田知明 狂った男 1962(昭和37) 銅版、紙 35.8×28.8
- ・吉原英雄 シーソー I 1968(昭和43) リトグラフ、銅版、紙 100.1×100.2
- ・磯辺行久 ワッペン 1964(昭和39) エンボス、紙 30.5×19.2
- ・磯辺行久 ワッペン 1965(昭和40) リトグラフ、紙 47.5×36.3
- ・木村光佑 現在位置－存在(A) 1970(昭和45)以前 リトグラフ、シルクスクリーン、紙 73.8×103
- ・横尾忠則 葬列 II 1969(昭和44) シルクスクリーン、アクリル 74.7×114×9.5
- ・野田哲也 日記 1973年10月25日 1973(昭和48) 木版、シルクスクリーン、紙 50.7×71.3
- ・若林奮 UNDERWOOD 1 1989(平成元) リトグラフ、紙 99.2×75.6
- ・リキテンシュタイン、ロイ メロディ 1965(昭和40) シルクスクリーン、紙 69.2×58

#### 11. 没後10年 下村良之介展

貸付先 [会期] : 京都国立近代美術館 [2008(平成20)年 7月29日～8月31日]

##### 作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

- ・下村良之介 夜の曲 1951(昭和26) 顔料、紙 121×121.1
- ・下村良之介 月 1954(昭和29) 顔料、紙 121.7×121.3
- ・下村良之介 鳥のはこら 1965(昭和40) 紙粘土、顔料、紙 182×45.1、182×79.6、182×45.3
- ・下村良之介 闘鶏図屏風(度) 1978(昭和53) 墨、彩色、紙 167.5×184

#### 12. 五姓田のすべて 近代絵画への架け橋

貸付先 [会期] : 神奈川県立歴史博物館 [2008(平成20)年 8月9日～9月28日]、岡山県立美術館 [2008(平成20)年10月7日～11月9日]

##### 作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

- ・五姓田芳柳 相川龍藏守胤像 1887(明治20) 顔料、絹 127×40.3
- ・五姓田芳柳 相川鍋次郎守正像 1887(明治20) 顔料、絹 128.2×40.4

#### 13. 没後80年記念「佐伯祐三展－パリで夭折した天才画家の道」

貸付先 [会期] : 大阪市立美術館 [2008(平成20)年 9月9日～10月19日]、高松市美術館 [2008(平成20)年10月24日～12月7日]

##### 作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

- ・佐伯祐三 自画像 1919(大正8) インク、紙 29.3×19

#### 10. 版画の表現と技法

貸付先 [会期] : 岡山県立美術館 [2008(平成20)年 7月18日～8月24日]

##### 作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

- ・佐伯祐三 ベッドに坐る裸婦 1923(大正12) 油彩、キャンバス 91.1×65.5
- ・佐伯祐三 森と広場 1924(大正13)頃 油彩、キャンバス 37.5×45.2
- ・佐伯祐三 レ・ジュ・ド・ノエル 1925(大正14) 油彩、キャンバス 72.3×60.8
- ・佐伯祐三 リュ・デュ・シャトーの歩道 1925(大正14) 油彩、キャンバス 60×73.1
- ・佐伯祐三 オプセルヴァトワール付近 1927(昭和2) 油彩、キャンバス 73×92
- ・川口帆外 ボヘミアン 1928(昭和3) 油彩、キャンバス 117×80.7
- ・木下孝則 後向の裸女の習作 1925(大正14) 油彩、キャンバス 100×80.3

#### 14. 佐伯祐三とフランスヴラマンク、ユトリロ、日本の野獣派

貸付先 [会期] : ポーラ美術館 [2008(平成20)年 9月13日～3月8日]

##### 作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

- ・佐伯祐三 オワーズ河周辺風景 1924(大正13) 油彩、キャンバス 45.5×53
- ・佐伯祐三 広告のある門 1925(大正14) 油彩、キャンバス 60×73.3
- ・佐伯祐三 ベッドに坐る裸婦 1923(大正12) 油彩、キャンバス 91.1×65.5 [12月21日より貸出]
- ・佐伯祐三 森と広場 1924(大正13)頃 油彩、キャンバス 37.5×45.2 [12月21日より貸出]

#### 15. 「アジアとヨーロッパの肖像」展

貸付先 [会期] : 国立国際美術館 [2008(平成20)年 9月30日～11月24日]

##### 作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

- ・アルマンド 頭 18-7-90 1990(平成2) 油彩、キャンバス 250.7×198.5
- ・ボルタンスキー、クリスチャン モニュメント4(赤) 1986-90(昭和61-平成2) 写真、電球、他 207.7×70.2
- ・クロース、チャック 自画像 1983(昭和57) ペーパーバルブ 130.4×105.8
- ・シャーマン、シンディ 無題#131 1983(昭和58) 写真 241.5×115
- ・森村泰昌 美術史の娘 王女A 1990(平成2) 写真、透明メディア 210.7×164.8

#### 16. 熊野古道なかへち美術館開館10周年記念「野長瀬晩花展」

貸付先 [会期] : 熊野古道なかへち美術館・田辺市立美術館 [2008(平成20)年10月10日～12月7日]

##### 作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

- ・野長瀬晩花 十六羅漢図 1904(明治37) 墨、彩色、紙 117.3×58.3
- ・野長瀬晩花 被布着たる少女 1911(明治44) 顔料、絹 114.1×134.8
- ・野長瀬晩花 島の女 1916(大正5)頃 顔料、絹 145.1×51.7
- ・野長瀬晩花 門づけ 1916(大正5) 顔料、紙 131.4×30.2
- ・野長瀬晩花 三昧線を弾く女 1917(大正6)頃 顔料、絹 136.1×127
- ・野長瀬晩花 [秋の頃] 1917(大正6) 顔料、紙 165.4×183
- ・野長瀬晩花 夕陽に帰える漁夫(画稿) 1920(大正9) 木炭、墨、彩色、紙 169.4×360.5
- ・野長瀬晩花 少年像 1922(大正11) 油彩、キャンバス 85.5×46.3
- ・野長瀬晩花 巴里の女 1922(大正11) 鉛筆、水彩、紙 39×27
- ・野長瀬晩花 少女像 1923(大正12) 淡彩、紙 77.8×434
- ・野長瀬晩花 スペインの田舎の子供 1924(大正13) 顔料、寒冷紗 103.1×135.6
- ・野長瀬晩花 水汲みにゆく女(画稿) 1925(大正14) 墨、彩色、紙 53.4×55.1
- ・野長瀬晩花 風景 大正中期 顔料、紙 18×21
- ・野長瀬晩花 風景 大正中期 顔料、紙 21×18.2

## 調査・研究・発表活動および対外協力活動

### 17. 「セザンヌ主義ー父と呼ばれた画家への礼讃」展

貸付先 [会期] : 横浜美術館 [2008(平成20)年11月15日～2009(平成21)年1月25日],  
北海道立近代美術館 [2009(平成21)年2月7日～4月12日]

#### 作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

- ・国枝金三 卓上静物 1919(大正8) 油彩、キャンバス 60.6×73.2
- ・川口軌外 裸婦群像 1925(大正14)頃 油彩、キャンバス 88.2×94.1
- ・川口軌外 風景 1925(大正15)頃 油彩、キャンバス 65×81.2
- ・川口軌外 水差しのある静物 1925(大正14) 油彩、キャンバス 80×65.7
- ・ロート、アンドレ ミルマンドの城壁 制作年不詳 油彩、キャンバス 33×24
- ・ロート、アンドレ 風景 制作年不詳 水彩、紙 35.4×53.8

### 18. アメリカの見た夢 1920～30年代の絵画、写真、デザインと日本

貸付先 [会期] : 島根県立石見美術館 [2009(平成21)年1月2日～3月9日]

#### 作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

- ・石垣栄太郎 街 1925(大正14) 油彩、キャンバス 126×91
- ・石垣栄太郎 拳闘 1925(大正14) 油彩、キャンバス 75.4×91.2
- ・石垣栄太郎 キューバ島の反乱 1933(昭和8) 油彩、キャンバス 181.5×139
- ・国吉康雄 乳しばり 1921(大正10) 油彩、キャンバス 61×50.5

### 19. 畠地梅太郎展 山のいのり、人のぬくもり

貸付先 [会期] : 愛媛県美術館 [2009(平成21)年2月14日～3月29日]

#### 作者名 作品名 制作年 技法、材質 寸法(cm)

- ・恩地孝四郎 黒葡萄切子鉢 1933(昭和8) 木版、紙 13.5×26.5
- ・恩地孝四郎 邦楽座内景『新東京百景』 1929(昭和4) 木版、紙 18.6×24.3
- ・恩地孝四郎 英国大使館前『新東京百景』 1929(昭和4) 木版、紙 18.1×24
- ・平塚運一 牛久沼附近 1924(大正13) 木版、紙 18.2×27.3
- ・平塚運一 雪のニコライ堂 1930(昭和5) 木版、紙 21×30.2
- ・前川千帆 神田青物市場『新東京百景』 1930(昭和5) 木版、紙 18×24.1
- ・前川千帆 五反田駅『新東京百景』 1932(昭和2) 木版、紙 18×24.1
- ・川西英 曲馬 1929(昭和4) 木版、紙 21.4×28.2
- ・川西英 トリオ 1930(昭和5)頃 木版、紙 26.2×23.3
- ・再刊『風』1 1929(昭和4)
- ・再刊『風』4 1929(昭和4)
- ・『HANGA』15 1930(昭和5)
- ・『版芸術』3 1932(昭和7)
- ・『櫻』9 1936(昭和11)
- ・『櫻』10 1936(昭和11)
- ・『白と黒』1-4 1937(昭和12)

#### 浜田拓志

- ・平成20年度芸術拠点形成事業(ミュージアムタウン構想の推進)による鑑賞教育支援教材『この人はだれ?鑑賞カードセット』の制作
- ・「美術百科『この人はだれ』の巻」「この人は子ども」を担当、ミュージアムトーク(26-34頁参照)
- ・全国美術館会議ホームページ運営研究部会幹事
- ・田辺市立美術館協議会委員 2008年10月27日
- ・田辺市立美術館作品選定委員会委員 2008年10月27日
- ・「MOA美術館児童作品展」審査 2008年9月18日
- ・「県立美術館と近代美術館の設置」『和歌山県教育史』執筆、和歌山県教育委員会
- ・「和歌山が生んだ美術家たち」「ふるさと教育副読本 わかやま発見」執筆、和歌山県教育委員会

#### 寺口淳治

- ・「ルオーの〈ミセレーレ〉人間へのまなざし」展を担当(6-9頁参照)
- ・「コレクション展2009-秋」を担当
- ・「美術百科『この人はだれ』の巻」「50年前、100年前」を担当(26-34頁参照)
- ・「第17回わかやまソフトウェア・CGコンテスト'08」CG部門審査員、社団法人和歌山情報サービス産業協会主催、2008年10月18日
- ・「森のちから2『森の中の芸術学校』アーティスト・トーク」コーディネーター、NPO和歌山芸術文化支援協会主催、2008年11月3日
- ・「20年代・パリと佐伯祐三」講演、鳥取県立博物館、2008年6月8日
- ・「美術こわい」講演、御坊商工会館ホール、御坊ロータリークラブ主催、2009年3月27日
- ・『コレクションモダン都市文化38 装幀・カット』編集、ゆまに書房、2008年12月15日
- ・科研費研究「回覧雑誌『密室』における文学と美術の交流の研究」(課題番号19520176、2007年度～2008年度)への参加
- ・機関誌『NEWS』執筆:「本の紹介 木俣知史『画文共鳴』」No.58、「50年前、100年前」No.59、「原勝四郎についての覚書」No.60(44-45頁参照)

#### 奥村泰彦

- ・平成20年度芸術拠点形成事業(ミュージアムタウン構想の推進)による鑑賞教育支援教材『この人はだれ?鑑賞カードセット』の制作
- ・前年度事業「美術百科『色・いろいろ』の巻」ミュージアム・トーク、2008年4月8日
- ・「点と面の詩情 上前智祐・中山嘉一・坪田政彦」展を担当、ミュージアムトーク(10-12頁参照)
- ・「美術百科『この人はだれ』の巻」「この人はなに」ならびに「これは人の名前」を担当、ミュージアム・トーク(26-34頁参照)
- ・「博物館実習」講座、講義、近畿大学、2008年4月28日
- ・「和歌山市美育協会鑑賞指導研修会」講義、2008年8月8日
- ・「大阪府私学美術科教員研修会」オブザーバー、2008年8月9日
- ・「教科等別教材研究会」オブザーバー、新南小学校、2008年10月15日
- ・「全国高等学校美術・工芸教育研究会」講義、2009年2月6日
- ・「川口軌外と世界の芸術」有田経済クラブ3月例会講話、2009年3月17日
- ・「いきづく空間—モノタイプ—大船光洋・近松素子・長谷川睦」テキスト執筆、ギャラリー白3、2008年8月4日～8月9日
- ・財團法人堀江オルゴール博物館理事
- ・機関誌『NEWS』執筆:「初めての美術館、学校から」No.58、「この人はなに」No.59、「これは人の名前」、No.59(44-45頁参照)

#### 井上芳子

- ・「ルオーの〈ミセレーレ〉人間へのまなざし」展を担当、ミュージアムトーク(6-9頁参照)
- ・「美術百科『この人はだれ』の巻」「おはなし、おはなし。」を担当、ミュージアムトーク(26-34頁参照)
- ・『コレクションモダン都市文化38 装幀・カット』編集、ゆまに書房
- ・科研費研究「回覧雑誌『密室』における文学と美術の交流の研究」(課題番号19520176、2007年度～2008年度)への参加
- ・歯・口の健康に関する図画・ポスター審査(平成20年9月4日、和歌山県教育委員会健康体育課)
- ・和歌山県職員募集案内及びポスター企画コンペ審査(平成20年9月、和歌山県人事委員会)
- ・平成21年度全国高等学校総合体育大会(体操競技・新体操、ヨット競技)の競技別ポスター原画審査(平成20年10月)
- ・機関誌『NEWS』執筆:「ルオーの〈ミセレーレ〉展覧会ができるまで、とできてから」No.58、「おはなし、おはなし」No.59(44-45頁参照)

#### 植野比佐見

- ・「叙情の様式」展を担当、作品解説を執筆、ミュージアムトーク(13-17頁参照)
- ・「美術百科『この人はだれ』の巻」「この人のつながり」を担当、ミュージアムトーク(26-34頁参照)
- ・機関誌『NEWS』執筆:「叙情の様式 恩地孝四郎の『抒情』・村井正誠の『心』」No.57、「この人のつながり」No.59(44-45頁参照)

#### 奥村一郎

- ・平成20年度芸術拠点形成事業(ミュージアムタウン構想の推進)による鑑賞教育支援教材『この人はだれ?鑑賞カードセット』の制作
- ・「彼岸の美術」展を担当、ミュージアムトーク(22-25頁参照)
- ・「コレクション展 2008-夏」を担当(38-40頁参照)
- ・「美術百科『この人はだれ』の巻」「この人はわたし?」を担当、ミュージアムトーク(26-34頁参照)
- ・「浜地清松について」講演、串本町津荷集会所、2008年5月18日
- ・「彼岸の美術」『美術の窓』テキスト執筆、2008年12月号
- ・「鈴木昭男 点気」展(一宮市三岸節子記念美術館)『REAR』レビュー執筆
- ・機関誌『NEWS』執筆:「子どもたちとめぐるバックヤードツアー」No.58、「この人はわたし?」No.59(44-45頁参照)

#### 宮本久宣

- ・「共作×共鳴×共感」展を担当、作品解説を執筆、ミュージアムトーク(18-21頁参照)
- ・「美術百科『この人はだれ』の巻」「この人は家族」を担当、ミュージアムトーク(26-34頁参照)
- ・「歴史画の流行と〈日本絵画の未来〉論争」「朝妝」論争と白馬会をとりまく騒動」「近代日本の画家たち」別冊太陽 日本のこころ154」コラム執筆、平凡社、2008年8月22日
- ・機関誌『NEWS』執筆:「版画芸術の〈共演×競演×饗宴〉」No.58(44-45頁参照)
- ・「北山清太郎と大正期の美術をめぐる研究」が2008年度美術館連絡協議会の活動助成事業に採択され、調査研究を行う。

## 收集事業

### 和歌山県立近代美術館美術作品収集方針

- 日本画 1. 下村觀山、川端龍子を軸とする院展の作家たち  
2. 野長瀬晩花を軸とする国画創作協会の作家たち
- 洋画 3. 川口軌外を軸とする1930年協会、初期独立美術協会の作家たち  
4. 村井正誠を軸とする自由美術家協会、モダンアート協会の作家たち  
5. 石垣栄太郎、ヘンリー・エリス、高井貞二を軸とするアメリカで学んだ作家たち
- 版画 6. 本県にゆかりのある恩地孝四郎、田中恭吉、逸見享、吉田政次、浜口陽三らを軸とする近現代版画
- 彫刻 7. 本県にゆかりのある建畠観造、保田春彦を軸とする現代彫刻
- その他 8. 戦後美術  
ア パンリアル美術協会  
イ 走泥社  
ウ デモクラート美術家協会  
エ 具体美術協会  
9. 現代の美術  
10. 海外の美術

### 和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会委員名簿

氏名	職業
酒井哲朗	福島県立美術館館長
村田慶之輔	川崎市岡本太郎美術館館長
保田春彦	彫刻家

### 第29回美術作品選定委員会

日 時：2009(平成21)年3月12日(木) 午後1時より開催

出 席：酒井哲朗委員、村田慶之輔委員、保田春彦委員

内 容：購入候補作品ならびに寄贈候補作品について、受け入れの妥当性について協議を行った。

### 2008(平成20)年度収蔵作品点数

購入作品	15点
購入美術資料	2点
受贈作品	270点
受贈美術資料	6点
所蔵品総点数	9748点

### 2008(平成20)年度

### 購入作品

各作品の作者名、作品名、制作年、技法、材質、寸法、備考を作者名アルファベット順→制作年の順に配列



1. 石井 柏亭 ISHII Hakutei  
滞船  
1913(大正2)  
不透明水彩、紙  
52.5×73



2. 狩野 光雅 KANO Koga  
草刈の笛  
制作年不詳(昭和初期)  
顔料、絹  
153×56.7



3. 川端 龍子 KAWABATA Ryushi  
椿紅白  
1919(大正8)  
顔料、絹  
左:135.5×23.5/右:135.5×23.5



4. 浜地 清松 HAMAJI Seimatsu  
裸婦  
1928(昭和3)  
油彩、キャンバス  
144×110.5



5. 野長瀬 晩花 NONAGASE Banka  
【猫と子ども】  
制作年不詳(大正期)  
顔料、紙  
21.2×18.2



6. 恩地 孝四郎 ONCHI Koshiro  
【失題】  
1914(大正3)  
木版、紙  
11.9×11.8



7. 恩地 孝四郎 ONCHI Koshiro  
【失題】  
1914(大正3)  
木版、紙  
14×11.2



8. 野長瀬 晩花 NONAGASE Banka  
渡し場の夕  
制作年不詳(大正5頃か)  
顔料、紙  
128.5×29.6



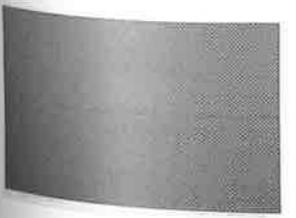
9. 恩地 孝四郎 ONCHI Koshiro  
めぐみのつゆ(私録『月映』II)  
1914(大正3)  
木版、紙  
25×11.2



10. 恩地 孝四郎 ONCHI Koshiro  
たたよへるもの  
1914(大正3)  
木版、紙  
19.5×13.6



11. 恩地 孝四郎 ONCHI Koshiro  
たたよへるもの  
1914(大正3)  
木版、紙  
19.5×13.6



12. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Drop-77-1-A  
1977(昭和52)  
シルクスクリーン、紙  
55×73



13. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Drop-77-2  
1977(昭和52)  
シルクスクリーン、紙  
51.5×72.8



14. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Drop-77-10  
1977(昭和52)  
シルクスクリーン、紙  
55×73

## 2008(平成20)年度 購入資料

各作品の作者名、作品名、制作年、  
技法、材質、寸法、備考を作者名  
アルファベット順→制作年の順に  
配列



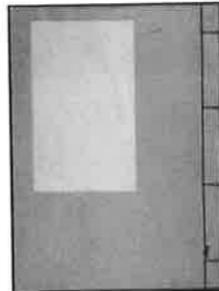
1. 北山清太郎 編集兼発行『現代の洋画』23 版画号

1914(大正3)年2月1日発行

冊子 25.8×18.5

印刷者：高木恒吉、印刷所：東京國文社、

発行所：日本洋画協会、木版機械刷版画：カンディンスキイ  
《尖塔》、岡本帰一《N.Oの肖像》《静物》《風景》《夕の街  
路》、池田永治《早春》、太田三郎《カフェの女》、フェリックス・  
ヴァロットン《うずらつかれ》所収



2. 「大阪朝日新聞」所収「版画展覧会」自筆原稿集

1913(大正2) 冊子(和紙じしん) 25×18.3

原稿：岸田劉生「木版画に就いて」、森田恒友「簡素な一芸術」、小川半蔵  
「版画の」、坂木繁次郎「昔と今の木版画」、南蕉造「版画に就きて」、木村  
莊八「木版画に就て」、津田青楓「木版画に就ての経験」、斎藤与里「木版  
画」、岡本帰一「自刻木版画に就いて」、川上涼花「木版の価値」、餘忠尚志  
「木版画に就いて」、博慈：小川翠哉《迎新年老柳》(墨画)、斎藤与里《日  
比谷公園松木棲のバルコン》(印刷)、斎藤与里《夫をつれて》(墨画)所収



10. 武田(鈴木)健夫

TAKEDA(SUZUKI) Takeo

耕作

1933(昭和8)

木版、紙 18.2×28.1

作者寄贈



11. 武田(鈴木)健夫

TAKEDA(SUZUKI) Takeo

中華街裏通り

1934(昭和9)

石膏版、紙 13.1×17.8

作者寄贈



12. 武田(鈴木)健夫

TAKEDA(SUZUKI) Takeo

りんご

1952(昭和27)

木版、紙 20.3×29.6

作者寄贈



13. 武田(鈴木)健夫

TAKEDA(SUZUKI) Takeo

ビル街

1952(昭和27)

木版、紙 42.2×35.2

作者寄贈

## 2008(平成20)年度 受贈作品

各作品の作者名、作品名、制作年、  
技法、材質、寸法、備考を作者名  
アルファベット順→制作年の順に  
配列



1. 横野 南陽 KASHINO Nanyo  
清水寺

制作年不詳

顔料、絹

127.4×35.5

川崎正継氏寄贈



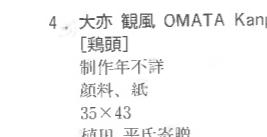
3. 大亦 観風 OMATA Kanpu  
神苑待御

大正期

顔料、絹

170.7×169

植田 平氏寄贈



4. 大亦 観風 OMATA Kanpu  
『鶴頭』

制作年不詳

顔料、紙

35×43

植田 平氏寄贈

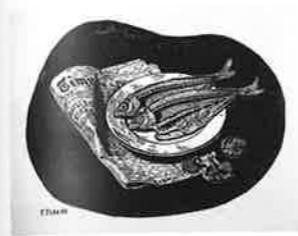
5. 大亦 観風 OMATA Kanpu  
童子図

1925(大正14)

顔料、絹

31×26.3

植田 平氏寄贈



14. 武田(鈴木)健夫

TAKEDA(SUZUKI) Takeo

ひもの

1953(昭和28)

木版、紙 30.3×40.8

作者寄贈



16. 武田(鈴木)健夫

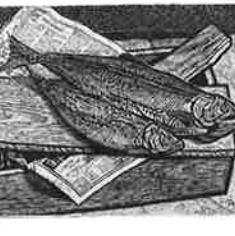
TAKEDA(SUZUKI) Takeo

とびうお

1954(昭和29)

木版、紙 19.4×29.7

作者寄贈



17. 武田(鈴木)健夫

TAKEDA(SUZUKI) Takeo

笛上静物

1956(昭和31)

木版、紙 32.6×45.9

作者寄贈



18. 武田(鈴木)健夫

TAKEDA(SUZUKI) Takeo

紫陽花

1957(昭和32)

木版、紙 44.8×33.9

作者寄贈



20. 武田(鈴木)健夫

TAKEDA(SUZUKI) Takeo

散落静物

1958(昭和33)

木版、紙 30.3×40.8

作者寄贈



21. 武田(鈴木)健夫

TAKEDA(SUZUKI) Takeo

秋刀魚 B

1960(昭和35)

木版、紙 34.8×33.5

作者寄贈



22. 武田(鈴木)健夫

TAKEDA(SUZUKI) Takeo

樹

1960(昭和35)

木版、紙 44.4×34.6

作者寄贈



23. 武田(鈴木)健夫

TAKEDA(SUZUKI) Takeo

屋根 F

1961(昭和36)

木版、紙 31.7×42.9

作者寄贈



24. 武田(鈴木)健夫

TAKEDA(SUZUKI) Takeo

屋根 Q

1962(昭和37)

木版、紙 45.1×69.2

作者寄贈



6. 清水 武次郎 SHINIZU Takejiro  
[小品]  
1960(昭和35)  
孔版、紙  
20×18.2  
清水章子氏寄贈



7. 清水 武次郎 SHINIZU Takejiro  
白い花  
1960(昭和35)  
孔版、紙  
42.9×28  
清水章子氏寄贈



8. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
雪の街(札幌市・南一條通り)/  
雪の道 札幌で  
1932(昭和7) 木版、紙 13.4×17.2  
作者寄贈



9. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
街はずれの鉄工所  
1933(昭和8) 木版、紙 22.5×20.5  
作者寄贈



26. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
屋根 G  
1962(昭和37)頃  
木版、紙 27×25.7  
作者寄贈



27. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
城 B  
1970(昭和45)頃  
木版、紙 23.5×42.8  
作者寄贈



28. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
草原 A  
1973(昭和48)  
木版、紙 21×35.4  
作者寄贈



29. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
草原・月明  
1975(昭和50)  
木版、紙 17.5×35.8  
作者寄贈



42. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
壁 A  
1984(昭和59)  
木版、紙 30.6×30.6  
作者寄贈



43. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
ペゴニア  
1985(昭和60)  
木版、紙 21.9×21.3  
作者寄贈



44. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
汐利坂から  
1988(昭和63)  
木版、紙 25.3×35.8  
作者寄贈



45. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
ヴェニス C  
1989(昭和64/平成元)  
木版、紙 29.7×25.6  
作者寄贈



30. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
木槿(むくげ)  
1975(昭和50)  
木版、紙 29×29  
作者寄贈



31. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
木槿(むくげ)  
1975(昭和50)  
木版、紙 28.5×28.9  
作者寄贈



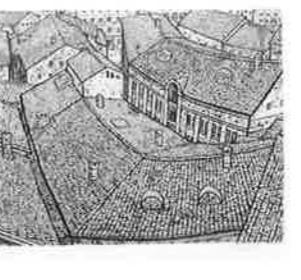
32. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
パンジー  
パンジー  
1975(昭和50)頃  
木版、紙 27.8×23  
作者寄贈



33. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
パンジー  
パンジー  
1975(昭和50)  
木版、紙 27.5×22.7  
作者寄贈



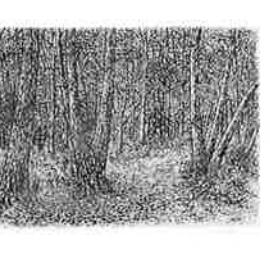
46. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
屋根 I  
1989(平成元)  
木版、紙 23×22.5  
作者寄贈



47. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
屋根 J  
1990(平成2)  
木版、紙 20.8×25.8  
作者寄贈



48. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
塔遠望  
1993(平成5)  
木版、紙 24.8×39.8  
作者寄贈



49. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
木立 A  
1995(平成7)  
木版、紙 21.4×30.6  
作者寄贈



34. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
アラビアの街 A  
1978(昭和53)  
木版、紙 27.7×24.8  
作者寄贈



35. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
アラビアの街 B  
1978(昭和53)  
木版、紙 28.3×25.9  
作者寄贈



36. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
ヴェニス A  
アラビアの街 C  
1979(昭和54)  
木版、紙 29.9×25.9  
作者寄贈



50. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
木立 B  
1996(平成8)  
木版、紙 25.9×34.9  
作者寄贈



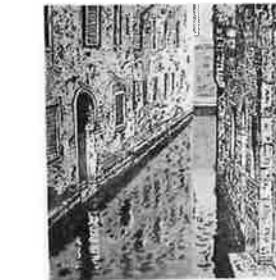
51. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
木立 C  
1998(平成10)  
木版、紙 23.9×35  
作者寄贈



52. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
夏曉  
1999(平成11)  
木版、紙 26.6×35.9  
作者寄贈



53. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
上海(1945)懷古  
2000(平成12)  
木版、紙 24.5×35.8  
作者寄贈



38. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
ヴェニス B  
1980(昭和55)  
木版、紙 31×27.1  
作者寄贈



39. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
草原・夕焼  
1980(昭和55)頃  
木版、紙 14.6×28.5  
作者寄贈



40. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
雨  
1981(昭和56)  
木版、紙 29.5×25.9  
作者寄贈



41. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
倉庫(辰巳倉庫)  
1982(昭和57)頃  
木版、紙 23×33.4  
作者寄贈



54. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
懷旧(上海・紹興棧)  
2000(平成12)  
木版、紙 20.2×31  
作者寄贈



55. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
懷旧・汽車を待つ人(上海駅)  
2002(平成14)  
木版、紙 12.8×17.3  
作者寄贈



56. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
横断歩道  
2003(平成15)  
木版、紙 19.5×28.4  
作者寄贈



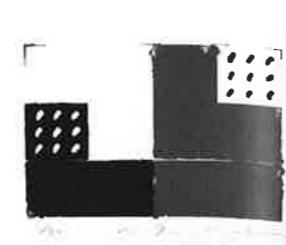
58. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
懐旧 アラビアの街 E  
2004(平成16)  
木版、紙 16.4×15.1  
作者寄贈



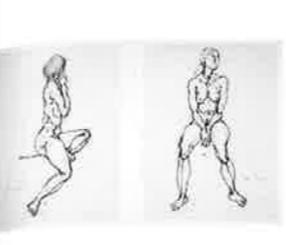
59. 武田(鈴木)健夫  
TAKEDA(SUZUKI) Takeo  
窓の姫  
2004(平成16)  
木版、紙 16.4×15.1  
作者寄贈



60 建畠 大夢 TATEHATA Taimu  
花野  
1926(大正15)  
ブロンズ  
高さ: 69.5  
堀 英之助氏寄贈



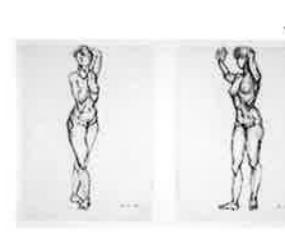
61. 坪田 政彦 TSUBOTA Masahiko  
彩・境一A  
2008(平成20)  
リトグラフ、シルクスクリーン、紙  
10.1×15.1  
和歌山県立近代美術館友の会寄贈



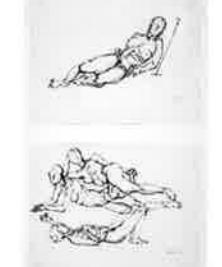
74. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左: コンテ、ペン、紙/右: ペン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



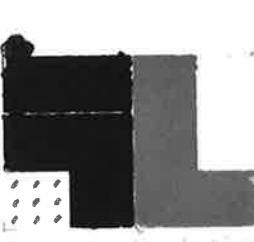
75. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
色鉛筆、ペン、紙  
左: 35.7×30.1/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



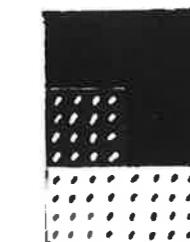
76. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



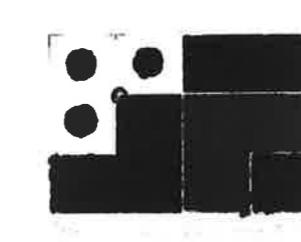
77. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
コンテ、ペン、紙  
上: 26.8×35.7/下: 26.8×35.7  
作者寄贈



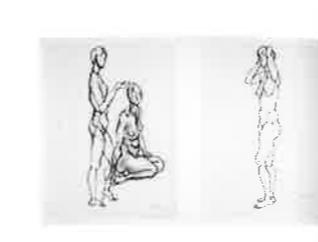
62. 坪田 政彦 TSUBOTA Masahiko  
彩・境一B  
2008(平成20)  
リトグラフ、シルクスクリーン、紙  
10.1×15.1  
和歌山県立近代美術館友の会寄贈



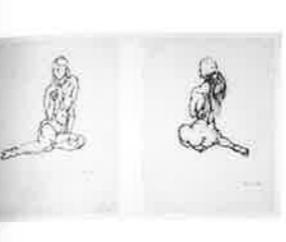
63. 坪田 政彦 TSUBOTA Masahiko  
玄・境一A  
2008(平成20)  
リトグラフ、シルクスクリーン、紙  
15.1×10.1  
和歌山県立近代美術館友の会寄贈



64. 坪田 政彦 TSUBOTA Masahiko  
玄・境一B  
2008(平成20)  
リトグラフ、シルクスクリーン、紙  
10.1×15.1  
和歌山県立近代美術館友の会寄贈



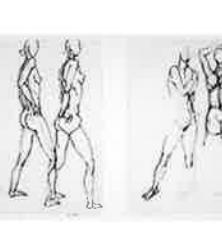
65. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
リトグラフ、シルクスクリーン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



78. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



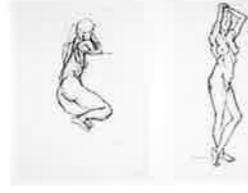
80. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.8  
作者寄贈



81. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左: ペン、紙/右: ペン、コンテ、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



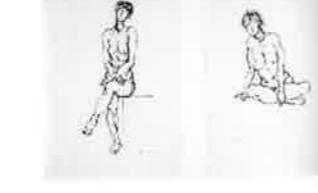
66. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左: 色鉛筆、紙  
右: 色鉛筆、コンテ、紙  
左: 35.7×26.8/右: 35.7×26.8  
作者寄贈



67. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
ペン、紙  
左: 35.7×26.8/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



68. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
色鉛筆、紙  
左: 26.8×35.8/下: 26.8×35.7  
作者寄贈



79. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左: 色鉛筆、紙  
右: 色鉛筆、ペン、紙  
左: 35.7×26.8/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



83. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
上: ペン、紙/下: ペン、コンテ、紙  
上: 26.9×35.7/下: 26.9×35.7  
作者寄贈



84. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
上: 水彩、ペン、コンテ、紙  
下: ペン、コンテ、紙  
上: 26.9×35.7/下: 26.9×35.7  
作者寄贈



85. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
上: 水彩、ペン、コンテ、紙  
下: ペン、コンテ、紙  
上: 26.9×35.7/下: 26.9×35.7  
作者寄贈



70. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
上: ペン、色鉛筆、紙/下: ペン、紙  
上: 28.8×35.7/下: 26.9×35.7  
作者寄贈



71. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
ペン、コンテ、紙  
左: 35.7×26.8/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



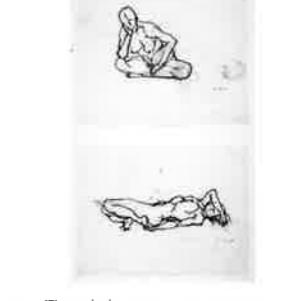
72. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
ペン、コンテ、紙  
左: 35.7×26.8/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



86. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
ペン、コンテ、紙  
左: 26.9×35.7/下: 29.7×35.7  
作者寄贈



87. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
ペン、コンテ、紙  
左: 26.9×35.7/下: 26.8×35.7  
作者寄贈



88. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
色鉛筆、紙  
左: 色鉛筆、ペン、紙  
右: 色鉛筆、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



89. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左: 色鉛筆、ペン、紙  
右: 色鉛筆、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



90. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
コンテ、ペン、紙  
上：26.9×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈



91. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：色鉛筆、コンテ、ペン、紙  
右：色鉛筆、紙  
左：35.7×26.8/右：35.7×26.8  
作者寄贈



92. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：ペン、コンテ、紙  
右：色鉛筆、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



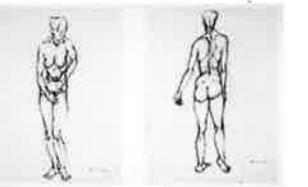
93. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：色鉛筆、紙/右：コンテ、紙  
左：35.7×26.8/右：35.7×26.8  
作者寄贈



106. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：色鉛筆、紙  
上：コンテ、ペン、紙  
下：コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.8/右：35.7×26.8  
作者寄贈



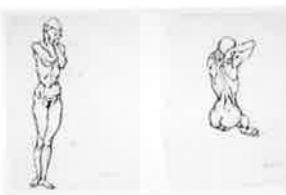
107. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
上：色鉛筆、紙  
下：コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



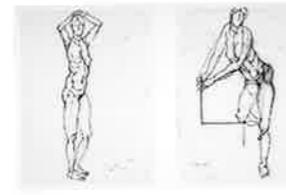
108. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：色鉛筆、紙  
上：コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



109. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
色鉛筆、紙  
上：35.7×26.9/下：35.7×26.9  
作者寄贈



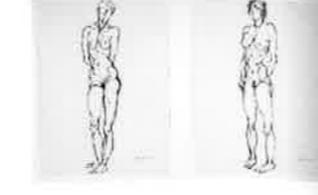
94. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：ペン、紙/右：ペン、コンテ、紙  
左：35.7×26.8/右：35.7×26.8  
作者寄贈



95. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：ペン、紙/右：ペン、コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



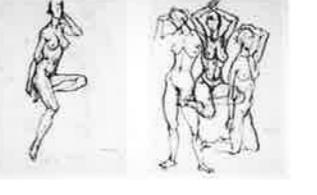
96. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：ペン、コンテ、紙  
左：35.7×26.8/右：35.7×26.8  
作者寄贈



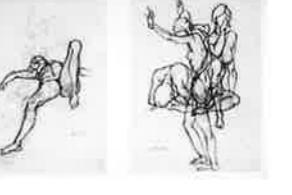
97. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



110. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、ペン、紙/下：ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



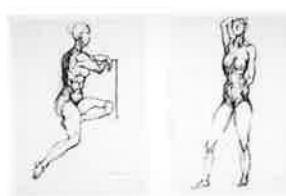
111. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



112. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



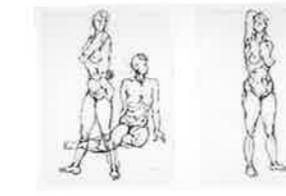
113. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/下：26.9×35.7  
作者寄贈



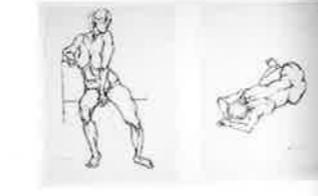
98. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



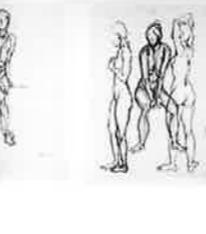
99. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：29.5×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈



100. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



101. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



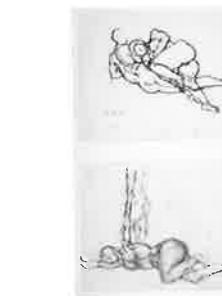
114. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



115. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：26.9×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈



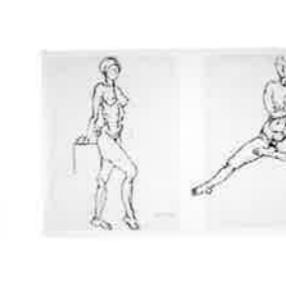
116. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



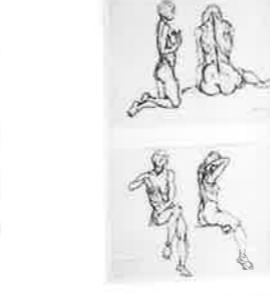
102. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：26.9×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈



103. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



104. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×30.4  
作者寄贈



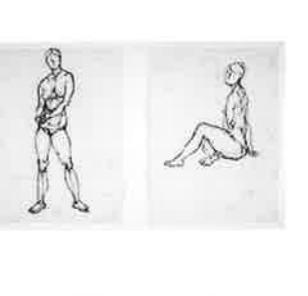
105. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：26.9×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈



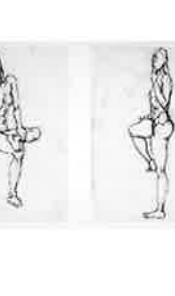
117. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



118. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



119. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



120. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、紙  
左：35.7×26.8/右：35.7×26.8  
作者寄贈



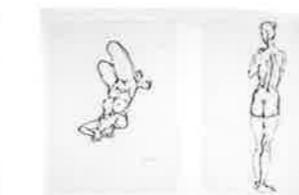
122. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
上：コンテ、ペン、紙  
下：色鉛筆、ペン、紙  
上：26.9×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈



123. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
コンテ、ペン、紙  
右：35.7×26.9/左：35.7×26.9  
作者寄贈



124. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



125. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：37×26.9  
作者寄贈



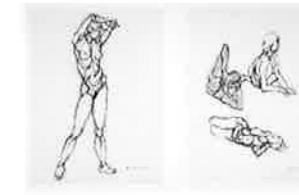
138. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
左：2007(平成19)  
右：2007-08(平成19-20)  
色鉛筆、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



139. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
左：2007(平成19)  
右：2007-08(平成19-20)  
色鉛筆、紙  
左：35.7×27/右：35.7×26.9  
作者寄贈



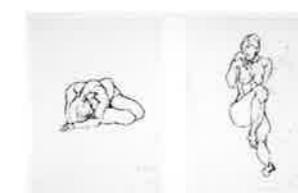
140. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
左：2007(平成19)  
右：2007-08(平成19-20)  
左：ペン、コンテ、紙  
右：水彩、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



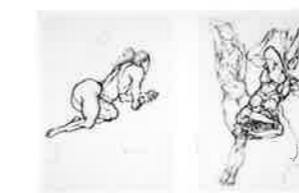
141. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
左：2008(平成20)  
右：2007(平成19)  
左：ペン、コンテ、紙  
右：水彩、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



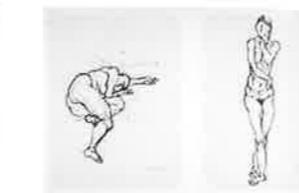
126. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



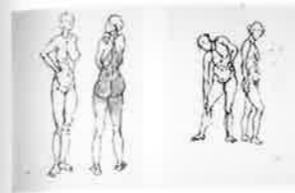
127. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



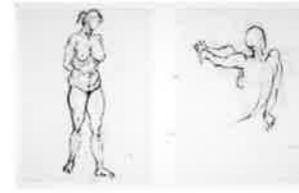
128. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、ペン、紙  
右：コンテ、ペン、色鉛筆、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



129. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：ペン、紙/右：ペン、色鉛筆、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



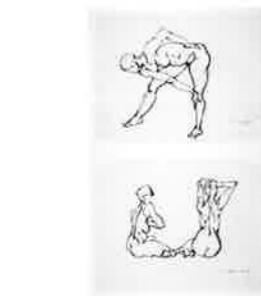
142. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
左：2007-08(平成19-20)  
右：2007(平成19)  
左：水彩、ペン、コンテ、紙  
右：ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



143. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
左：2007-08(平成19-20)  
右：2007(平成19)  
左：コンテ、ペン、紙  
右：色鉛筆、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



144. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
左：2008(平成20)  
右：2007(平成19)  
左：コンテ、ペン、紙  
右：コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



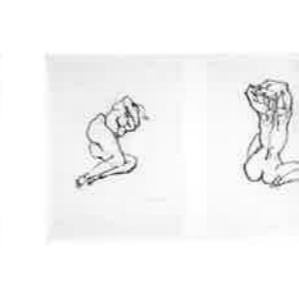
130. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
ペン、紙  
上：26.9×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈



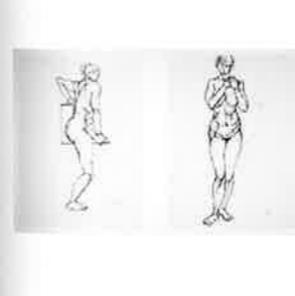
131. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



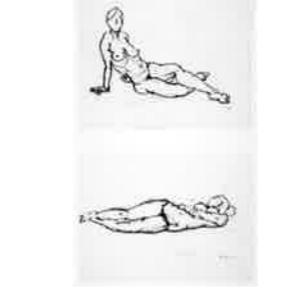
132. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：コンテ、ペン、紙/右：ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



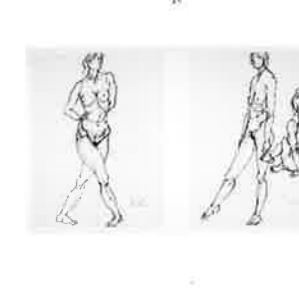
133. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
色鉛筆、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



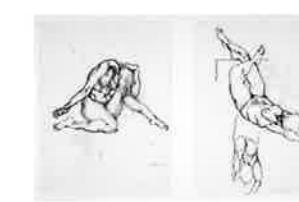
146. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
左：2007(平成19)  
右：2007-08(平成19-20)  
左：コンテ、ペン、紙  
右：コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



147. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
上：2007-08(平成19-20)  
下：2007(平成19)  
上：コンテ、紙  
右：コンテ、ペン、紙  
左：35.7×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈



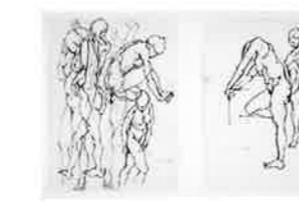
148. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
左：2008(平成20)  
右：2007(平成19)  
左：水彩、ペン、紙  
右：コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



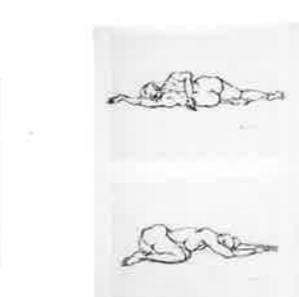
134. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



135. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：色鉛筆、ペン、紙/右：ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



136. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007(平成19)  
左：色鉛筆、コンテ、ペン、紙  
右：ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



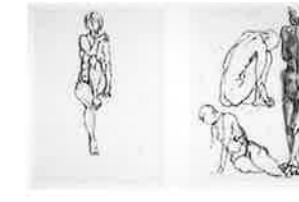
137. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
上：2007(平成19)  
下：2009(平成21)  
上：ペン、紙/下：色鉛筆、紙  
上：26.9×39.6/下：26.9×35.7  
作者寄贈



150. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
上：2007(平成19)  
下：2007-08(平成19-20)  
ペン、紙  
上：26.9×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈

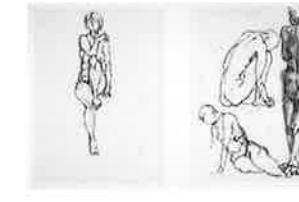


151. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
上：2007(平成19)  
下：2008(平成20)  
上：水彩、コンテ、ペン  
右：コンテ、ペン、紙  
上：26.9×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈

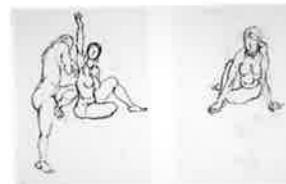


152. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン

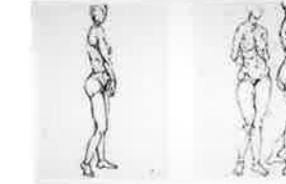
2007-08(平成19-20)  
左：ペン、紙  
右：水彩、コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



153. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007-08(平成19-20)  
左：コンテ、紙  
右：水彩、コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



154. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007-08(平成19-20)  
左: 色鉛筆、ペン、紙  
右: 色鉛筆、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



155. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007-08(平成19-20)  
左: ペン、コンテ、紙  
右: ペン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



156. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007-08(平成19-20)  
左: ペン、コンテ、紙  
右: ペン、紙  
左: 38.5×39/右: 38.5×39  
作者寄贈



157. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007-08(平成19-20)  
上: 水彩、コンテ、ペン、紙  
下: コンテ、ペン、紙  
上: 26.9×35.7/下: 26.9×35.7  
作者寄贈



170. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
左: コンテ、ペン、紙  
右: コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×27/右: 35.7×27  
作者寄贈



171. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×27/右: 35.7×27  
作者寄贈



172. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×27/右: 35.7×27  
作者寄贈



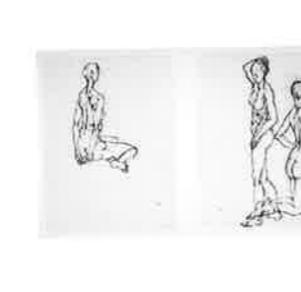
173. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×27/右: 35.7×27  
作者寄贈



158. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007-08(平成19-20)  
上: コンテ、ペン、紙  
下: コンテ、ペン、紙  
上: 26.9×35.7/下: 26.9×35.7  
作者寄贈



159. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007-08(平成19-20)  
コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



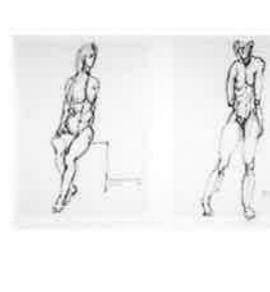
160. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007-08(平成19-20)  
右: ペン、紙/左: コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



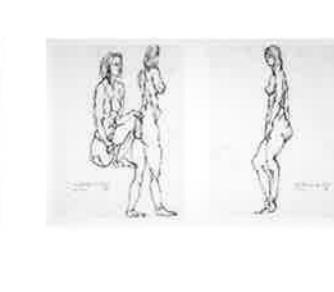
161. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2007-08(平成19-20)  
上: 水彩、ペン、紙  
下: コンテ、ペン、紙  
上: 26.9×35.7/下: 26.9×35.7  
作者寄贈



174. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×27/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



175. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



176. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



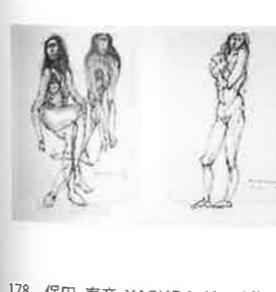
162. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
上: 2007-08(平成19-20)  
下: 2008(平成20)  
左: コンテ・ペン  
右: コンテ・ペン、紙  
左: 26.9×35.7/右: 26.9×35.7  
作者寄贈



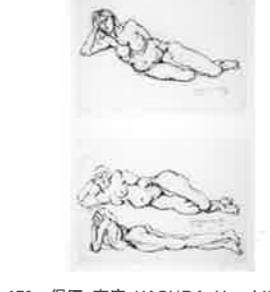
163. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
左: 2008(平成20)  
右: 2007-08(平成19-20)  
ペン、コンテ、紙  
左: 35.7×26.9/右: 38.3×26.9  
作者寄贈



164. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
左: 2008(平成20)  
右: 2007-08(平成19-20)  
ペン、コンテ、紙  
左: 38.1×26.9/右: 38.7×26.9  
作者寄贈



178. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
左: コンテ、ペン、水彩、紙  
右: コンテ、ペン、紙  
左: 39.6×26.9/右: 38.1×26.9  
作者寄贈



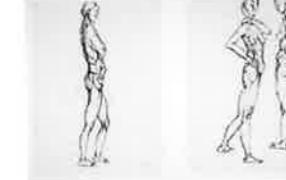
180. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
上: コンテ、ペン、水彩、紙  
下: コンテ、ペン、紙  
上: 26.9×35.7/下: 26.9×35.7  
作者寄贈



181. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
上: 27×35.7/下: 26.9×35.7  
作者寄贈



166. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
左: 2008(平成20)  
右: 2007-08(平成19-20)  
ペン、コンテ、紙  
左: 35.7×27.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



167. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
左: 2007-08(平成19-20)  
右: 2008(平成20)  
ペン、コンテ、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



168. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
上: 2007-08(平成19-20)  
下: 2008(平成20)  
左: コンテ・ペン、紙  
右: 水彩、コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 38.8×27  
上: 26.9×35.7/下: 26.9×35.7  
作者寄贈



182. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
左: コンテ、ペン、紙  
右: 水彩、コンテ、ペン、紙  
左: 35.6×27/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



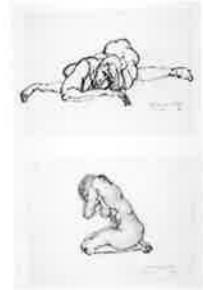
183. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
左: コンテ、ペン、紙  
右: 水彩、コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



184. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
左: 水彩、コンテ、ペン、紙  
右: コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 35.7×26.9  
作者寄贈



185. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
上: 27×38.6/下: 29.3×39  
作者寄贈



186. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
上: コンテ、ペン、紙/  
下: 水彩、コンテ、ペン、紙  
上: 27×35.7/下: 26.9×35.6  
作者寄贈



187. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.3×52.6  
作者寄贈



188. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



189. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
39.6×52.6  
作者寄贈



202. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
水彩、コンテ、ペン、紙  
39.8×52.9  
作者寄贈



203. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



204. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×52.5  
作者寄贈



205. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×52.5  
作者寄贈



190. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



191. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
55.2×37.1  
作者寄贈



192. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
56×37.2  
作者寄贈



193. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



206. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



207. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



208. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.5×37.2  
作者寄贈



209. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



194. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
水彩、コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



195. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
水彩、コンテ、ペン、紙  
51.6×40.5  
作者寄贈



196. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



197. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



210. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×52.5  
作者寄贈



211. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



212. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



213. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



198. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.1  
作者寄贈



199. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
水彩、コンテ、ペン、紙  
52.5×37.2  
作者寄贈



200. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.5×37.2  
作者寄贈



201. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



214. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
水彩、コンテ、ペン、紙  
51.6×36.6  
作者寄贈



215. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
51.6×36.6  
作者寄贈



216. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.1  
作者寄贈



217. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
水彩、コンテ、ペン、紙  
39.1×51.6  
作者寄贈



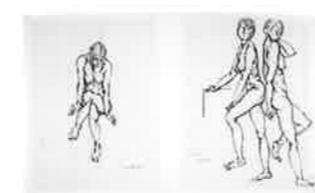
218. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.5×37.2  
作者寄贈



219. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×52.6  
作者寄贈



220. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
水彩、コンテ、ペン、紙  
51.6×36.6  
作者寄贈



221. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×26.9/右: 357×28.6  
作者寄贈



234. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×52.5  
作者寄贈



235. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



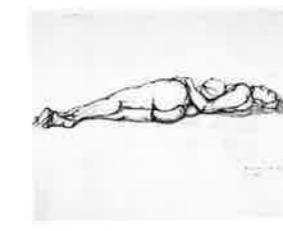
236. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×52.5  
作者寄贈



237. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×52.5  
作者寄贈



222. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×52.5  
作者寄贈



223. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×52.5  
作者寄贈



224. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
水彩、コンテ、ペン、紙  
39.6×52.6  
作者寄贈



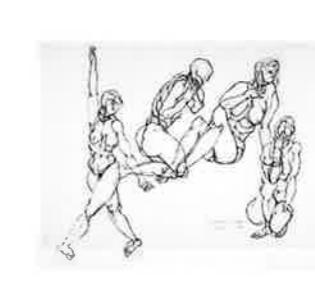
225. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
51.7×36.6  
作者寄贈



238. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
色鉛筆、コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



239. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×52.5  
作者寄贈



240. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
40.4×52.6  
作者寄贈



241. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
水彩、コンテ、ペン、紙  
52.5×37  
作者寄贈



226. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×49.1  
作者寄贈



227. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
40.1×52.6  
作者寄贈



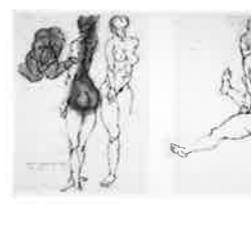
228. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
36.6×51.6  
作者寄贈



229. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×52.6  
作者寄贈



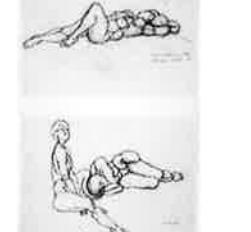
242. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.1  
作者寄贈



243. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
左: 水彩、コンテ、ペン、紙/  
右: コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×26.8/右: 35.7×29  
作者寄贈



244. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
水彩、コンテ、ペン、紙  
左: 35.7×26.8/右: 35.7×29  
作者寄贈



245. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
上: 26.9×35.7/下: 26.9×35.7  
作者寄贈



230. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×52.6  
作者寄贈



231. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
36.6×51.6  
作者寄贈



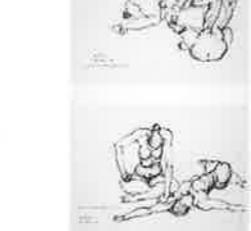
232. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
52.6×37.2  
作者寄贈



233. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
37.2×52.6  
作者寄贈



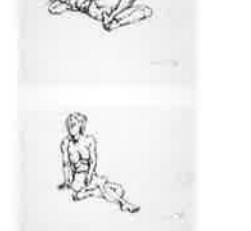
246. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
上: 26.9×35.7/下: 26.9×37.8  
作者寄贈



247. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
上: 39×27/右: 35.7×27  
作者寄贈



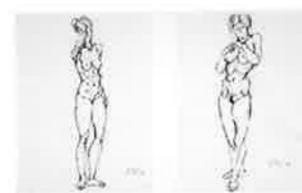
248. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
上: 26.9×35.7/下: 26.9×35.7  
作者寄贈



249. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
上: 26.9×35.7/下: 26.9×35.7  
作者寄贈



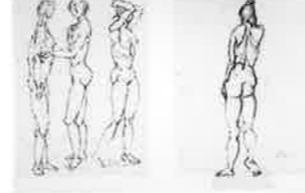
250. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
ペン、コンテ、紙  
上：26.9×35.7/下：29.7×35.7  
作者寄贈



251. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
ペン、コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



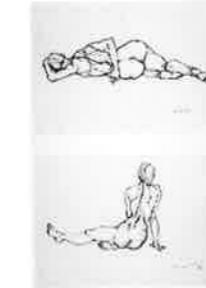
252. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
左：水彩、ペン、紙  
右：ペン、コンテ、紙  
左：35.7×26.8/右：38.6×26.9  
作者寄贈



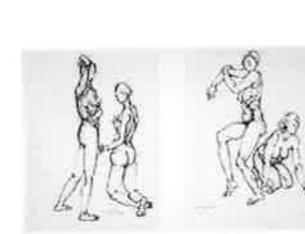
253. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
ペン、コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



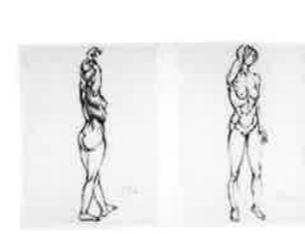
254. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20) ペン、コンテ、紙  
上：26.9×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈



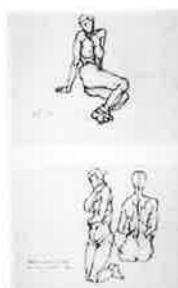
255. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20) ペン、コンテ、紙  
左：35.7×38.6/下：26.9×35.7  
作者寄贈



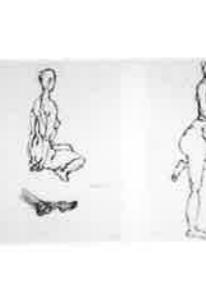
256. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20) ペン、コンテ、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



257. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20) コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



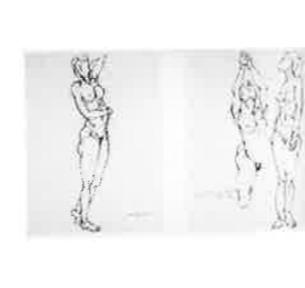
258. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
コンテ、ペン、紙  
上：26.9×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈



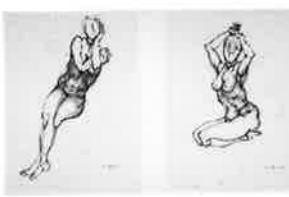
259. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
左：水彩、紙  
右：コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



260. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
左：コンテ、ペン、紙  
右：コンテ、ペン、紙  
左：35.7×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈



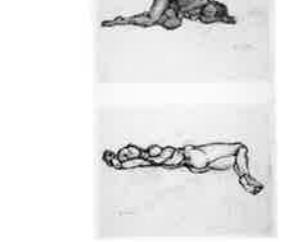
261. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
左：コンテ、ペン、紙  
右：ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



262. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
左：水彩、コンテ、ペン、紙  
右：コンテ、ペン、紙  
左：35.7×26.9/右：35.7×26.9  
作者寄贈



263. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
上：コンテ、ペン、紙  
下：水彩、コンテ、ペン、紙  
上：26.9×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈



264. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
デッサン  
2008(平成20)  
上：水彩、コンテ、ペン、紙  
下：コンテ、ペン、紙  
上：26.9×35.7/下：26.9×35.7  
作者寄贈

## 2008(平成20)年度 受贈資料

作家名アルファベット順→制作年の順に配列

### No. 作者名 作品名 制作年 技法、材料 尺寸(cm) 備考

1. 日高昌克 外山卯三郎宛書簡 年不詳 4月5日付 墨、紙 14.7×58.9 海保勇氏寄贈
2. 日高昌克 外山卯三郎宛書簡 年月不詳14日付 墨、紙 21×60.2 海保勇氏寄贈
3. 日高昌克 外山卯三郎宛書簡 年月日不詳 墨、紙 11.5×53.3 海保勇氏寄贈
4. 日高昌克 外山卯三郎宛書簡 年月日不詳 墨、紙 上：19.6×66.2/下：17.7×66.3 海保勇氏寄贈
5. 日高昌克 外山卯三郎宛書簡 年月不詳13日付 墨、紙 13.4×52 海保勇氏寄贈
6. 日高昌克 林田重正宛書簡 年月日不詳 墨、紙 上より：13.8×37.9/11.9×45.4/14.9×39.6/13.3×38/14.9×33 海保勇氏寄贈

## 2008(平成20)年度 図書資料収集

### 逐次刊行物 96冊

- ・アサヒカメラ 12冊
- ・イラストレーション 6冊
- ・インターネットコミュニケーション 1冊
- ・季刊 銀花 4冊
- ・芸術新潮 12冊
- ・新建築 12冊
- ・デザインの現場 6冊
- ・版画芸術 4冊
- ・美術研究 3冊
- ・美術手帖 14冊
- ・Prints21 3冊
- ・炎芸術 4冊
- ・アトリエ 2冊 [1924(大正13)年：3、10]
- ・現代の洋画 5冊 [1913(大正2)年：14、16、17、18、19]
- ・工芸 1冊 [1934(昭和9)年、44]
- ・日本版外国美術雑誌 4冊 [1933(昭和8)年、1-1、1-2、1-3、1-4]
- ・美之国 3冊 [1928(昭和3)年：4-8、1933(昭和8)年：9-8、1938(昭和13)年：14-5]

### 単行本 5冊

- ・『近代日本アート・カタログ・コレクション 85 東京影工会 第1巻』ゆまに書房、2008(平成20)年
- ・『近代日本アート・カタログ・コレクション 86 東京影工会 第2巻』ゆまに書房、2008(平成20)年
- ・『近代日本アート・カタログ・コレクション 87 東京影工会 第3巻』ゆまに書房、2008(平成20)年
- ・『近代日本アート・カタログ・コレクション 88 構造社・新構造社 全1巻』ゆまに書房、2008(平成20)年
- ・『近代日本アート・カタログ・コレクション 89 彫塑会ほか 全1巻』ゆまに書房、2008(平成20)年

## 1. 所蔵作品の状態調査

展示、貸出の機会にあわせて継続的に所蔵品の状態を調査し、保存上の対策を必要とする作品については、マウントや額裏板の改良・交換を中心に行なった。特殊な知識・技術を要する作品については、館外の専門家に指導および処置を依頼した。

## 2. 所蔵作品の保存修復

状態調査の結果、修復が必要とされた作品のうち、展示に耐えない特に危険な状態の作品を優先して館外の専門家に委託し保存修復処置を行った。また、マウントのない作品のうち、展示予定の作品を優先して館外の専門家に依頼し、マットおよび額を装備した。

处置作品：油彩画 2 点、版画58点

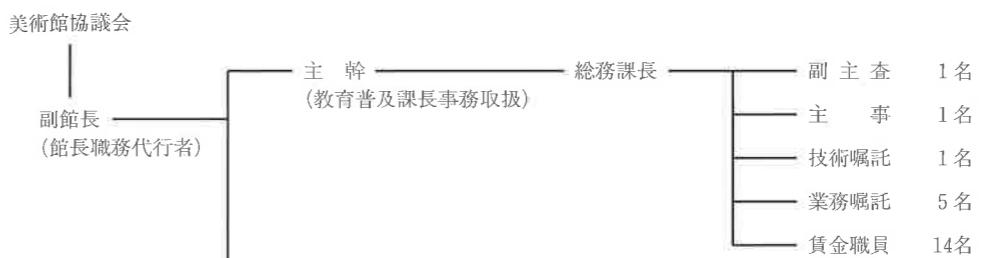
作家名 作品名/主な処置 材質、技法 処置者

- ・木下義謙 横たわる裸婦の習作 油彩、キャンバス 修復研究所21  
調査・記録、浮き上がり接着、洗浄、変形修正、耳補強、充填整形、補彩、防かび・殺菌、ワニス塗布、木枠
  - ・木下雅子 肘をつく女 油彩、キャンバス 修復研究所21  
調査・記録、浮き上がり接着、洗浄、変形修正、充填整形、補彩、防かび・殺菌、ワニス塗布
  - ・ルオー、ジョルジュ『ミセレーレ』58点 銅版、紙 アートスタジオMT  
調査・記録、フラットニング、ボード2枚貼り合わせによる特性マット制作、和紙ヒンジによるブック形式マット装、額の裏板交換

### 3. 保存環境の整備

- ・総合虫害管理システムにより、外部の専門家に委託してモニタリングを4回実施(6月、8月、11月、平成21年3月)。
  - ・モニタリング結果にもとづき、収蔵庫1および2の床前面について清掃・除菌作業(8月、2月)。
  - ・モニタリング結果にもとづき、学芸員室、展示資材倉庫、機械室のブンガノンによる燻蒸を実施。
  - ・「点と面の詩情」展搬入作品の一部について、エキヒュームによる被覆燻蒸を実施。
  - ・荷解室 一時保管庫、作業室の湿度を安定させるために、毎日1～2回の測定と除湿機、送風機の運転を継続しておこなった。

## 組織と業務



### 〈業務内容〉

- 1 事務の企画及び処理の総括、調整に関する事。
  - 2 公印の保管に関する事。
  - 3 職員の人事、研修、服務等に関する事。
  - 4 給与、旅費及び福利厚生に関する事。
  - 5 歳入歳出予算の編成に関する事。
  - 6 公文書に関する事。
  - 7 広報に関する事。
  - 8 近代美術館友の会に関する事。
  - 9 施設、設備の管理、警備及び消防防災に関する事。
  - 10 館内の秩序維持に関する事。
  - 11 美術品の購入及び寄付物品の受入事務に関する事。
  - 12 備品購入及び物品調達に関する事。
  - 13 文書の収受、発送に関する事。
  - 14 その他学芸課の所管に属さない事。

— (教育普及課長) ————— 主査学芸員 1名

- 学芸員 1名

一 学芸課長                  主査学芸員 2名

- 学芸員 1名

職員現況調

区分	事務	学芸	技術	嘱託	計	備考
館長	—	—	—	—	—	
副館長	1	—	—	—	1	館長職務代行
主管	—	1	—	—	1	教育普及課長事務取扱
総務課	3	—	1	5	9	電気技師1名
教育普及課	—	2	—	—	3	
学芸課	—	4	—	—	4	
計	4	7	1	5	17	

## 機構及び職員配置図

副館長(館長職務代理)：猪谷 悅夫

主幹(教育普及課長事務取扱)：浜田 拓志

課名	課長名	所属職員(職) 氏名
総務課	木地尾 整	副主査：村上英一、主事：堀田礼子、電気技師：岡崎修典 嘱託：沖 綾子、栗生恵里、小向由梨、小出紫織、橋詰友理
教育普及課	(教育普及課長) 事務取扱 浜田 拓志	主査学芸員：奥村泰彦 学芸員：奥村一郎
学芸課	寺口 淳治	主査学芸員：井上芳子、植野比佐見 学芸員：宮本久宣

## 和歌山県立近代美術館協議会委員

任期2年：2008(平成20)年11月3日～2010(平成22)年11月2日

氏名(○会長)	役 職	備 考
井上 節子	NPO法人和歌山芸術文化支援協会理事長	
榎本 長治	会社社長	
木下 純子	医師(元和歌山市保健所所長)	
酒井 哲朗	福島県立美術館館長	
島 正博	会社社長	
○島村 安彦	会社社長	
谷 奈々	財和歌山社会経済研究所主任研究員	
中井 由純	県美術家協会会长	
三國 和美	紀の川市社会教育委員長	
村田慶之輔	川崎市岡本太郎美術館館長	
保田 春彦	彫刻家	
山脇佐江子	姫路市立美術館館長	

氏名五十音順

2010(平成22)年3月31日現在 委員13名

## 第50回和歌山県立近代美術館協議会

2009(平成21)年3月13日15時より開催。2008(平成20)年度事業報告、2009(平成21)年度事業計画など、当館の運営について協議が行われた。

## 2008(平成20)年度 展覧会入館者数

展覧会名	企画展								常設展				
	コレクション展春	コレクション展夏	コレクション展秋	合計	コレクション展春	コレクション展夏	コレクション展秋	合計	コレクション展春	コレクション展夏	コレクション展秋	合計	
美術百科「色・いろいろ」の巻	4月1日～4月6日	4月19日～5月25日	6月3日～7月13日	7月20日～8月31日	9月13日～10月26日	11月2日～12月14日	12月23日～3月31日	合計	4月15日～6月29日	7月8日～9月23日	10月4日～12月7日	合計	
叙情の様式													
共作×共鳴×共感													
ともに作られた作品たち													
人間へのまなざし													
ルオーの「ミセレーレ」													
上前智祐・山中嘉一・坪田政彦展													
彼岸の美術													
美術百科「この人はだれ」の巻													
日 数	6	32	36	37	38	37	74	260	66	67	56	189	
個 人	一般	440	1460	783	2523	859	765	3861	10691	3020	1620	1273	5913
有料	団体		64	44	51	20	20	352	551	51	20		71
紀 陽	132	51		181	122	100			586	195	193	146	534
友 の 会	14	54	41	51	80	41	176	457		73	48	45	166
メールマガジン	2	22	10	48	26	11	77	196		69	37	24	130
バ ス	4		8	43	16	18		89				10	10
大 学 生	一般	8	70	47	171	93	32	296	717	234	86	72	392
バ ス										6	3	1	10
高 齢 者	190	617	335	471	257	321	1094	3285		5	1	6	6
障 害 者	32	123	88	116	63	64	258	744		82	58		140
そ の 他	192	547	277	563	519	389	1078	3565		559	456	341	1356
県内留学生		7	2		4	7	1	21		160	100	81	341
高 校 生	10	63	45	313	59	35	212	737		602	518	413	1533
中 学 生	18	51	30	2489	158	37	123	2906		2	5	1	8
小 学 生	68	88	55	354	74	53	490	1182		289	175	132	596
幼 児	46	67	46	102	47	34	180	522		2471	210	62	2743
团 体		496	367	167	130	208	2742	4110		377	116	80	573
小 計	556	2108	1245	4575	1311	1148	6288	17231		111	60	46	217
合 計	1156	3831	2180	7651	2537	2135	11062	30552		273	620	187	1080
有 料	バ ス	49						110	159	4926	2318	1343	8587
無 料	高 齢 者	190	617	335	471	257	321	1094	3285	8579	4326	2914	15819
日 数	個人								大 学 生				小 計
449	一般	16604	622	1120	623	326	99	1109		33	17	20533	
バ ス	高 齢 者	4641	1085	5098		29	1333	5649	1755	739	5190	25818	46371
無 料	障 害 者												合 計

紀陽：紀陽文化財団の助成による入館者、その他：招待券、招待状、優待券による入館者

メールマガジン：メールマガジン持参による入館者、バス：「ミュージアムぐるっとバス関西2008」による入館者

# 関係法規

## ○和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

昭和45年10月6日

条例第64号

改正 平成6年3月30日条例第18号

和歌山県立近代美術館設置および管理条例をここに公布する。

和歌山県立近代美術館設置及び管理条例 (平6条例18・改称)

### (設置)

第1条 近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の観覧に供するとともに、美術に関する資料の調査、研究等を行い、もって美術文化の向上に資するため、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)を設置する。

(平6条例18・一部改正)

### (位置)

第2条 近代美術館は、和歌山市吹上一丁目4番14号に置く。

(平6条例18・一部改正)

### (事業)

第3条 近代美術館は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 近代美術に関する作品その他の近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供すること。
- (2) 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、研究会、講習会等の開催及び資料の刊行

(平6条例18・一部改正)

### (使用料)

第4条 近代美術館を使用する者は、和歌山県使用料及び手数料条例(昭和22年和歌山県条例第28号)の定めるところにより、使用料を納めなければならない。

### (委任)

第5条 近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

### 付 則

この条例は、昭和45年11月2日から施行する。

附 則 (平成6年3月30日条例第18号)

この条例は、平成6年4月1日から施行する。

## ○和歌山県立近代美術館管理規則

昭和45年10月22日

教育委員会規則第20号

改正 昭和53年4月1日教育委員会規則第12号

昭和56年5月28日教育委員会規則第7号

昭和63年3月31日教育委員会規則第13号

平成元年3月31日教育委員会規則第7号

平成6年3月31日教育委員会規則第8号  
平成13年3月30日教育委員会規則第11号  
平成17年2月25日教育委員会規則第2号  
平成19年3月30日教育委員会規則第15号

和歌山県立近代美術館管理規則を次のように定める。

### 和歌山県立近代美術館管理規則

#### (目的)

第1条 この規則は、和歌山県立近代美術館設置及び管理条例(昭和45年和歌山県条例第64号。以下「条例」という。)第5条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)の管理に関し法令、条例及び他の規則に定めのあるものを除くほか、必要な事項を定めることを目的とする。

#### (開館時間)

第2条 近代美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 館長は、特別の事情がある場合においては、前項の開館時間を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。

#### (休館日)

第3条 近代美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い土曜日、日曜日又は休日でない日)
  - (2) 年始(1月1日から同月3日まで)
  - (3) 年末(12月29日から同月31日まで)
  - (4) 前各号に定めるものほか、特別の事情により館長が臨時に休館を必要と認め、教育長の承認を得た日
- 2 館長は、必要があると認めるとき、その他特別の事情があるときは、前項第1号から第3号までに掲げる休館日を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。
- 3 非常変災その他急迫の事情があるときは、館長は、臨時に休館することができる。この場合においては、館長は、次に掲げる事項を直ちに教育長に報告するものとする。
- (1) 休館の期間
  - (2) 非常変災その他急迫の事情の概要
  - (3) その他必要と認める事項

#### (職員)

第4条 近代美術館に、館長のほか必要な職員を置く。

#### (課の設置及び所掌事務)

第5条 近代美術館に、次の課を置く。

総務課

教育普及課

学芸課

2 総務課においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 館長印、館印その他公印の管守に関する事。
- (2) 職員の身分、服務その他人事に関する事。
- (3) 文書の収受、発送、編さん及び保存に関する事。
- (4) 予算、決算及び会計に関する事。
- (5) 近代美術館の施設、設備及び物品の管理に関する事。
- (6) その他学芸課の主管に属しない事。

3 教育普及課においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 美術に関する知識の向上及び普及並びに美術の振興に関する事。
  - (2) 学校等の教育、学術又は文化に関する諸施設に対する助言及び支援並びに当該施設との協力に関する事。
  - (3) 国内外の美術館等関係諸団体との連絡及び協力に関する事。
  - (4) 近代美術に関する展覧会、講演会及び研究会等の立案、調整及び実施に関する事。
  - (5) 美術館活動(美術品等の展示及び収集並びに美術の普及活動等をはじめとして広く美術館において行う諸活動をいう。)に係る調査研究に関する事。
- 4 学芸課においては、次の事務をつかさどる。
- (1) 美術品及び美術に関する資料の収集、管理及び保存に関する事。
  - (2) 近代美術に関する展覧会の立案、調整及び実施に関する事。
  - (3) 近代美術に関する調査研究及び資料の刊行に関する事。
  - (4) 近代美術館協議会に関する事。

#### (入館の拒絶、制限及び退館命令)

第6条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 伝染性疾患のある者
  - (2) 陳列品を汚損し、又は近代美術館の施設及び設備をき損するおそれのある物品を所持している者
  - (3) 館内の秩序を乱すと認められる者
  - (4) その他館長において近代美術館の管理上入館を不適当と認めた者
- 2 館長は、近代美術館の管理上必要があると認めるときは、入館に制限を加えることができる。

#### (損害賠償の義務)

第7条 入館者は、その責めに帰すべき事由により陳列品を汚損し、近代美術館の施設及び設備をき損し、又は滅失したときは、その損害の賠償をしなければならない。

#### (委任)

第8条 この規則に定めるものほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

#### 付 則

この規則は、昭和45年11月2日から施行する。

附 則 (昭和53年4月1日教育委員会規則第12号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和56年5月28日教育委員会規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和63年3月31日教育委員会規則第13号)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則 (平成元年3月31日教育委員会規則第7号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則 (平成6年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則 (平成13年3月30日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年2月25日教育委員会規則第2号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年3月30日教育委員会規則第15号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

## ○和歌山県博物館協議会条例

昭和57年3月29日

条例第11号

和歌山県博物館協議会条例をここに公布する。

### 和歌山県博物館協議会条例

#### (設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館にそれぞれ当該右欄に掲げる博物館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

博物館の名称	協議会の名称
和歌山県立近代美術館	和歌山県立近代美術館協議会
和歌山県立博物館	和歌山県立博物館協議会
和歌山県立紀伊風土記の丘	和歌山県立紀伊風土記の丘協議会
和歌山県立自然博物館	和歌山県立自然博物館協議会

#### (委員の定数)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、15人以内とする。

#### (任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

#### (会長等)

第4条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。  
4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

- 第5条** 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。  
2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。  
3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(小委員会及び部会)

- 第6条** 協議会は、小委員会又は部会を置くことができる。  
2 小委員会に委員長を、部会に部会長を置く。  
3 委員長及び部会長は、委員のうちから会長が指名する。  
4 小委員会又は部会に属する委員は、会長が指名する。

(庶務)

- 第7条** 協議会の庶務は、当該博物館において処理する。

(委任)

- 第8条** この条例に定めるものほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和57年4月1日から施行する。

○和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

昭和46年10月12日

教育委員会規則第26号

改正 昭和56年8月29日教育委員会規則第15号

平成元年3月31日教育委員会規則第8号

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

(目的)

- 第1条** この規則は、和歌山県立近代美術館が所蔵する美術品(以下「美術品」という。)の貸付けに関し必要な事項を定めることを目的とする。

(貸付)

- 第2条** 和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)は、その目的が公の性質をもち、かつ、美術文化の普及上適当と認めた場合に、次項に規定する者に対して美術品を貸し付けることができるものとする。

- 2 美術品の貸付けを受けることのできる者は、国並びに地方公共団体及び公益法人その他これらに準ずる団体とする。

(申請手続)

- 第3条** 美術品の貸付けを受けようとする者は、次に掲げる事項を記

載した借受申請書を館長に提出しなければならない。

- (1) 申請者の氏名又は名称及び住所
- (2) 借り受けようとする美術品の名称及び数量
- (3) 使用目的
- (4) 陳列等のための施設の名称及びその場所並びに施設の概要
- (5) 借受期間
- (6) 借受期間における保管及び管理の方法
- (7) その他参考となる事項

(貸付承認)

- 第4条** 館長は、美術品の貸付けを承認したときは、美術品貸付承認通知書(別記様式)を申請者に交付する。

(貸付期間)

- 第5条** 美術品の貸付期間は、通常2月以内(以下「1期間」という。)とする。ただし、館長が必要と認めたときは、貸付期間を更新し、又は延長することができる。

(借受書等)

- 第6条** 美術品の貸付承認を受けた者は、次に掲げる事項を記載した借受書を館長に提出しなければならない。

- (1) 借り受ける美術品の名称及び数量
- (2) 借受期間
- (3) 返納期日
- (4) 返納場所
- (5) 貸付条件に従う旨

- 2 貸付承認をした美術品の引渡しは、前項の借受書の提出があったとき、これを行う。

- 3 館長は、美術品が返還されたときは、これと引換に返還を受けた旨の受領書を交付するものとする。

(遵守事項等)

- 第7条** 貸付承認をした美術品の荷造り及び輸送並びに保管、返納等に要する費用は、借受人の負担とする。

- 2 貸付期間中の美術品の保管及び管理は、借受人の責任とし、亡失、汚損又は損傷のあったときは、賠償の責めを負うものとする。

- 3 美術品の借受人は、当該美術品を借り受けた目的以外に使用してはならない。

(貸付料)

- 第8条** 美術品の貸付料は、1点につき1期間3,090円とし、第5条ただし書の貸付期間の延長の場合にあっては、1月以内の延長期間については1,540円とし、1月を超える延長期間については

- 3,090円とする。  
2 特別の事情がある場合においては、貸付料を増減し、又は免除することがある。

- 3 既納の貸付料は、これを返還しない。

(貸付けの取消し)

- 第9条** 館長は、美術品の貸付けを受けた者が、この規則及び貸付条件を守らないときは、その承認を取り消し、当該美術品の返還を求めることができる。

(補則)

- 第10条** この規則に定めるもののほか、美術品の貸付けに関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 和歌山県立近代美術館美術品貸付規則(昭和42年和歌山県教育委員会規則第22号)は、廃止する。

附 則 (昭和56年8月29日教育委員会規則第15号)

この規則は、昭和56年9月1日から施行する。

附 則 (平成元年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

別記様式(第4条関係)

番号 年 月 日	美術品貸付承認書	
殿		
和歌山県立近代美術館長		
年 月 日付けで承認申請のあった当館所蔵の美術品の貸付けについては、下記によって承認する。		
記		
1 貸 付 品 種 別	作 者 名	題 名
材 質	形 狀	製 作 年
2 貸 付 期 間	年 月 日 か ら	年 月 日 ま で
3 貸 付 料 金	円	
上記貸付料は、美術品借り受けのとき、又はその日までに県指定金融機関へ払い込むこと。		
4 美術品の輸送の際の取扱い及び保管管理については、館長の指示に従い、十分注意するとともに、貸付中のいっさいの責任を借受者において負うものとする。		
5 美術品は、当館係員立合いのうえ借受書と引換に引き渡すものとする。		
6 その他の和歌山県立近代美術館美術品貸付規則の各条項を遵守するとともに館長の指示に従うこと。		

備考 この承認書には、和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を添付すること。

○和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

昭和46年10月12日

教育委員会告示第12号

改正 平成6年3月31日教育委員会告示第1号

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

(趣旨)

- 第1条** この規程は、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)における美術作品の寄託に関し必要な事項を定めるものとする。

(受託)

- 第2条** 美術作品の所有者(以下「所有者」という。)が展示保存又は調査研究の目的をもって、美術作品の保管の寄託の申入れがあったときは、この規程の定めるところにより、美術館はこれを無償で受託するものとする。

(寄託)

- 第3条** 所有者が、美術作品を寄託しようとするときは、別記第1号様式による保管依頼書を提出し、館長の承認を受けなければならない。

(受入れ及び返還)

- 第4条** 館長は、美術作品を受領したときは、所有者に、別記第2号様式による受託証書を交付するものとする。  
2 寄託品の返還を受けようとする者は、原則として返還を受けようとする日の1月前に別記第3号様式による返還請求書を館長に提出しなければならない。  
3 寄託品は、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。  
4 寄託品の返還を受けようとする者が、所有者の代理人であるときは、受託証書に、委任状その他の代理人であることを証する書類を添えなければならない。

(寄託期間及び期間の更新)

- 第5条** 寄託期間は、3年とする。ただし、館長が必要と認めたときは、所有者の承諾を得てこの期間を短縮又は更新することがある。寄託期間を経過後寄託者から返還の請求がない場合は寄託期間の更新をしたものとみなす。  
2 寄託期間の更新をするときは、受託証書の書換えを行うものとする。

(所有者の変更等)

- 第6条** 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、または所有者の氏名、名称若しくは住所等に変更があったときは、その所有者(所有者変更の場合は、新所有者)は、所有権の移転その他の氏名、名称等の変更を証する書類を受託証書に添えて、館長に届け出、受託証書の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

- 第7条** 受託証書を失し、又は著しく破損したときは、所有者は、これらを証明するに足る書類(破損の場合は、その受託証書)を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

(作品輸送経費の負担)

- 第8条** 所有者は、寄託品の搬入又は返還に要する荷造り及び運搬の経費を負担しなければならない。ただし、館長において特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

## 建築概要

(補則)

**第9条** この規程に定めるもののほか美術品の寄託に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規程は、告示の日から施行する。

附 則 (平成6年3月31日教育委員会告示第1号)  
この規程は、平成6年4月1日から施行する。

別記第1号様式(第3条関係)

美術作品保管依頼書	
種 別	
作 品 名	
作 者 名	
製作年月日	
附 屬 品	
作品の所在地	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
上記作品について下記事項承諾のうえ、寄託を申し込みます。	
年 月 日	
住 所	
氏 名	様
和歌山県立近代美術館長 殿	
記	
1 寄託期間経過後、私から返還請求をしない場合は、この期間の更新に同意したものとします。	
2 寄託した美術作品が天災その他の避けられない事故によって汚損又は亡失した場合における補償の請求はいたしません。	
3 展示保存又は調査研究に資するため写真撮影することに同意します。	

別記第2号様式(第4条関係)

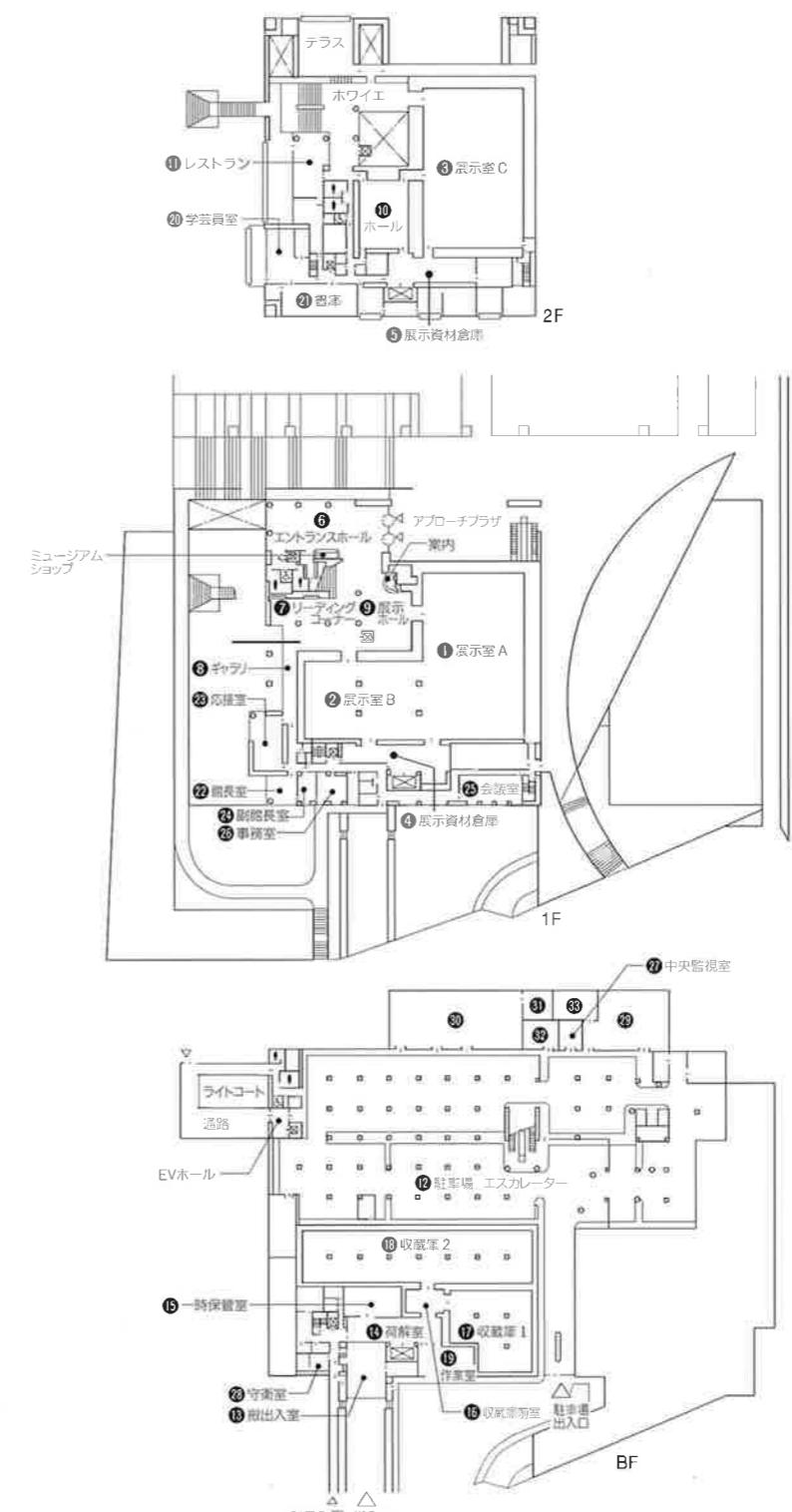
文書番号	
年 月 日	
受託証書	
作品名	
附属品	
寄託期間	
年 月 日から	
年 月 日まで	
上記作品の保管を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により受託しました。	
年 月 日	
和歌山県立近代美術館長 殿	
住所	
氏 名	様

別記第3号様式(第4条関係)

返還請求書	
作品名	
附属品	
寄託期間	年 月 日から 年 月 日まで
上記の作品の返還を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により請求します。	
年 月 日	
住 所	
氏 名	様
和歌山県立近代美術館長 殿	

### 部門別面積表

部門	室名	面積(m <sup>2</sup> )
<b>展示部門</b>		
①	展示室A	1,057.0
②	展示室B	486.1
③	展示室C	1,038.6
④	展示資材倉庫(1F)	136.2
⑤	展示資材倉庫(2F)	121.5
	(小計)	2,839.4
<b>サービス部門</b>		
⑥	エントランスホール	402.2
⑦	リーディングコーナー	217.8
⑧	ギャラリー	46.9
⑨	展示ホール	134.0
⑩	ホール	181.5
	ホール前室、映写室、控室A、倉庫	74.6
⑪	レストラン	105.1
	厨房	62.0
	テラス	217.9
	化粧室	181.9
⑫	駐車場	2,480.1
	EVホール、廊下、階段、その他	1,670.7
	(小計)	5,774.7
<b>収蔵部門</b>		
⑯	搬出入室	108.4
⑯	荷解室	130.0
⑯	一時保管室	81.0
⑯	収蔵庫前室	61.4
⑯	収蔵庫1	342.5
⑯	収蔵庫2	685.6
⑯	作業室	82.0
	(小計)	1,490.9
<b>調査部門</b>		
⑯	学芸員室、倉庫	123.2
⑯	書庫	113.1
	(小計)	236.3
<b>管理部門</b>		
㉑	館長室	
㉒	応接室	
㉓	副館長室	
㉔	会議室	
㉕	事務室	
㉖	中央監視室	
㉗	守衛室	
	控室B	
	控室C	
	控室D	
	更衣室	
	救護室	
	(小計)	444.7
㉘	電気室	212.4
㉙	マシンルーム	364.9
㉚	消火ポンプ室	38.7
㉛	ハロンボンベ室	51.2
㉜	発電機室	58.1
	空調機械室	295.5
	倉庫、その他	31.1
	(小計)	1,496.6
	合計	11,837.9
<b>階数</b>		
2 F		2,916.8
1 F		3,436.8
B F		5,484.3
合計	(延床面積)	11,837.9



## 建築概要

所在地	和歌山市吹上一丁目 4 番
敷地面積	23,356.78m <sup>2</sup>
監理	和歌山県土木部営繕課
設計監理	(株)黒川紀章建築都市設計事務所
施工	竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体 きんでん・伊藤電気特定電気設備工事共同企業体 日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工事共同企業体
総工費	137億8086万円 〔総事業費 192億633万1千円(用地費含む)〕
工事期間	1991年10月～1994年3月

## 建物概要

構造	RC造(鉄筋コンクリート構造) 地上2階地下1階建
建築面積	7,087.17m <sup>2</sup> (美術館部分 4,500.62m <sup>2</sup> 博物館部分 2,586.55m <sup>2</sup> )
延床面積	18,704.50m <sup>2</sup> (駐車場3,460.40m <sup>2</sup> を含む) (美術館部分 11,837.90m <sup>2</sup> 博物館部分 6,866.60m <sup>2</sup> )
仕上	外装 外壁 磁器質タイル、アルミパネルアルマイト仕上、 アルミカーテンウォール
屋上	アスファルト防水の上コンクリート押え
底	フッ素ステンレス鋼板、アルミパネル アルマイト仕上

## 設備概要

電気設備	
受変電設備	3φ 3W 6600V 60Hz 変圧器 1φ 600KVA (うち美術館300KVA 博物館300KVA) 3φ 1550KVA (うち美術館900KVA 博物館650KVA)
自家発電設備	ディーゼル機関 4サイクル 440PS 1800rpm 3φ 3W 6600V 375KVA
蓄電池設備	キュービカル式直流電源装置 容量 300AH
空調設備	熱源設備 空気熱源熱回収型スクリュー式ヒートポンプ冷凍機 165RT+110RT 蓄熱槽 1560m <sup>3</sup>
排煙設備	自然排煙+機械排煙 6系統 (うち美術館4系統 博物館2系統)
衛生設備	給水設備 受水槽 上水10m <sup>3</sup> 、雑用水29m <sup>3</sup> 受水方式 加圧給水ポンプ方式
排水設備	汚水、雨水分流式 (公共下水道へ放流)
消火設備	ハロンガス消火 (収蔵部門各室・展示部門各室・書庫) ／屋内消火栓／スプリンクラー／消火器／泡消火 (駐車場)
自動火災報知設備	(館内守衛室にて集中管理) 煙感知器 光電スポット型 美術館224台 博物館155台 熱感知機 差動スポット型 美術館105台 博物館 74台 定温スポット型 美術館 14台 博物館 13台
防災・防犯設備	(館内守衛室にて集中管理) 受信盤 複合GR型 504回線 ITV監視装置、防災アンプ (360W) 監視カメラ 美術館33台 (うち展示室14台) 博物館19台 (うち展示室8台) 防犯センサー

## 展示・保存環境

展示部門	面積	床材	天井高
展示室A	1,057.0m <sup>2</sup> ケース L 13,706×D 1,200×H 3,372 + L 31,070×D 1,200×H 3,372 (mm)	ナラフローリング	5m
展示室B	486.1m <sup>2</sup>	同上	4m
展示室C	1,038.6m <sup>2</sup> ケース L 25,211×D 1,200×H 3,372 (mm)	同上	5m
1F展示資材倉庫	136.2m <sup>2</sup>	ビニアスタイル	4m
2F展示資材倉庫	121.5m <sup>2</sup>	同上	4m
収蔵部門	収蔵庫1(立体)	342.5m <sup>2</sup> 耐水合板下地 ブナフローリング	4m
	収蔵庫2(平面)	385.6m <sup>2</sup>	同上
	前室	61.4m <sup>2</sup>	同上
	一時保管室	81.0m <sup>2</sup>	モザイクパーチェット
	作業室	82.0m <sup>2</sup>	ビニアスタイル
	荷解室	130.0m <sup>2</sup>	同上
	搬出入口	108.4m <sup>2</sup> モルタル金ゴテ/ エポキシ系塗床	4.8m
展示照明	ハロゲンダウンライト/蛍光灯(着脱式) / スポットライト(着脱式) すべて紫外線防止、高演色タイプ、無段階調光可能		
空調	展示室 2系統 収蔵庫 2系統 展示室 設定温度 夏期25°C/冬期22°C 設定湿度 通年55% 収蔵庫 設定温度 通年22°C 設定湿度 通年55%		
作品専用昇降機	油圧式・30m/min・最大積載量3.0トン H 3,000×W 5,000×D 2,500 (mm)		

## 案内

### 利用案内

開館時間	9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日	毎週月曜日(祝日のときはその翌日)
	年末年始(12月29日～1月3日)
展示替え期間	
駐車場	有料(90台収容)

### 交通案内

JR和歌山駅又は南海電鉄和歌山市駅からバスで約10分、  
「県庁前」下車、徒歩2分(和歌山城向かい)



2008(平成20)年度 和歌山県立近代美術館年報

編集・発行 和歌山県立近代美術館 ©2010  
〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14  
TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337  
2010(平成22)年3月31日発行  
印 刷 中和印刷紙器株式会社

THE MUSEUM OF MODERN ART, NEW YORK

